

大学向け クラウドソリューションカタログ 2017

大学ICT推進協議会
クラウド部会

本カタログの収録対象

本カタログに収録するソリューションの範囲は以下の通り規定しています。

(1) パブリッククラウドサービス系

- ・ IaaS、PaaS、SaaS
- ・ パブリッククラウド運用支援製品・サービス

(2) プライベートクラウドサービス系

- ・ プライベートクラウド構築関連製品、サービス
- ・ プライベートクラウド運用関連製品、サービス
- ・ データセンターサービス

「大学向けクラウドソリューションカタログ2017」の発行に寄せて

大学 ICT 推進協議会 クラウド部会

主査 西村 浩二（広島大学）

大学 ICT 推進協議会クラウド部会において編集を行っております本カタログも4期目を迎え、多岐にわたるクラウドサービスやソリューションが掲載されるようになりました。本カタログに情報提供をいただいております賛助会員様の皆様に厚く御礼申し上げます。

本カタログでは、各種クラウドサービス、ソリューションを同じ尺度で概観することで、それらを選択する際の比較検討資料として活用していただくことを目的としています。国立情報学研究所の学認クラウド (<https://cloud.gakunin.jp>) で公開されている「スタートアップガイド」「チェックリスト」と合わせてご活用いただければ幸いです。

クラウド部会では、年次大会における企画セッションの開催のほか、大学等で開催されるクラウド普及活動との連携を推進しております。すでにクラウドを活用されている、あるいはクラウドの導入を検討されている大学会員様、大学向けにクラウドサービス、ソリューションを提案されたい賛助会員様のご参加をお待ちしております。

大学向けクラウドソリューションカタログ2017 目次

「大学向けクラウドソリューションカタログ2017」の発行に寄せて／

大学 ICT 推進協議会 クラウド部会 主査 西村 浩二 01

1. 教育支援系

(1) Microsoft 365 Education／日本マイクロソフト株式会社	06
(2) Prime Learning 大学向けの LMS の e ポートフォリオ／SCSK 株式会社	08
(3) デジタルラーニングプラットフォーム『Fisdrom』／富士通株式会社	10
(4) アクティブ・ラーニング支援ツール MOVARI／株式会社内田洋行	12
(5) Cisco Spark, Cisco Spark Board／シスコシステムズ合同会社	14
(6) Cisco WebEx, Cisco TelePresence／シスコシステムズ合同会社	16

2. 研究支援系

(1) XTREME DNA／エイチ・シー・ネットワークス株式会社	20
(2) Ufinit 研究者業績サービス／富士通株式会社	22
(3) さくらのレンタルサーバ リセール向けサービス／さくらインターネット株式会社	24
(4) 活文 Managed Information Exchange Service／株式会社日立製作所	26

3. 事務支援系

(1) TWX-21 MRO 集中購買サービス／株式会社日立製作所	30
(2) 音声データ利活用ソリューション／株式会社日立製作所	32
(3) 図書館情報システム LIMEDIO クラウドサービス／株式会社リコー	34
(4) リコー LF プリントサービス AE2／株式会社リコー	36
(5) Ridoc Easy Sharing サービス／株式会社リコー	38
(6) DreamCampus for Cloud (ドリームキャンパス)／SCSK 株式会社	40

4. 情報基盤系

(1) NEC クラウドサービス(SINET 接続)／日本電気株式会社	44
(2) UnifIDone (ユニファイドワン) キャンパスクラウド／富士通株式会社	46
(3) USiZE (ユーサイズ)／SCSK 株式会社	48
(4) Microsoft Azure／日本マイクロソフト株式会社	50
(5) さくらのクラウド／さくらインターネット株式会社	52
(6) さくらの専用サーバ／さくらインターネット株式会社	54
(7) さくらの VPS／さくらインターネット株式会社	56
(8) エンタープライズクラウドサービス／株式会社日立製作所	58
(9) フェデレーテッドクラウド／株式会社日立製作所	60
(10) 出前クラウドサービス／株式会社日立製作所	62

(11) 日立クラウド基盤導入ソリューション Powered by Apache CloudStack/株式会社日立製作所	64
(12) Cisco Meraki クラウド管理型 IT ソリューション/シスコシステムズ合同会社	66
(13) Cisco Umbrella/シスコシステムズ合同会社	68
(14) Cisco Cloudlock/シスコシステムズ合同会社	70
(15) Cisco AMP for Endpoints/シスコシステムズ合同会社	72
(16) Cisco Unified Computing System(UCS) /シスコシステムズ合同会社	74
(17) Symantec Web Security Service (WSS)/株式会社シマンテック	76
(18) Symantec CloudSOC/株式会社シマンテック	78
(19) Symantec Data Loss Prevention(DLP)Cloud Service for Email/株式会社シマンテック	80
(20) Symantec Email Security.cloud (ESS)/株式会社シマンテック	82
(21) Symantec Validation & ID Protection (VIP) /株式会社シマンテック	84
(22) Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2)/Amazon Web Services Inc.	86
(23) Amazon Simple Storage Service (Amazon S3)/Amazon Web Services Inc.	88
(24) Amazon Relational Database Service (Amazon RDS) /Amazon Web Services Inc.	90
(25) Amazon Redshift/Amazon Web Services Inc.	92
(26) Amazon EMR/Amazon Web Services Inc.	94
(27) Amazon Machine Learning/Amazon Web Services Inc.	96
(28) Amazon Elasticsearch Service/Amazon Web Services Inc.	98
(29) Amazon WorkSpaces/Amazon Web Services Inc.	100
(30) WisePoint Shibboleth on CLOUD/ファルコンシステムコンサルティング株式会社	102

5. その他

(1) Microsoft Office 学割特別プラン U365/株式会社内田洋行	106
(2) IT 資産管理/セキュリティ管理 ASSETBASE/株式会社内田洋行	108
(3) ソフトウェア配布提供システム Download Station/株式会社内田洋行	110
(4) Cisco CloudCenter/シスコシステムズ合同会社	112
(5) クラウド対応開発環境サービス PrimeCloud for Developers/SCSK 株式会社	114

6. 大学向けクラウドソリューション比較表

特集「大学におけるクラウド導入事例」

(1) 慶應義塾大学/ユニアデックス株式会社	130
(2) 埼玉大学/SCSK 株式会社	132
(3) 九州産業大学/富士通株式会社	134
(4) 東洋大学/シスコシステムズ合同会社	136
(5) 東海大学/日本電気株式会社	138
(6) 東京大学/さくらインターネット株式会社	140

大学 ICT 推進協議会クラウド部会の歩み	142
-----------------------	-----

1. 教育支援系

製品・サービス名称	Microsoft 365 Education
提供企業名	日本マイクロソフト株式会社
紹介サイト URL	http://download.microsoft.com/download/7/D/2/7D239418-DAA3-4FBF-BD10-4F099A5E1BC5/licenseguide.pdf (PDF ダウンロードリンク) https://www.microsoft.com/ja-jp/microsoft-365/enterprise

■製品・サービスの特長

Microsoft は 2017 年 10 月 1 日より、新たに教育機関向け製品として Microsoft 365 Education をご提供いたします。Microsoft 365 Education は、Office 365, Windows 10, Enterprise Mobility + Security, Minecraft: Education Edition から構成されており、より充実した教育を提供するために役立つ製品やサービスがすべて揃います。また、学生向けに追加費用なく Microsoft 製品をご利用いただける特典も充実しています (Student Use Benefit)。

Microsoft 365 Education A3 / A5 に含まれるサービス内容は以下の通りです。

Microsoft 365 A3 / A5		導入メリット
セキュリティ対策、 データ分析および 音声通話	Office 365 A5 - Advanced Threat Protection	標的型攻撃の防止 (電子メール内の URL, 添付ファイルなど)
	Office 365 A5 - Advanced Compliance, Threat Intelligence	コンプライアンス対応 (関連性のあるデータの特定、データへの操作を監視、調査), サイバー攻撃の可視化、対策案の提示
	Office 365 A5 - Power BI Pro	データの見える化、経営ダッシュボード
	Office 365 A5 - My Analytics	働き方改革 (メール、会議の見える化)
	Office 365 A5 - 音声会議、電話システム	働き方改革 (外出先などから会議に参加), 電話コスト削減
	Office 365 A3 - Skype Broadcast Meeting	最大 10,000 人にブロードキャスト放送が可能
	Office 365 A3 - Advanced Security Management	Office 365 への攻撃の可視化、許可していないクラウドサービスの利用を検出可能
デバイス管理および セキュリティ対策	EMS A5 - Cloud App Security	許可していないクラウドサービスの利用や異常行動を検出、ランサムウェア検知も可能
	EMS A5 - Azure Information Protection Premium P2	情報資産の分類 (キーワードに基づく自動でのファイル、メールの暗号化など)
	EMS A5 - Azure Active Directory Premium P2	ID の保護を自動化 (短期間での複数アクセスなどを検知), 管理作業をするときのみ管理権限を付与
	EMS A3 - Advanced Threat Analytics	学内 Active Directory の保護
	EMS A3 - Azure Information Protection Premium P1	情報漏えい防止 (ファイル、メールの暗号化、印刷制御など)
	EMS A3 - Azure Active Directory Premium P1	二要素認証、外部からのアクセス制御
	EMS A3 - Microsoft Intune	Windows PC / iOS / Android デバイス管理
セキュリティ対策	Windows 10 Education A5	短期間での標的型攻撃の検知および対策 (ネットワークからの切り離しなど)
	Windows 10 Education A3	ハードディスク / USB メモリ暗号化
共同作業支援	Minecraft: Education Edition	プログラミング学習教育の習得
	メール、予定表、リアルタイム コミュニケーション (IM, 常設チャット)	
	ファイルおよびコンテンツ管理: ファイル ストレージ、共有、情報探索、グループ、Planner	
クラス用ツール	Office client apps (Word, Excel, PPT, Sway, OneNote, Outlook, Publisher, Access)	
	Office Online: Web ベースのドキュメント編集	
	Microsoft Teams / SDS / Class Notebook / PLC グループ 学習ツール: 読み上げ、文字間隔調整、音節分解など	教育活動における ICT の効率的な活用
学生向け特典 Student Use Benefit	Office 365 Advanced Threat Protection	標的型攻撃の防止 (電子メール内の URL, 添付ファイルなど)
	Azure Active Directory Plan 2	ID の保護を自動化 (短期間での複数アクセスなどを検知)
	Office 365 A3 - Advanced Security Management	Office 365 への攻撃の可視化、許可していないクラウドサービスの利用を検出可能
	Intune for Education, AADP Plan 1, and Advanced Threat Analytics	BYOD 含む学生 / 生徒の端末管理、二要素認証、外部からのアクセス制御、学内 Active Directory の保護など
	Minecraft: Education Edition	プログラミング学習教育の習得
	Office 365 ProPlus	
	Windows 10 Education	教育活動における ICT の効率的な活用

製品・サービス名称	Microsoft 365 Education		
■分類			
製品サービス区分	クラウド分類	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品	・パブリック ・プライベート	・SaaS (一部オンプレ製品)	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
利用実績	Microsoft 365 に含まれる Office 365 の利用実績となります。 民間実績 (日本の主要企業の約 80%が利用) 大学実績 (教育関連機関利用ユーザー数 467 万人) 公開事例: http://www.microsoft.com/ja-jp/office/365/showcase.aspx にて「業種」を選択してください		
費用	Microsoft 365 Education A3: 7,800 円 / 年・ユーザー (参考価格) Microsoft 365 Education A5: 14,160 円 / 年・ユーザー (参考価格)		
利用条件	教職員数 (ナレッジワーカー) 分の購入が必要となります。最低利用期間は 1 年になります。		
支払方法	請求サイクル (年次), 支払方法 (前払), 支払通貨は日本円		
販売代理店	無、有 (マイクロソフトライセンスソリューションパートナー 国内 17 社)		
■契約			
申込み方法	代理店経由でのお申込み	利用開始までの期間	契約完了後
約款の有無	有・無 ()	約款修正可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 (東・西日本)	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
適用法規	日本国法・海外法規 ()	所轄裁判所	国内・海外 (東京地方裁判所)
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容: 稼働率 99.9%保証、有料プランについては返金保証制度あり)		
実績稼働率	有・無・その他 (99.98%)	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有 (データセンター間二重化)	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	通信暗号化	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定 (有償となります)
学認対応	一部対応 (※Shibboleth 対応済、学認 SP には未登録、Office 365 ProPlus は対応済)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定 (※LDAP マネージャー等他社製品経由)
管理ツール	有・無・その他 (Web 管理ツール)	API 公開	有・無・その他 (一部公開)
■保守・運用			
障害対応時間帯	24 時間 x 365 日電話サポート	QA 対応時間帯	24 時間 x 365 日
コンタクト方法	電話・メール	対応インシデント数	無制限
定期メンテの有無	有	定期メンテ通知時期	事前通告
ログの開示	有・無 (メールログは 90 日間などログの種類により違いがあります)	第三者認証取得	CS ゴールド マーク、 ISO 27001, 27018 など多数
問合先	企業名: 日本マイクロソフト株式会社 部署名: パブリックセクター事業本部 担当者: 文教ソリューションチーム	Mail: msedusolution@microsoft.com	

製品・サービス名称	Prime Learning 大学向けの LMS(学習管理システム)の e ポートフォリオ
提供企業名	SCSK 株式会社
紹介サイト URL	http://edu.scsk.jp/

■製品サービスの特長



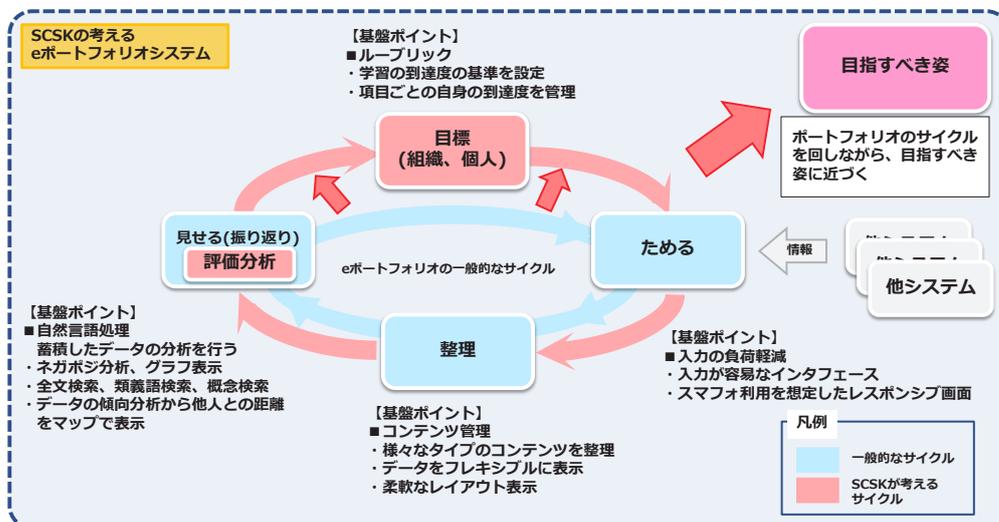
e ポートフォリオは、学生の活動や成果を蓄積して整理を行いながら、振り返りを行う仕組みです。

SCSK の考える e ポートフォリオは、このサイクルに組織・個人目標(到達度基準)、評価分析を追加することで、目標に対する成果を振り返り、目指すべき姿の実現をサポートするシステムです。

弊社の e ポートフォリオは、目標、評価分析を追加することで、目標に対して成果を振り返りながら次の学習を計画し、目指すべき姿の実現を手助けするシステムとなっております。

ポイント

- ・大学様ご要望に対応するセミクラッチ開発を短期間で構築
～共通基盤であるプラットフォームの採用により実現～
- ・様々な角度からの分析を実現
～辞書組み込み機能、自然言語分析機能といった特色ある機能実装～
- ・ご利用開始後、段階的な機能拡張が容易
～e ポートフォリオ共通基盤による機能拡張が可能な API～



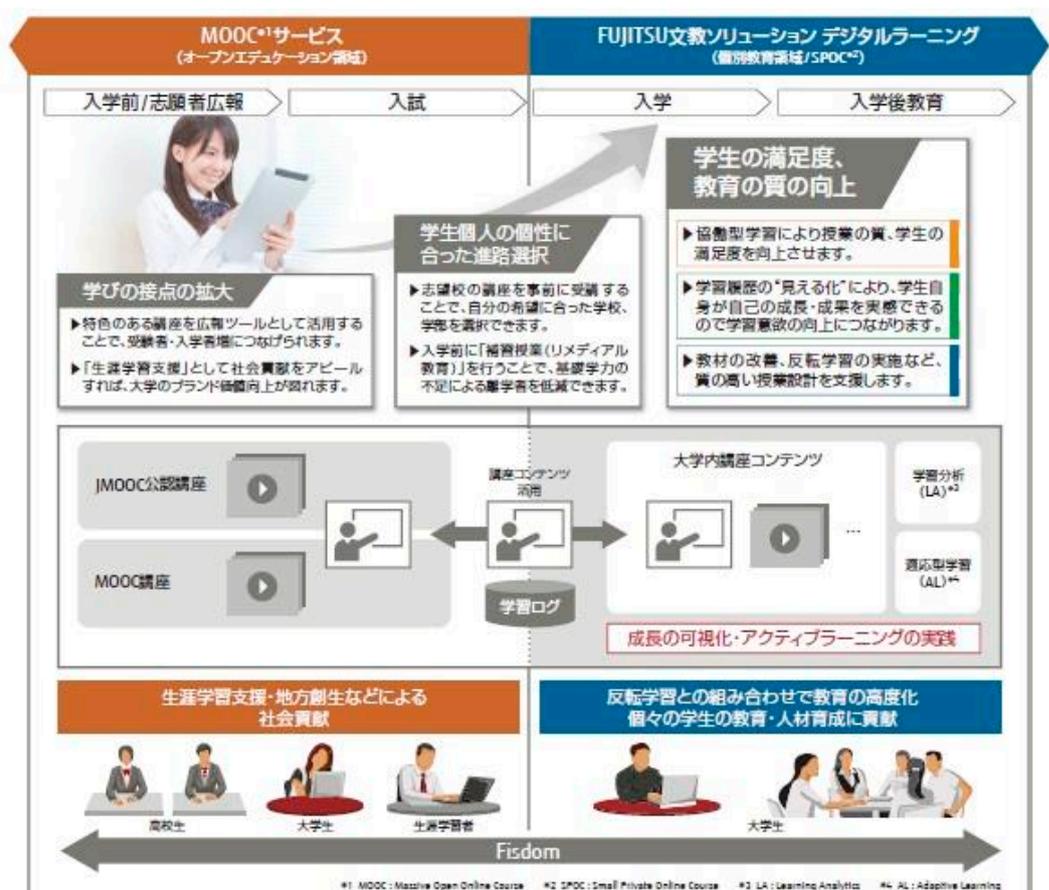
製品・サービス名称	Prime Learning 大学向けの LMS(学習管理システム)の e ポートフォリオ		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・ IaaS ・ PaaS ・ SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	国立大学、公立大学、私立大学にてご利用中		
費用	※トライアルの有無、課金体系、従量制課金の上限設定、割引プラン等 詳細は弊社営業担当までお問い合わせください。		
利用条件	【クラウドの場合】お客様のご利用ケースにより別途ご相談 【製品の場合】ユーザー数に制限のないライセンス形態、保守費用・カスタマイズ費用は別途お見積り		
支払方法	詳細は弊社営業担当までお問い合わせください。		
販売代理店	無、有 (代理店名:)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 (契約書締結)	利用開始までの期間	要相談
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容: お客様のご利用ケースにより別途ご相談)		
実績稼働率	有・無・その他 ()	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 (個別構築で利用可能)	暗号化通信	有・無・その他 (個別構築で利用可能)
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (個別構築で利用可能)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (個別構築で利用可能)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定 (個別構築で利用可能)
管理ツール	有・無・その他 (モデル毎に異なる)	API 公開	有・無・その他 (モデル毎に異なる)
■保守・運用			
障害対応時間帯	別途ご相談	QA 対応時間帯	別途ご相談
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	別途ご相談
計画停止の頻度	(※頻度、時間帯)	サービス停止の通知	別途ご相談
ログの開示	有・無 (保守条件による)	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク
問合せ先	企業名: SCSK 株式会社 部署名: 製造システム事業本部 ソリューション部 担当者: 文教サービス課 中島 徹	電話番号: 03-5548-5237 FAX 番号: 03-5166-1279 Mail: campusinnovations-info@ml.scsk.jp	

製品・サービス名称	デジタルラーニングプラットフォーム『Fisdom』
提供企業名	富士通株式会社
紹介サイト URL	https://www.fisdom.org/

■製品サービスの特長

【製品の概要】

JMOOC 公認プラットフォーム「Fisdom」は、大学や他の教育機関などクローズドな環境で利用できる「SPOC サービス」と、誰もが受講できる「MOOC サービス」を提供します。反転学習や学習履歴の見える化により大学教育の高度化を支援。加えて、高校生や生涯学習者への講座提供、他大学と連携した講座コンテンツの活用など、組織の枠を超えて、生涯にわたる学びを支援します。



【製品の特長】

1. オープンな MOOC と閉じた SPOC のハイブリッドプラットフォーム
2. 日英対応～言語選択により日英希望言語での受講・相互採点が可能
3. 講座内でトピック毎の複数ディスカッションボードを立てることが可能
4. OpenID (Facebook、Google+) や、学認 (国立情報学研究所(NII)が運営する学術認証フェデレーション) によるシングルサインオンを実現
5. 高度なセキュリティ～K5 上の SaaS
6. 受講者自身の学びの履歴の可視化や講座修了による称号付与などにより学習意欲の向上が可能
7. 受講者理解度の確認やタグ付けによる個人の強み・弱みなどの把握が可能

製品・サービス名称	デジタルラーニングプラットフォーム『Fisdom』		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数 (1) 社 : 利用企業名 (富士通 JAIMS) 大学数 (1) 校 : 利用大学名 (K 医科大学)		
費用	ID(アカウント)数によるライセンス体系		
利用条件	【クラウドの場合】最低ユーザ数、最低利用期間、利用対象の制限等 最低 10 ユーザより 【製品の場合】ライセンス形態(買取、利用契約)、保守(初年度から・2年目から)等		
支払方法	※月次/年次請求、前払/後払、支払方法 (振込/クレジットカード/その他)、支払通貨等 月次/前払		
販売代理店	無、有 (代理店名 :)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 (富士通営業との直接契約)	利用開始までの期間	2週間～1ヶ月
約款の有無	有・無	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 (未定)
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容 :)		
実績稼働率	有・無・その他 (未測定)	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 (対応予定)
■保守・運用			
障害対応時間帯	営業日の 9:00～17:00	QA 対応時間帯	営業日の 9:00～17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	件数制限は特になし
計画停止の頻度	月 1 回	サービス停止の通知	ホームページで通知
ログの開示	有・無 (※条件) 検討中	第三者認証取得状況	ISO9001、P マーク認可
問合せ先	企業名 : 富士通株式会社 部署名 : 富士通コンタクトライン (総合窓口) 担当者 : 文教ビジネス推進統括部 ソリューション推進部	電話番号 : 0120-933-200 FAX 番号 : Mail : fisdomecontact@cs.jp.fujitsu.com	

製品・サービス名称	アクティブ・ラーニング支援ツール MOVARI
提供企業名	株式会社内田洋行
紹介サイト URL	https://school.uchida.co.jp/index.cfm/23,4943,76,247,html

■製品サービスの特長

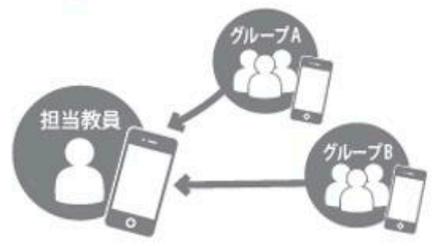
MOVARI（モバリ）は、グループ内でのファイル共有・チャット機能と、クリッカー機能を備えたアクティブ・ラーニング支援アプリです。オンラインでのディスカッションや資料の共有により、グループワークの効率化・活性化を実現します。PCのほか学生のスマートフォンからもBYODとして利用でき、クリッカー回答も簡単です。

01/ **いつでもどこでもグループワーク！**



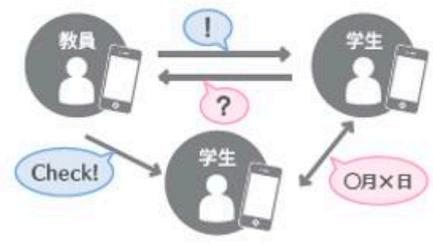
使い方は色々。PCからも利用できるので、自宅のPCで作成・編集した発表資料を共有することもできます。

02/ **担当教員がグループの活動状況を把握！**



グループ作成時に担当教員を設定することで、グループの活動状況を把握できます。アップロードされたファイルにコメントすることでフォローすることもできます。

03/ **グループチャットで手軽に質問・連絡！**



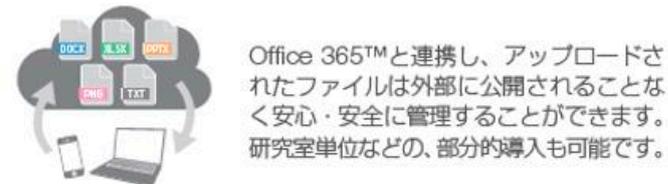
メッセージはスマートフォンにリアルタイムで通知され、学生同士で授業外でのグループワークのスケジュール調整をスムーズに行えます。

04/ **BYODでクリッカー！**



学生のスマートフォンがそのままクリッカー端末になります。授業のために専用端末を配付・回収・管理する手間がわかりません。

05/ **Office 365™ 連携でファイルの共有も安心・安全！**



Office 365™と連携し、アップロードされたファイルは外部に公開されることなく安心・安全に管理することができます。研究室単位などの、部分的導入も可能です。

こういうシーンで活用できます！

- ・ 授業で使用する資料を事前にスマホで共有。学生は、スマホで移動中・スキマ時間に資料をチェック！
- ・ グループワークでのホワイトボード画像や議論動画、作った資料をリアルタイムに共有！ワークの進捗が見える化！
- ・ 授業外でも、いつでもどこでもファイルの共有。いいね！・コメントで、いつでもどこでもフィードバック！
- ・ グループメンバー間でチャットをやり取り。手軽に連絡を取ったり、教員からグループへの連絡に使える！
- ・ 理解度アンケート、プレゼンの相互評価に、スマホをクリッカーとして活用！

製品・サービス名称	アクティブ・ラーニング支援ツール MOVARI		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数 () 社：利用企業名 () 大学数 (2) 校：利用大学名 ()		
費用	・初期導入費 ・年間利用料 (利用ユーザ数に応じた課金体系)		
利用条件	Microsoft 社の Office 365 を契約し、アカウントを有していること		
支払方法	年次請求、支払方法 (振込) (応相談)		
販売代理店	無、有 (代理店名：内田洋行各販売代理店)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 (当社営業経路にて利用申込み)	利用開始までの期間	約 2~4 週間
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容：)		
実績稼働率	有・無・その他 ()	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	平日 9:00-17:00	QA 対応時間帯	平日 9 : 00-17 : 00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	無制限
計画停止の頻度	無	サービス停止の通知	2 週間前に通知
ログの開示	有・無 (※条件)	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク
問合せ先	企業名：株式会社内田洋行 部署名：高等教育事業部／地域事業部	電話番号：東京	03(5634)6441 大阪 06(6920)2832 名古屋 052(222)7234 北海道 011(214)8630 九州 092(735)6240

製品・サービス名称	Cisco Spark, Cisco Spark Board
提供企業名	シスコシステムズ合同会社
紹介サイト URL	http://cisco.com/jp/go/spark http://www.cisco.com/jp/go/sparkboard

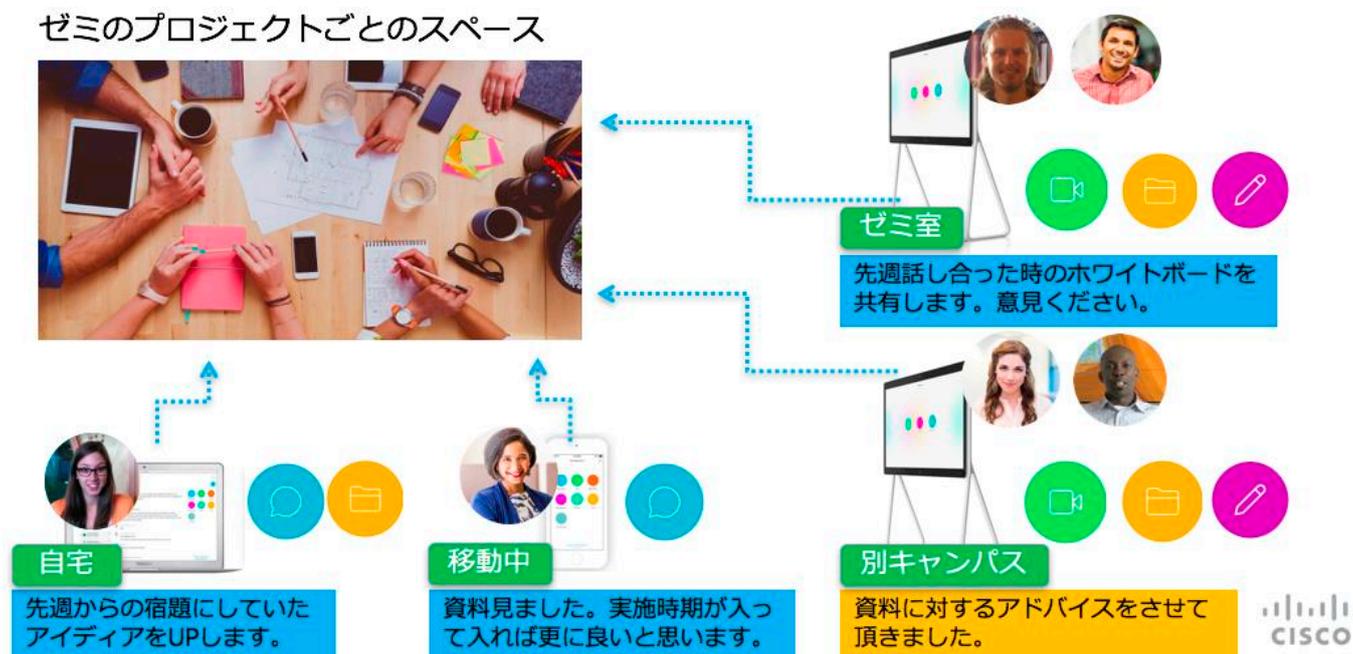
■製品サービスの特長

■ Cisco Spark, Cisco Spark Board

Cisco Spark は通話・チャット・資料共有・電子ホワイトボード機能などコミュニケーションに必要な手段全てを一つにまとめたクラウドサービスです。ウェブブラウザや PC、モバイルデバイスを通してメンバーやトピック、プロジェクトごとなどに仮想の部屋を作り、同じ部屋に入ったメンバーとのメッセージの送受信やファイルの共有、ビデオ通話等を通して、離れていても繋がる事が出来ます。

Cisco Spark Board はワイヤレスプレゼンテーション機能、デジタルホワイトボード機能およびビデオ会議が可能なチームコラボレーションデバイスです。また Cisco Spark サービスやアプリと組み合わせる事で、チームで行う共同作業を更にアシストします。また、全職員様にご契約頂くことで学生の皆様の Cisco Spark 有償アカウントも提供させて頂く特別プランをご提供しております。

ゼミのプロジェクトごとのスペース



■利用シーン

- ゼミごとやプロジェクトごとに仮想ルームを作り、メッセージや資料の共有を行う
- 学生同士、学生と教員との連絡を仮想ルームで行う
- 仮想ルームに参加しているメンバーとのビデオコミュニケーション、画面共有会議開催が可能
- 仮想ルームに学外のユーザーを含めることも出来るため、外部講師や特別講師を含めたコミュニケーションも可能

■特徴

- End to End で暗号化がされているため、セキュリティも安心
- ユーザー管理が出来、学内ユーザーの検索が可能となり、必要なユーザーを必要なルームに参加させることが可能
- ルーム内で 25 人までビデオコミュニケーションが可能となり、相手の顔を見ながら画面共有をすることが可能
- 21 カ国の言語に対応

製品・サービス名称	Cisco Spark, Cisco Spark Board		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数 (数 100) 社 : 利用企業名 (Telstra (オーストラリア)) 大学数 (数 10) 校 : 利用大学名 (国内大学利用実績あり、未公開)		
費用	Cisco Spark 1 ユーザあたり/年額払い、無償版あり Cisco Spark Board 端末代+月額使用料プランを基本に他プランあり 詳細は代理店までお問い合わせ下さい。		
利用条件	1 ライセンス 1 2 ヶ月から契約可能		
支払方法	※年次請求 (複数年契約可)、前払、支払方法 (代理店経由)、支払通貨は日本円		
販売代理店	無、有 (代理店名 : 国内代理店約 40 社)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 (代理店に依る)	利用開始までの期間	ご発注後約 2 週間
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 (北米)	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 (東京地方裁判所)
■信頼性			
SLA	有・無 ()		
実績稼働率	有・無・その他 (99.99%)	目標稼働率	有・無・その他 (100%)
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 (AES256)	暗号化通信	有・無・その他 (TLS)
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	契約体系による
管理ツール	有・無・その他 (管理サイト有り)	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24 時間 365 日	QA 対応時間帯	24 時間 365 日
コンタクト方法	電話・メール・その他	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	適宜	サービス停止の通知	有
ログの開示	有・無 (問い合わせにより対応)	第三者認証取得状況	なし
問合せ先	企業名 : シスコシステムズ合同会社 部署名 : コーポレートビジネス事業ビジネス開発本部 担当者 : 見松 利恵	電話番号 : 03-6434-2618 FAX 番号 : 03-6434-6262 Mail : cisco-edu-j@cisco.com	

製品・サービス名称	Cisco WebEx, Cisco TelePresence
提供企業名	シスコシステムズ合同会社
紹介サイト URL	https://www.cisco.com/c/ja_jp/products/conferencing/index.html https://www.webex.co.jp/

■製品サービスの特長

■Cisco WebEx & TelePresence

Cisco WebEx は簡単な操作で、いつでも、どこでも、誰とでも、遠隔会議を開催できるクラウドサービスです。PC やスマートフォンはもちろんテレビ会議端末、電話など自分が使いたいツールから世界のどこにいても会議に参加をすることができます。

また、Cisco TelePresence (世界・国内シェアNo1) を使って会議に参加をすることで感情、表情、声色を遠く離れた相手に伝えることができます。遠隔地との会議はもちろん、授業や入試などの面接にも多くご利用を頂いております。

さらにこの度、大学限定の格安プログラム「Cisco WebEx Academic Offer」をご用意させて頂きました。本プログラムをご契約頂けますと教職員、事務員の皆様はいつでも遠隔会議を開催することができ、さらに全学生の皆様には Cisco Spark の有償アカウントを無料で提供致します。



音声会議、ビデオ会議、Web 会議をすべてひとつに統合



電話



ビデオ会議端末



モバイル端末

クラウド会議 WebEx はすべての会議形式に対応します。固定電話、ビデオ会議端末、ブラウザ、アプリケーションなどを使って、場所やデバイスに制限されずに会議に参加できます。



■利用シーン

- 遠隔地との会議や講義
- 海外の学生との入試面接やオンラインでの大学紹介
- 海外や国内の企業、研究所など遠く離れた外部

■特徴

- 毎月世界で 1,000 万人以上が利用をしている、グローバルスタンダードのクラウド会議サービス
- アプリケーション、Skype for Business、テレビ会議、電話などあらゆる手段で会議に参加をすることができる
- 世界中に展開しているデータセンターを専用線で結び遅延の少ない快適な会議環境を提供
- 物理セキュリティから暗号化、認証、アクセス管理にわたる強固なセキュリティを実現
- 全ての会議に関わる機能をオプションではなく標準機能として提供

製品・サービス名称	Cisco WebEx, Cisco TelePresence		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数 (4,000) 社 : 利用企業名 (トヨタ自動車、野村証券、楽天、三菱商事など) 大学数 (多数) 校 : 利用大学名 (国立大学法人 東京農工大学、学校法人 慶應義塾大学など)		
費用	トライアル有り、1 ユーザあたりの年間契約、音声オプションあり、会議開催数、会議参加者による料金の変動はありません。詳細は代理店へお問い合わせください。		
利用条件	【WebEx】1 ライセンス12ヶ月から使用可能 【TelePresence】通常の購入モデルに加え、月額請求プランあり 保守 (販売代理店へお問い合わせください)		
支払方法	年次請求 (複数年契約可)、前払、支払方法 (代理店経由)、支払通貨は日本円		
販売代理店	有 (代理店名 : 国内代理店 約 100 社)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 (代理店に依る)	利用開始までの期間	ご発注後約2週間
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 (日本とシンガポール)	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容 :)		
実績稼働率	有・無・その他 (99.99%)	目標稼働率	有・無・その他 (100%)
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 (AES128/256)	暗号化通信	有・無・その他 (TLS)
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	契約体系による
管理ツール	有・無・その他 (管理サイト有り)	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24 時間 365 日	QA 対応時間帯	24 時間 365 日
コンタクト方法	電話・メール・チャット	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	適宜有り	サービス停止の通知	有 (メンテナンス時もサービス利用可能)
ログの開示	有・無 (問い合わせにより対応)	第三者認証取得状況	ISO 27001, ISO 27002 SafeHarbor, SSAE-16
問合せ先	企業名 : シスコシステムズ合同会社 部署名 : コーポレートビジネス事業ビジネス開発本部 担当者・見松 利恵	電話番号 : 03-6434-2618 FAX 番号 : 03-6434-6262 Mail : cisco-edu-j@cisco.com	

2. 研究支援系

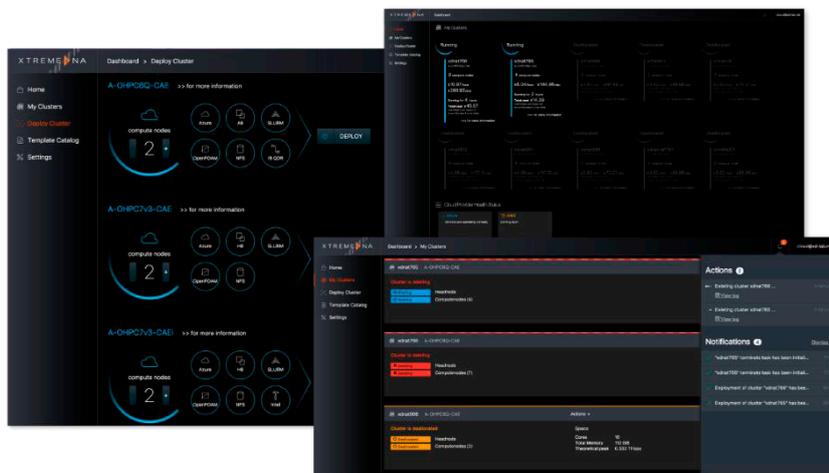
製品・サービス名称	XTREME DNA
提供企業名	エイチ・シー・ネットワークス(株)
紹介サイト URL	https://xd-lab.net/ *開発元 (エクストリームデザイン(株))

■製品サービスの特長

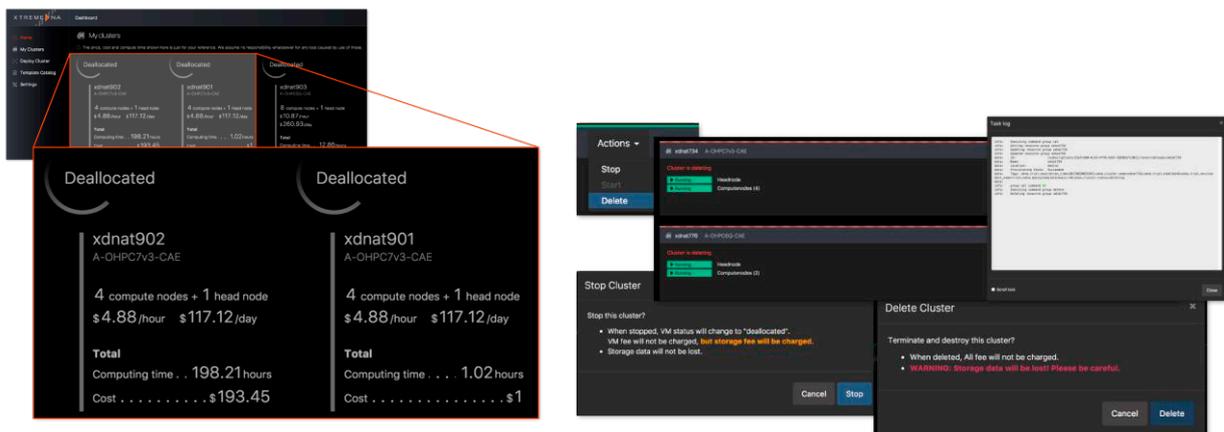
クラウドスパコン(HPC クラスタ)の構築・運用を SaaS で実現！



お客様の既存 IaaS(Microsoft Azure、Amazon AWS など)にターンキーのクラウドスパコンを構築



さまざまな HPC テンプレートをご用意、月額料金による Intel Parallel Studio のご提供
(Chainer、TensorFlow、Karas、Chainer MN、OSPRay、ParaView、OpenFOAM、Peridigm など)



HPC クラスタ単位で IaaS の料金管理、HPC クラスタの確実な制御(起動、停止、削除)



製品・サービス名称	XTREME DNA		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数 () 社：利用企業名 () 大学数 () 校：利用大学名 ()		
費用	課金体系(月次定額 *一定期間の一括契約可)、トライアル要相談		
利用条件	最低利用期間(3 か月～)、ライセンス形態(利用契約) HPC クラスタを展開するための IaaS 環境が別途必要		
支払方法	ご利用月翌月末現金払い(支払い通貨：日本円)		
販売代理店	無 (代理店名：)		
■契約			
申込み方法	その他 (弊社営業)	利用開始までの期間	約 1 週間
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	利用クラウドサービスに準拠	データ削除規定の有無	有 無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容)		
実績稼働率	対応・未対応・対応予定	目標稼働率	有・無・その他 (非公開)
ストレージ	多重化有・無・その他(サービス選択による)	バックアップ	有・無・その他(サービス選択による)
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	※ (例：24H/365D)	QA 対応時間帯	営業日の 9：00-17：00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	無	サービス停止の通知	
ログの開示	有	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク
問合せ先	企業名：エイチ・シー・ネットワークス株式会社 部署名：製品お問合せ窓口 担当者・	電話番号：03-6381-8856 FAX 番号： URL:http://www.henet.co.jp	

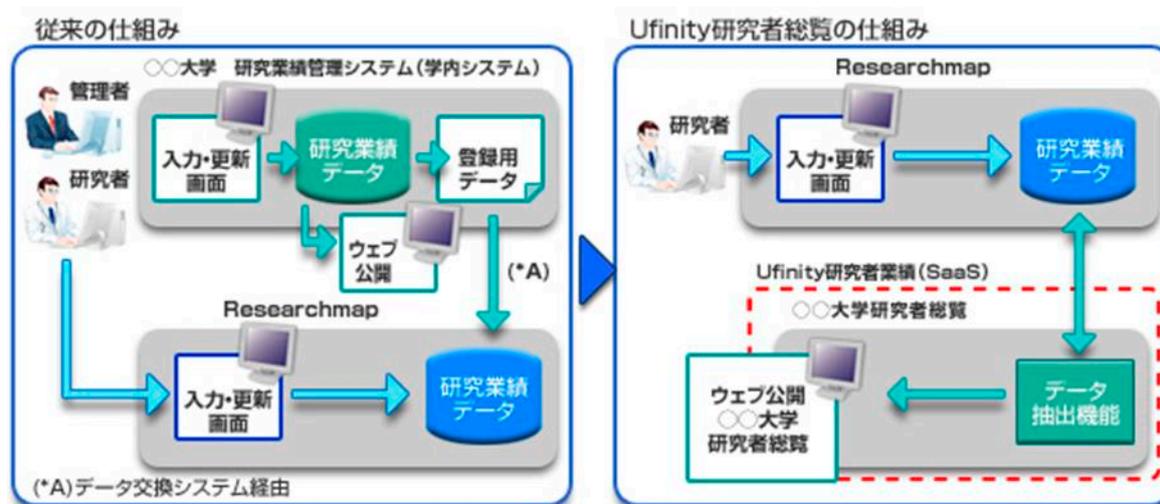
製品・サービス名称	FUJITSU 文教ソリューション Ufinity 研究者業績サービス
提供企業名	富士通株式会社
紹介サイト URL	http://www.fujitsu.com/jp/solutions/industry/education/campus/management/research/

■製品サービスの特長

【製品の概要】

「Ufinity 研究者業績サービス」は、「Researchmap」(注)に登録されている研究者の業績情報を活用した、大学ごとに研究者の研究業績が公開可能な SaaS 型サービスです。

本サービスにより、大学は、独自の研究者業績データベースの構築や運用が不要になります。



(注) 国立情報学研究所が開発し、独立行政法人科学技術振興機構が運営する、22万件におよぶ研究者の研究業績情報が登録された国内最大のデータベース。

【製品の特長】

- 富士通データセンターでサーバ管理する安全・安心な SaaS サービスです
 - データベースは researchmap を活用。独自にデータベースを用意する必要なく、すぐにサービスを開始することができます。
 - サーバ等のシステムは当社データセンターにて一元管理し、防犯・防災などのセキュリティ対策や日々のデータバックアップも万全です。大学様毎にサーバを購入する必要がありません。
- 月々の利用料だけで、常に最新で安全なサービスをご利用可能
 - ソフトウェアのアップデートやセキュリティ対策はデータセンター側で一元管理しているため、追加料金なしで常に最新機能を安全な環境でご利用いただけます。
- 日本最大の研究者情報データベース「researchmap」を活用
 - データは既に researchmap に用意されていますので、直ぐにサービスを提供できます。
 - 大学様独自のデータベースと researchmap との二重運用を前提としていないため都度、同期を取る必要はありません。
- 大学専用の閲覧サイトをご用意します
 - 大学様に合わせた学部、学科、研究分野別など多様な検索ページ・一覧表示設定が可能です。デザイン、レイアウトも大学様に合わせブラウザ上で自由に変更できるように複数パターンをご用意しております。

NetCommons®2 系 (国立情報学研究所 情報・システム研究機構が開発しているオープンソースソフトウェア) をベースとした CMS(コンテンツマネジメントシステム) 機能で、容易に編集・公開が可能です。

製品・サービス名称	FUJITSU 文教ソリューション Ufinity 研究者業績サービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数 (1) 社 : 利用企業名 () 大学数 (10) 校 : 利用大学名 ()		
費用	トライアル : 無、課金体系 : 定額制、割引プラン : なし		
利用条件	利用対象 : researchmap に登録している大学及び研究機関		
支払方法	月次または年次請求の後払、支払方法 : 振込、支払通貨 : 円		
販売代理店	無、有 (代理店名 : 富士通パートナー各社)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 (契約書)	利用開始までの期間	別途ご相談
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容 :)		
実績稼働率	有・無・その他 ()	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (対象外)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定 (対象外)
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	営業日 9:00~17:00	QA 対応時間帯	営業日 9:00~17:00
コンタクト方法	Web サイト	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	月 2 回 夜間	サービス停止の通知	3 ヶ月前に通知
ログの開示	有・無 (※条件)	第三者認証取得状況	情報セキュリティ認証 P マーク
問合せ先	企業名 : 富士通株式会社 部署名 : 富士通コンタクトライン(総合窓口) 担当者 :	電話番号 : 0120-933-200 FAX 番号 : Mail :	

製品・サービス名称	さくらのレンタルサーバ リセール向けサービス
提供企業名	さくらインターネット株式会社
紹介サイト URL	http://www.sakura.ne.jp/lp/201508/

■製品サービスの特長

さくらのレンタルサーバ <http://www.sakura.ne.jp/>

豊富な Web サーバ機能	CMS の標準機能 (WordPress、XOOPS 等) マルチドメイン対応 アクセスログの保有・解析機能を提供
メールサーバ機能	Web メールを標準提供 POP before SMTP を利用可能 POP3 / APOP / IMAP4 対応
充実したセキュリティ機能	WAF の標準提供 ウイルスチェック機能の標準提供 Web 改ざん検知機能の提供 (オプション) OS やアプリのバージョンアップを弊社が管理
安定した運用・稼働	99.95%以上の稼働実績 DISK の二重化 日次バックアップの取得

さくらのレンタルサーバ リセール向けサービス

教職員、学生・生徒向けに用意している CMS 環境の運用をアウトソースすることにより、サーバ管理者様の運用負荷を軽減することができます。

事業者様向けコントロールパネル	多数のエンドユーザアカウントの管理を簡便に管理できる機能をご提供。 <ul style="list-style-type: none"> ■アカウント管理機能：アカウント一覧確認、登録、削除 / アカウント一括登録 ■サーバモニタリング機能：サーバリソース (CPU / メモリ) のモニタリング / アクティビティ / アカウント収容数 ■お知らせ：メンテナンス・障害情報通知 / 監視情報 ■管理用ユーザ：ユーザ追加・削除 / 特権変更 ■コントロールパネル管理機能：コントロールパネル編集
エンドユーザ向けコントロールパネルのカスタマイズ機能	事業者様ブランドとしてご提供をいただくにあたり、エンドユーザ向けコントロールパネルのカスタマイズ環境をご提供。
レンタルサーバ機能	さくらのレンタルサーバ(ビジネス)の機能をベースにご提供いたします。また、アカウントのディスク容量変更もご相談いただけます。
サポート体制	多数のアカウント管理のため、事業者様にはスムーズなサポート体制をご提供。

製品・サービス名称	さくらのレンタルサーバ リセール向けサービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（ご参考：さくらのレンタルサーバご利用件数 40 万件突破） 大学数（非公開）校：利用大学名（)		
費用	サーバ単位でのご契約となります。 100 アカウント収容サーバの場合、初期費用 15 万円、月額 4 万 7000 円となります。		
利用条件	ご利用拘束期間は 12 ヶ月間となります。評価用貸出しのご用意があります。		
支払方法	標準は当月分を翌月 10 日請求、翌月末お支払いとなります。 ただし、お支払い時期や方法につきましては、営業部にてご相談を承ります。		
販売代理店	無、有（代理店名：代理店一覧： http://partner.sakura.ad.jp/partners.html ）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（オンラインサインアップ）	利用開始までの期間	5 営業日
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：)		
実績稼働率	有・無・その他（99.99%以上）	目標稼働率	有・無・その他（非公開）
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他（弊社側にて取得）
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他（SSL）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（コントロールパネル提供）	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24 時間 365 日	QA 対応時間帯	当社営業日 10:00~18:00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無（1 部）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク等
問合先	企業名：さくらインターネット株式会社 部署名：営業部 文教チーム 担当者：滝島 繁則	電話番号：03-5332-7071 FAX 番号：03-5332-7079 Mail：edu-ml@sakura.ad.jp	

製品・サービス名称	活文 Managed Information Exchange Service
提供企業名	株式会社 日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部 IoT・クラウドサービス事業部
紹介サイト URL	http://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/cloud/service/katsubun-mies/

■製品サービスの特長



クラウド上のセキュアな情報共有ワークスペースを日立がご提供
協創型プロジェクトの推進をサポート！

大学間・拠点間のコラボレーションに必要な「コンテンツ管理」＋「コミュニケーション」機能を SaaS でご提供。各大学の拠点や、関連各所からインターネット経由でご利用いただけます。メールや、ファイル共有といった従来の情報共有ツールと異なり、クラウド上のセキュアなワークスペースでのコンテンツやディスカッションの共有を実現します。

Point1：共同研究プロジェクトの情報共有基盤に

複数の組織で行う共同研究プロジェクトや、期間限定で推進する研究開発において、情報共有の促進と知的財産権の保護を実現できます。

Point2：情報漏えいのリスクなく他のメンバーと情報共有

データごとにアクセス可能なプロジェクトや人をきめ細かく設定できます。

Point3：高速転送により大容量データをスムーズにやりとり

学会資料や研究データなど大容量データを高速にアップロード・ダウンロードすることができます。

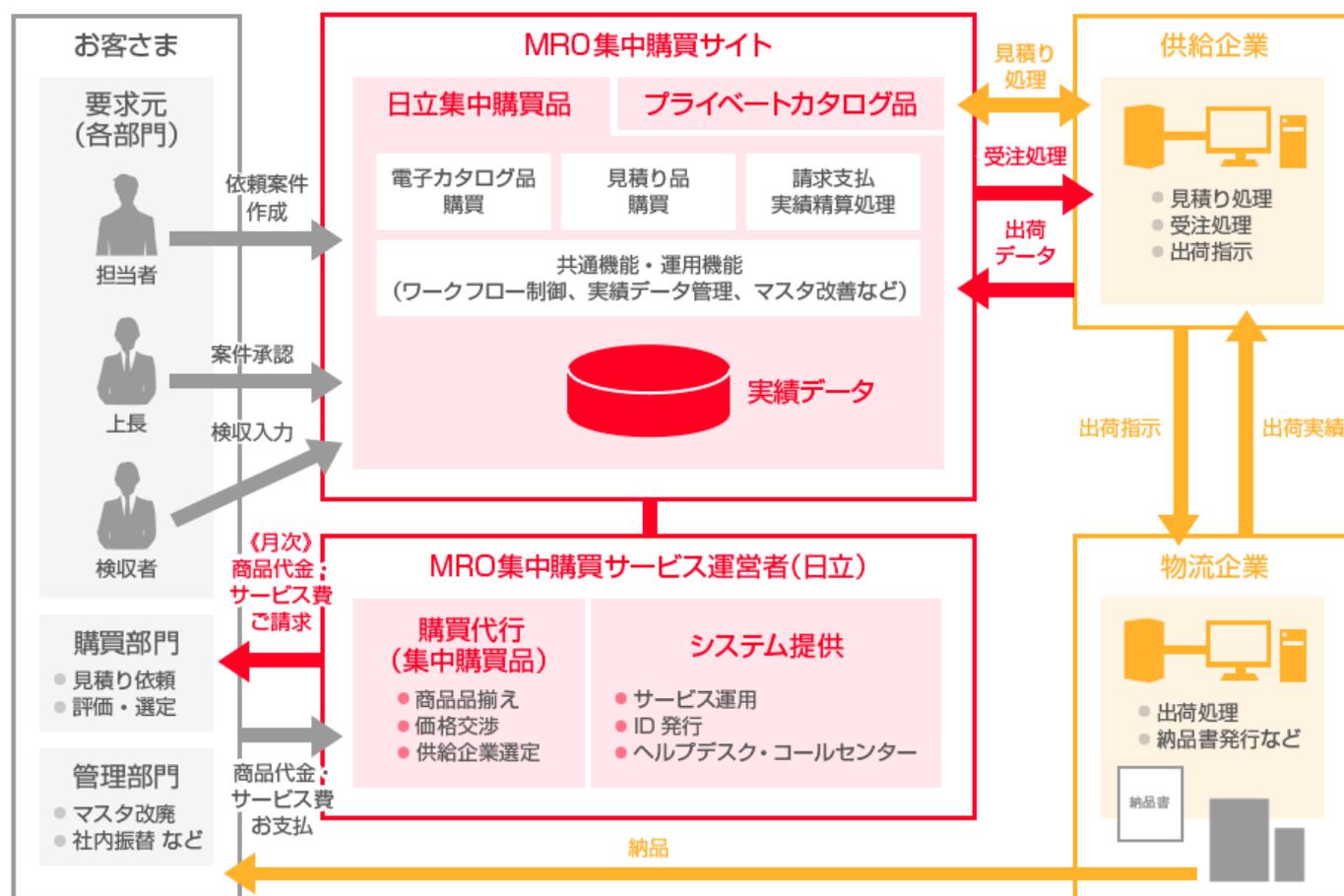
※SaaS：Software as a Service

製品・サービス名称		活文 Managed Information Exchange Service				
■分類						
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類		
・サービス ・製品 ・その他 ()		・パブリック・プライベート ・その他 ()		・IaaS ・PaaS ・SaaS		
利用用途分類						
・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他						
■一般事項						
契約実績		法人数（非公開）：利用企業名（グンゼ株式会社様、三井化学アグロ株式会社様） 大学数（非公開）				
費用		費用としてランニング費用が発生します。一部サービスでは初期費用が発生します。課金単位は月額課金です。サービスによっては日額課金／時間課金が可能です。詳細は営業までお問い合わせ願います。				
利用条件		【クラウドの場合】5 ユーザ～、最低利用期間：1 ヶ月				
支払方法		月次・後払、支払方法（振込）				
販売代理店		無、有（代理店名： ）				
■契約						
申込み方法		注文書・その他（弊社営業）		利用開始までの期間		
				2 週間～		
約款の有無		有・無 ()		約款修正の可能性の有無		
				本サービス提供対象外です。別途ご相談とさせていただきます。		
データ保存場所		国内・海外 ()		データ削除規定の有無		
				有・無・その他 ()		
準拠法		日本国法・海外法規 ()		管轄裁判所		
				国内・海外 ()		
■信頼性						
SLA		有・無（SLA 内容： ）				
実績稼働率		本サービス提供対象外です。別途ご相談とさせていただきます。		目標稼働率		
				有・無・その他（99.9%）		
ストレージ		多重化有・無・その他 ()		バックアップ		
				有・無・その他 ()		
データ暗号化		有・無・その他 ()		暗号化通信		
				有・無・その他 ()		
■機能						
SINET 接続		対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）		VPN 接続		
				対応・未対応・対応予定		
学認対応		対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）		LDAP 連携		
				対応・未対応・対応予定		
管理ツール		有・無・その他 ()		API 公開		
				有・無・その他（有償にて対応）		
■保守・運用						
障害対応時間帯		弊社営業日 9:00～17:00		QA 対応時間帯		
				弊社営業日 9:00～17:00		
コンタクト方法		電話・メール・その他 ()		対応インシデント数		
				別途個別見積り		
計画停止の頻度		12 回／年(日本時間 0:00～24:00)		サービス停止の通知		
				1 週間前までにポータルで告知、電話、またはメールで通知		
ログの開示		有・無（※条件)		第三者認証取得状況		
				ISMS、P マーク、QMS、EMS		
問合せ先		企業名：株式会社 日立製作所 部署名：公共システム営業統括本部 第四営業本部 文教情報営業部 第3グループ 担当者：酒匂、田中、荒木			電話番号：03-5471-4518 FAX 番号：03-5471-4519 Mail：ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp	

3. 事務支援系

製品・サービス名称	TWX-21 MRO 集中購買サービス
提供企業名	株式会社 日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部 IoT・クラウドサービス事業部
紹介サイト URL	http://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/cloud/service/mro/

■製品サービスの特長



間接材の購買改革を支援するサービスです。

さまざまな大学/研究機関でのご利用が可能。以下の2タイプにより間接材購買全体の改革を支援いたします。

利用タイプ1：集中購買参加タイプ（購買代行型）

- ・簡単な Web 画面操作で、商品検索、注文作成、承認が可能。他システム(SAP など)との連携も可能です。
- ・これからご利用いただく大学/研究機関とこれまでご利用いただいている一般企業の購入量を集約し、日立が単価交渉、商品選定を行います。継続的な原価低減を実現し、支払いは MRO 集中購買サービスに統一します。

利用タイプ2：システム環境利用タイプ（プライベートカタログ型）

- ・大学/研究機関個別のカタログを掲載し、発注側、受注側の機能を含めた電子取引の環境をご提供します。
- ・多くの利用実績のあるシステム環境のみをご提供します。

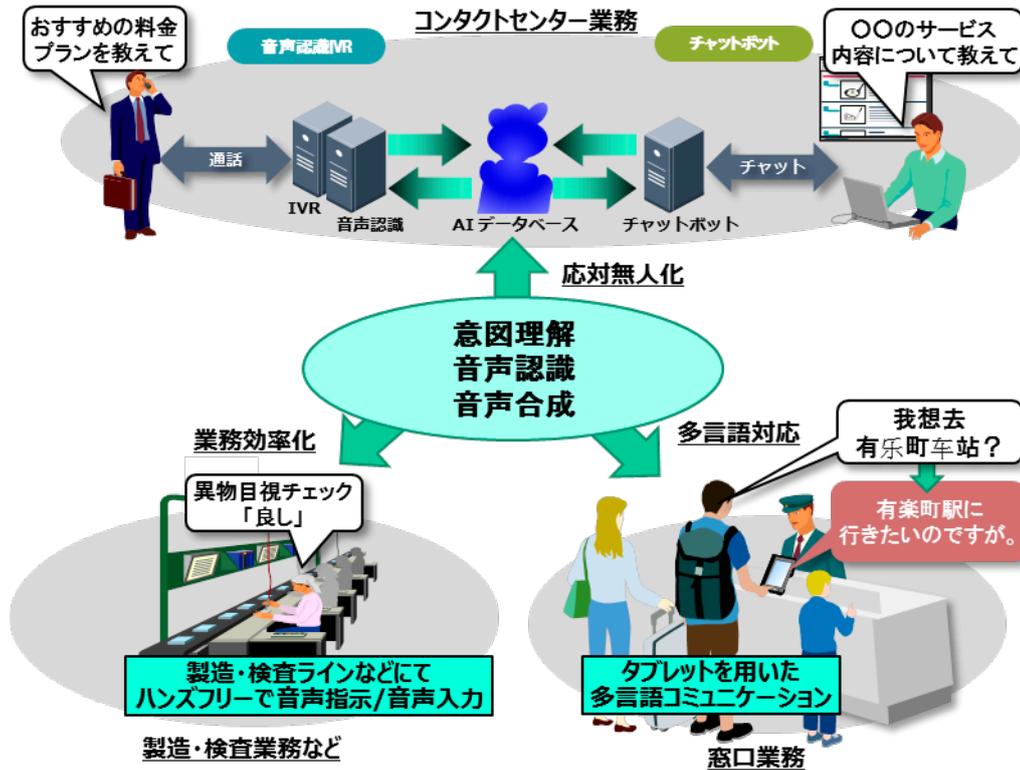
製品・サービス名称	TWX-21 MRO 集中購買サービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数 (700) 社 : 利用企業名 (三菱重工業株式会社様、富士フイルムビジネスエキスパート株式会社様) 大学数 (非公開) : 利用大学名 (北海道大学様)		
費用	初期費用 : 作業内容に応じて設定。ランニング費用 : データ件数、ユーザ ID 数などに応じて設定。		
利用条件	お客さまの関連業務により異なるため、個別対応になります。詳細は弊社営業までお問い合わせください。		
支払方法	月次・後払、支払方法 (振込)		
販売代理店	無、有 (代理店名 :)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 (弊社営業)	利用開始までの期間	2ヶ月～
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容 :)		
実績稼働率	有・無・その他 (99.5%以上)	目標稼働率	有・無・その他 (非公表)
ストレージ	多重化有・無・その他 (RAID5)	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 (GUI 対応など)	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	弊社営業日 9:00～17:00	QA 対応時間帯	弊社営業日 9:00～12:00, 13:00～17:00
コンタクト方法	電話・メール	対応インシデント数	別途個別見積り
計画停止の頻度	1回/月(第2日曜日)定期保守のため終日停止。メンテナンス・エンハンス・保守作業の停止は、サービスの稼働保証時間外(平日 19:00～翌日 9:00、休日)に実施	サービス停止の通知	計画停止はサービスのホームページに記載、メンテナンス・エンハンス・保守作業による停止は事前に通知
ログの開示	有 (コンテンツ)	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク、QMS、EMS
問合先	企業名 : 株式会社 日立製作所 部署名 : 公共システム営業統括本部 第四営業本部 文教情報営業部 第3グループ 担当者 : 酒匂、田中、荒木	電話番号 : 03-5471-4518 FAX 番号 : 03-5471-4519 Mail : ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp	

製品・サービス名称	音声データ利活用ソリューション
提供企業名	株式会社 日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部 IoT・クラウドサービス事業部
紹介サイト URL	http://www.hitachi.co.jp/products/it/IoTM2M/speech_recognition/

■製品サービスの特長

音声やテキストの意図を理解し、業務効率化・応対無人化・多言語対応を実現

IoT の台頭で、新たな価値創出やサービス品質向上を目指す取り組みが活発化しています。日立は音声録音技術やデータ分析技術の実績を生かし、業務効率化・応対無人化・多言語対応などを実現します。



適用分野（業種・業務）

- ・コンタクトセンターの問い合わせ対応業務
- ・現場の検査・点検業務
- ・外国人向け窓口業務

お客さまの課題

- ・営業時間外の問い合わせにも対応したい。
- ・手入力を削減し、業務効率を向上したい。
- ・日本語を母語としない人向けに多言語で対応したい。

解決策・お客さまメリット（導入効果など）

- ・音声認識 IVR やチャットボットでオペレーターの負荷を軽減
- ・音声指示/入力により、現場の検査・点検結果の入力時間を削減
- ・多言語対応により、日本語を母語としない人にも作業指示や確認業務が可能

※IVR：自動音声応答 Interactive Voice Response

製品・サービス名称		音声データ利活用ソリューション			
■分類					
製品サービス区分		クラウド区分	パブリッククラウド分類		利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()		・パブリック・プライベート ・その他 (オンプレミス)	・IaaS ・SaaS	・PaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項					
契約実績	法人数 (非公開) 大学数 (非公開)				
費用	別途ご相談させていただきます。				
利用条件	別途ご相談させていただきます。				
支払方法	別途ご相談させていただきます。				
販売代理店	無、有 (代理店名:)				
■契約					
申込み方法	注文書・その他 (弊社営業)	利用開始までの期間		別途ご相談させていただきます。	
約款の有無	別途ご相談させていただきます。		約款修正の可能性の有無	別途ご相談させていただきます。	
データ保存場所	国内・海外・その他 (オンプレミス)	データ削除規定の有無		有・無・その他 ()	
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()		
■信頼性					
SLA	有・無 (SLA 内容:)				
実績稼働率	別途ご相談させていただきます。		目標稼働率	別途ご相談させていただきます。	
ストレージ	別途ご相談させていただきます。		バックアップ	別途ご相談させていただきます。	
データ暗号化	別途ご相談させていただきます。		暗号化通信	別途ご相談させていただきます。	
■機能					
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)		VPN 接続	対応・未対応・対応予定	
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)		LDAP 連携	対応・未対応・対応予定	
管理ツール	有・無・その他 ()		API 公開	有・無・その他 (有償にて対応)	
■保守・運用					
障害対応時間帯	弊社営業日 9:00~17:00		QA 対応時間帯	弊社営業日 9:00~17:00	
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()		対応インシデント数	別途ご相談させていただきます。	
計画停止の頻度	別途ご相談させていただきます。		サービス停止の通知	別途ご相談させていただきます。	
ログの開示	有・無 (※条件)		第三者認証取得状況	別途ご相談させていただきます。	
問合せ先	企業名：株式会社 日立製作所 部署名：公共システム営業統括本部 第四営業本部 文教情報営業部 第3グループ 担当者：酒匂、田中、荒木			電話番号：03-5471-4518 FAX 番号：03-5471-4519 Mail：ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp	

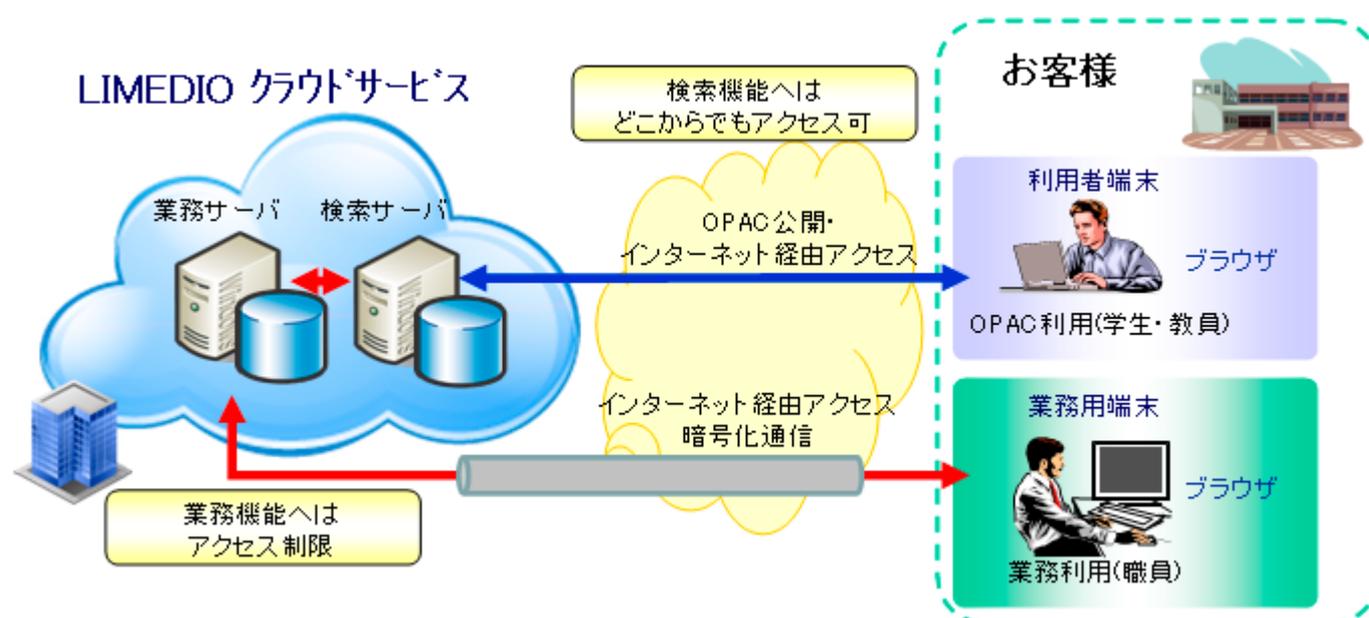
製品・サービス名称	図書館情報システム LIMEDIO クラウドサービス
提供企業名	株式会社リコー
紹介サイト URL	https://www.ricoh.co.jp/limedio/

■製品サービスの特長

1. **トップシェア**に裏付けされた**完成度の高いパッケージシステム**
2. **目的の資料**を簡単に**見つけれられる**新しい利用者サービス機能
3. 業務に合わせ**画面や帳票のレイアウト変更**が可能
4. 多くの実績に基づいた**確実なデータ移行**を実現
5. **万全のサポート体制**でシステムの**安定運用**を支援

20年以上に渡り、多くのお客様にご愛顧頂いております大学向け図書館システムパッケージのLIMEDIOが2012年末よりクラウドサービス提供を開始いたしました。

大学における図書館運用を知り尽くしたLIMEDIOの特徴そのままにクラウドサービスのメリットを享受頂けます。



製品・サービス名称	図書館情報システム LIMEDIO クラウドサービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 (専用テナント)	・SaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	全国大学を中心として 200 以上のユーザーにて稼働中		
費用	トライアル利用もごございます。 費用についてはお問合せ下さい。		
利用条件	初期費用、運用費にて構成		
支払方法	お問合せ下さい。		
販売代理店	無、有 (代理店名 :)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 ()	利用開始までの期間	お打合せにより決定
約款の有無	有・無 (契約書によります)	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 (契約書による)
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
適用法規	日本国法・海外法規 (契約書によります)	所轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容 : 運用データセンターとしては、TierIII レベルにて運用)		
実績稼働率	有・無・その他 ()	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)
学認対応	対応・未対応・対応予定 (詳細確認の上)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定 (詳細確認の上)
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	当社営業日 9:00-18:00	QA 対応時間帯	当社営業日 9:00-18:00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	契約期間内無制限
計画停止の頻度	無	サービス停止の通知	1 ヶ月前に通知
ログの開示	有・無 ()	第三者認証取得状況	ISMS
問合せ先	企業名 : 株式会社リコー 部署名 : MA 事業部 大学営業部 LIMEDIO 担当室	電話番号 : 050-3817-1084 Mail : limepromo@sdg.mdd.rioh.co.jp	

製品・サービス名称	リコー LF プリントサービス AE2
提供企業名	株式会社リコー
紹介サイト URL	https://www.ricoh.co.jp/mfp-ex/output/lfprint_ae2/

■製品サービスの特長

印刷環境を限りなくシームレスに再構築
クラウドプリンティングサービス「リコー LFプリントサービス AE2」

「リコー LFプリントサービス AE2」を利用すれば、学内 LAN に接続しなくてもインターネット接続環境があれば、印刷データの投入/印刷ができます。

また、プリンタードライバー以外からの印刷指示方法もご提供しておりますので、お手持ちのモバイルパソコンやスマートフォン内にあるデータを学内に設置された対応機器からスピーディーに出力ができます。

簡単かつ安全に、印刷環境を限りなくシームレスにする、革新のプリンティングサービスです。



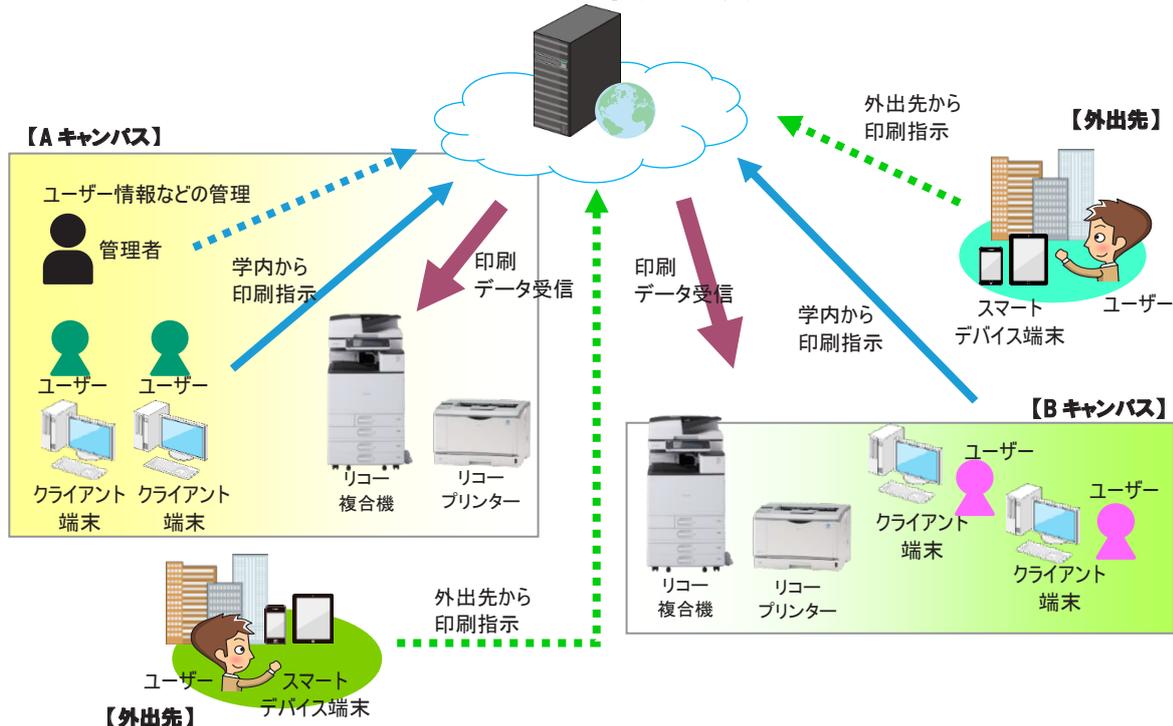
こんなお悩みごとを解決します！

- ### 1. シームレスな出力環境の構築

 - ・インターネット接続環境があれば学内 LAN に接続しなくても、ブラウザ、スマートデバイス端末、メール、プリンタードライバーと、様々な方法で印刷データの投入ができます。
 - ・インターネット経由で学内の空いている複合機から ID/パスワード*を入力し、ロケーションにとらわれず印刷ができます。 * オプションで IC カード認証に対応
- ### 2. TCO の削減

 - ・リコー LFプリントサービス AE2 は複合機 1 台ごとの月額請求となるため、イニシャルコストを抑えた導入が可能です。ユーザー人数(上限 1 万人)による費用増加もありません。

リコー LFプリントサービス AE2



製品・サービス名称	クラウドプリンティングサービス リコー LF プリントサービス AE2		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	一般企業向けに稼働中		
費用	トライアル利用もごございます。 2,500 円/台・月額 ※詳細はお問合せ下さい。		
利用条件	月額利用料にて構成		
支払方法	お問合せ下さい。		
販売代理店	無、有 (代理店名 :)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 ()	利用開始までの期間	お打合せにより決定
約款の有無	有・無 (契約書によります)	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 (契約書による)
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
適用法規	日本国法・海外法規 (契約書によります)	所轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容 :)		
実績稼働率	有・無・その他 ()	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)
学認対応	対応・未対応・対応予定 (詳細確認の上)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定 (詳細確認の上)
管理ツール	有・無・その他 (WEB サイト)	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	当社営業日 9:00-17:00	QA 対応時間帯	当社営業日 9 : 00-17 : 00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	契約期間内無制限
計画停止の頻度	適宜メンテナンスウィンドウにて告知	サービス停止の通知	2 週間前に通知
ログの開示	有・無 ()	第三者認証取得状況	
問合せ先	企業名 : リコージャパン株式会社 部署名 : 商品企画本部 画像ソリューション企画室	電話番号 : 0120-892-111 Mail: リコージャパン HP のお問合わせ受付フォームにご記入ください。	

製品・サービス名称	Ridoc Easy Sharing サービス
提供企業名	株式会社リコー
紹介サイト URL	https://www.ricoh.co.jp/ridoc_ds/rds/easy_sharing/

■製品サービスの特長

ドキュメント共有を促進するクラウドサービス「EasySharingサービス」

これまで個人PCやサーバーで管理していたドキュメントですが、社外との共有をおこなう場面が増えてきました。EasySharingサービスは社外とのドキュメント共有にリコーのデータセンターをご利用頂けるサービスです。自社で社外との共有の仕組みを構築するよりも安全・安価にご利用いただけます。操作は使い慣れたRidoc Desk Navigatorを利用します。

01 社外と安全にファイル交換

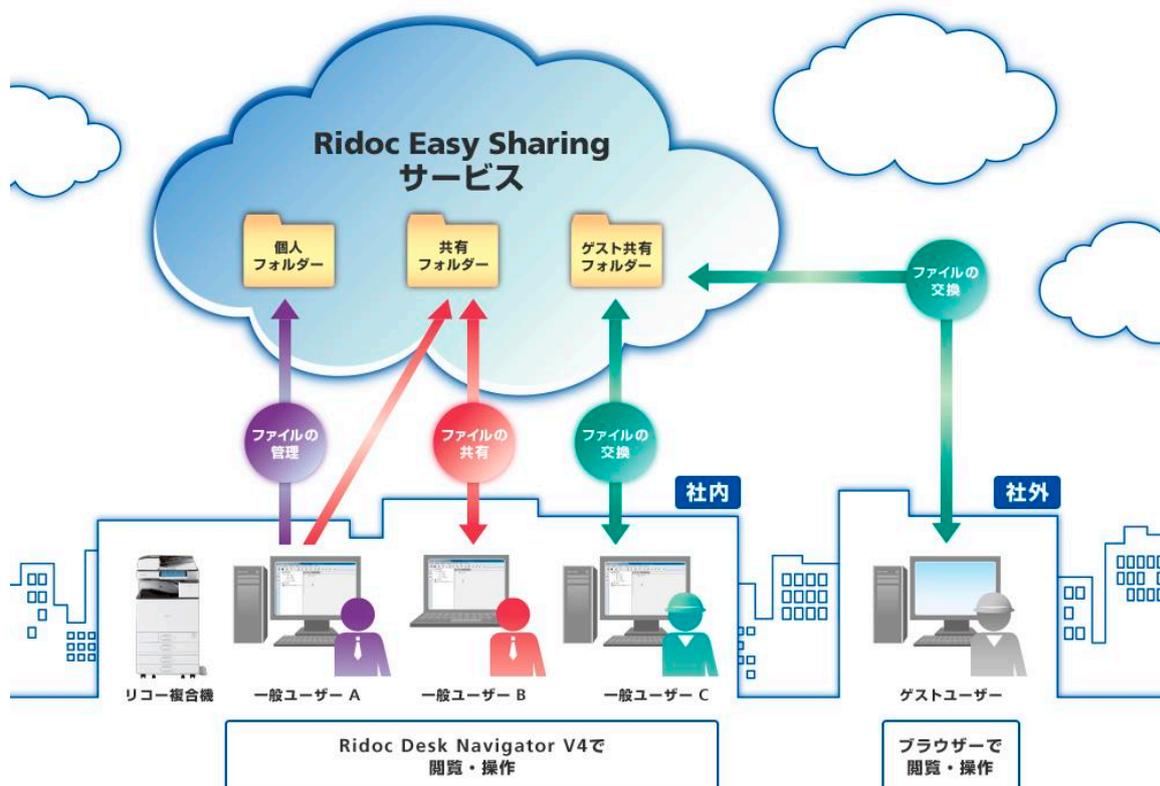
パスワードやメールアドレスによる制限によりファイル交換を行なうゲストユーザーを限定することで、セキュリティ面で安心して使用できます。また、ゲストユーザーが文書をダウンロードした際に、一般ユーザーにメール通知することもできます。

02 社内でのファイル共有

社内のユーザー間において、Ridoc Desk Navigator V4で編集した内容やバインドした状態を維持したまま、ファイルを保存・共有できます。

03 社内文書を保管

社内文書をRidoc Easy Sharing サービスの個人フォルダーにコピーしておくことで、文書のバックアップ（BCP対策）として利用できます。



製品・サービス名称	図書館情報システム LIMEDIO クラウドサービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	一般企業向けに稼働中		
費用	トライアル利用もごございます。 980 円/月額 ※別途、RidocDeskNavigator が必要です。		
利用条件	月額利用料にて構成		
支払方法	お問合せ下さい。		
販売代理店	無、有 (代理店名 :)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 ()	利用開始までの期間	お打合せにより決定
約款の有無	有・無 (契約書によります)	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 (契約書による)
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
適用法規	日本国法・海外法規 (契約書によります)	所轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容 : 運用データセンターとしては、Tier4 レベルにて運用)		
実績稼働率	有・無・その他 ()	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)
学認対応	対応・未対応・対応予定 (詳細確認の上)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定 (詳細確認の上)
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	当社営業日 9:00-18:00	QA 対応時間帯	当社営業日 9 : 00-18 : 00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	契約期間内無制限
計画停止の頻度	適宜メンテナンスウィンドウにて告知	サービス停止の通知	1 ヶ月前に通知
ログの開示	有・無 ()	第三者認証取得状況	ISMS
問合せ先	企業名 : リコージャパン株式会社 部署名 : 商品企画本部 画像ソリューション企画室	電話番号 : 0120-892-111 Mail: リコージャパン HP のお問合わせ受付フォームにご記入ください。	

製品・サービス名称	「DreamCampus for Cloud（ドリームキャンパス）」
提供企業名	SCSK株式会社
紹介サイト URL	http://www.scsk.jp/product/index.html

■製品サービスの特長

SCSK が提供している DreamCampus シリーズは、全国約 60 大学への導入実績があり、入学から卒業後までの大学業務と情報サービスを効率的にサポートします。また SCSK は、システム開発から、IT インフラ構築、IT マネジメント、BPO、IT ハード・ソフト販売まで、ビジネスに必要なすべての IT サービスを、フルラインナップでご提供することが可能です。

■グローバル、クラウドの最新ニーズに対応

学事暦：4クオータ制、Unicode、ポータル(学生/教職員)日英二言語に対応し、今後の高等教育機関の国際化をシステム面から支援します。また、プライベートクラウド、パブリッククラウド上でも動作しますので、ユーザー様のニーズに合わせ、ライセンス型、利用型にてご提供します。

■入学から卒業までのトータルソリューション

入学から卒業後までカバーした SCSK のトータルソリューション。大学ごと、独自に実現するエンロールマネージメントを強力にご支援します。また、大学様で蓄積したデータは、統合・分析サービスを活用し、学生情報の集積と可視化が可能です。

■データの一元管理により効率的な事務処理が可能

システム内のデータは一元管理されています。業務処理間で必要データを自動連携しますので、二重入力や手作業での情報連携を行うことなく業務運用が可能です。また、基幹業務システムと情報系サービス（Ex.履修・成績）の間で、リアルタイムで情報連携をおこないますので、繁忙期における日々の状況遷移の把握も可能です。カリキュラムなど定期的に行うメンテナンス作業は、外部取込、前年度複写機能を活用することで作業効率の向上を実現しました。

製品ラインナップ

- ・ DreamCampus 入試システム
- ・ DreamCampus web 履修登録システム
- ・ DreamCampus 教務ポータル
- ・ DreamCampus アンケートシステム
- ・ DreamCampus 教室管理システム
- ・ DreamCampus 授業料債権管理システム
- ・ DreamCampus ポートフォリオシステム
- ・ 人事給与・会計システム
- ・ 卒業生ポータルシステム 他
- ・ DreamCampus 教務システム
- ・ DreamCampus web 成績登録システム
- ・ DreamCampus シラバスシステム
- ・ DreamCampus 出欠管理システム
- ・ DreamCampus 授業料免除システム
- ・ DreamCampus 健康管理システム
- ・ 統合データベース/分析サービス
- ・ 通信教育学部向けシステム



製品・サービス名称	DreamCampus for Cloud (ドリームキャンパス)		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	大学実績 (63) 校：利用大学名 (国立大学、公立大学、私立大学にてご利用頂いております)		
費用	詳細は弊社営業担当までお問い合わせください。		
利用条件	【クラウド利用の場合】お客様のご利用ケースにより別途ご相談 【製品利用の場合】ユーザー数に制限のないライセンス形態、保守費用・カスタマイズ費用は別途お見積り		
支払方法	詳細は弊社営業担当までお問い合わせください。		
販売代理店	無、有 (ご指定企業様経由でも販売いたします。)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 (契約書締結)	利用開始までの期間	要相談
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容：お客様のご利用ケースにより別途ご相談)		
実績稼働率	有・無・その他 ()	実績稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	ストレージ	多重化有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 (個別構築で利用可能)	データ暗号化	有・無・その他 (個別構築で利用可能)
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (個別構築で利用可能)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (個別構築で利用可能)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定 (個別構築で利用可能)
管理ツール	有・無・その他 (モデル毎に異なる)	API 公開	有・無・その他 (モデル毎に異なる)
■保守・運用			
障害対応時間帯	別途ご相談	QA 対応時間帯	別途ご相談
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	別途ご相談
計画停止の頻度	(※頻度、時間帯)	サービス停止の通知	別途ご相談
ログの開示	有・無 (保守条件による)	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク
問合せ先	企業名：SCSK 株式会社 部署名：製造システム事業本部 ソリューション部 担当者：文教サービス課 内藤 一敏	電話番号：03-5548-5237 FAX 番号：03-5166-1279 Mail：Kazutoshi.Naitou@scsk.jp	

4. 情報インフラ系

製品・サービス名称	NECクラウドサービス(SINET 接続)
提供企業名	日本電気株式会社
紹介サイト URL	http://jpn.nec.com/

■製品サービスの特長

大学様及び研究所様に、NEC 神奈川データセンターの豊富なクラウドサービスを提供致します。

SINET 加入機関（加入予定も可）向けに、キャンパス等の施設から NEC 神奈川データセンターに SINET5 経由で接続するサービスを用意しています。

■NEC 神奈川データセンターについて

データセンターは東京都心から近く、自然災害等の被災が少ない場所に立地しています。

DaaS、IaaS、ハウジングサービス等の豊富なサービスがあり、他データセンターへの連携も可能です。

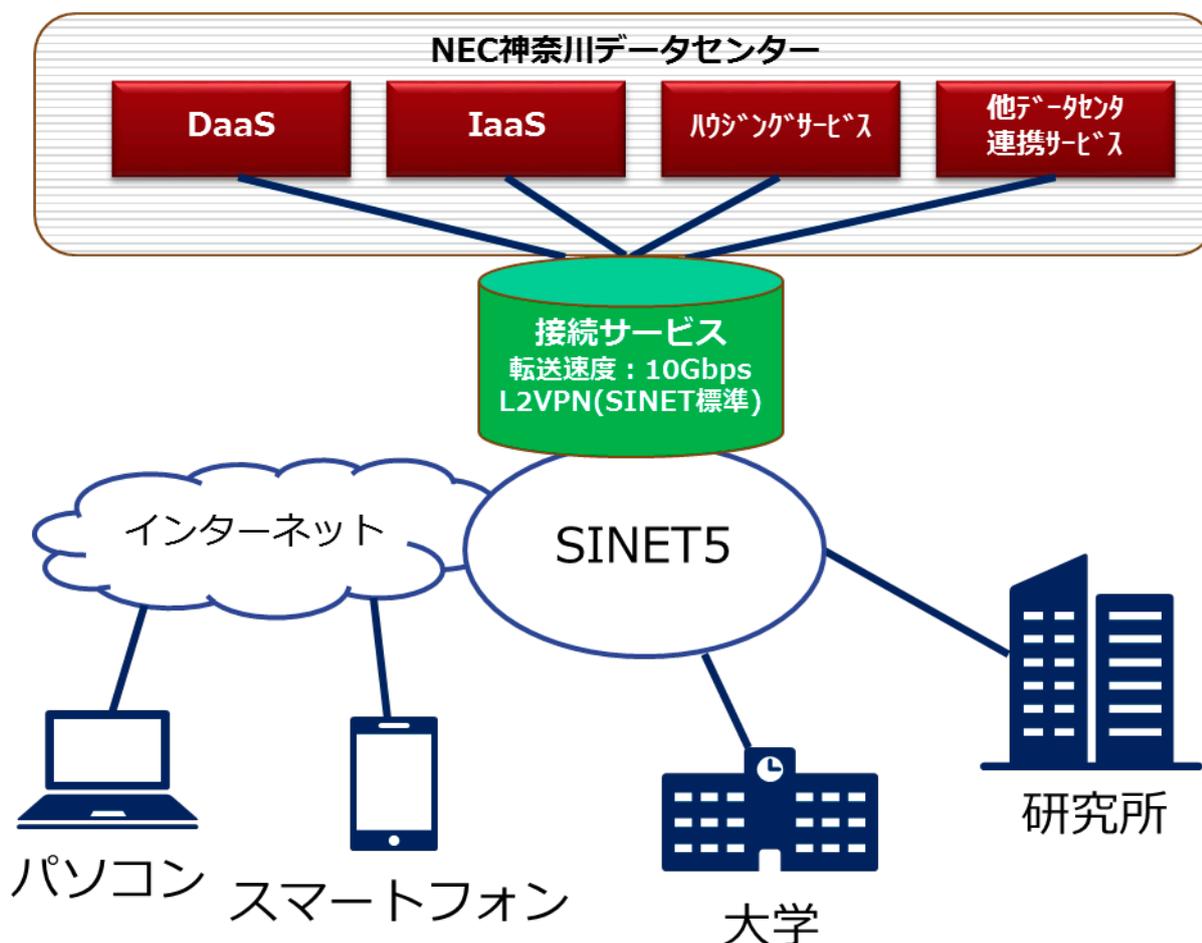
※詳細は、NEC 神奈川データセンターのホームページを参照して下さい。

■NEC 神奈川データセンター—SINET 接続サービス（オプション）について

キャンパス等の施設から NEC 神奈川データセンターへのアクセスに SINET5 を経由することで、「高速なデータ転送」及び「セキュアなネットワーク」を実現します。

NEC 神奈川データセンター及び SINET5 の施設に専用のネットワーク機器を設置することで、ネットワークに関連する「初期費用」及び「月額費用」の削減を実現します。

※当サービスを利用するためのネットワーク設計費用等は別途となります。



製品・サービス名称	NEC クラウドサービス(SINET 接続)		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 (ハウジング)	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数 () 社：利用企業名 () 大学数 (4) 校：利用大学名 (東海大学様、他)		
費用	時間/月額		
利用条件	特に無し (リソース申込みの承認は管理者権限)		
支払方法	請求サイクル (月次)、支払方法 (後払、振込)、支払通貨 (円)		
販売代理店	パートナー契約中 (NEC 直販可)		
■契約			
申込み方法	ポータルよりリソース申請 (テナント構築後)	利用開始までの期間	最短 15 分～(テナント構築後)
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容：保証する稼働率未満で月額料金の 10%を減額)		
実績稼働率	有・無・その他 (公表不可)	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 (ファイバーケーブルも冗長)	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応 (SSL、装置対向・物理/仮想)・未対応
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24H/365D	QA 対応時間帯	NEC 営業時間 9:00-17:00 (基本)、 24H/365D (オプション)
コンタクト方法	Web (基本)、 メール・電話 (オプション)	対応インシデント数	件数 (課金は無し)
計画停止の頻度	無	サービス停止の通知	1 ヶ月前に通知
ログの開示	有・無 (条件: FW/LB)	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク、SOC、SOC2
問合せ先	企業名：日本電気株式会社 部署名：第一官公ソリューション事業部 担当者：大学ソリューショングループ	電話番号：03-3798-6293 FAX 番号： Mail：sinet(at)elsd.jp.nec.com	

製品・サービス名称	FUJITSU 文教ソリューション UnifIDone (ユニファイドワン) キャンパスクラウド
提供企業名	富士通株式会社
紹介サイト URL	http://www.fujitsu.com/jp/solutions/industry/education/campus/information/campuscloud/

■製品サービスの特長

【製品の概要】

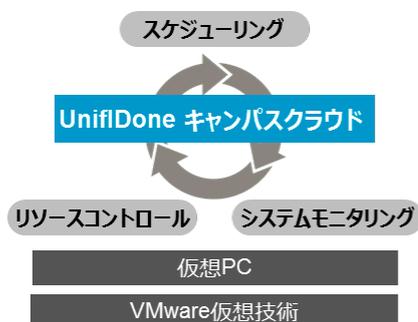
近年、スマートデバイスの普及を始めとした急激な ICT 環境の変化により、大学に求められる ICT サービスの形態も多様化しています。

さらに、教育面でも、学生の主体的な学びを促す学修基盤の整備が課題となっています。

「UnifIDone キャンパスクラウド」は、VMware の仮想化技術を基盤として、仮想 PC による多様な学習・研究スタイルの実現に必要な機能を提供します。

学内の PC 運用の効率化や ICT リソースの最適化が可能になるとともに、BYOD も実現し、学生がいつでもどこでも学修できる環境を構築することができます。

いつでもどこでも同じ学修・研究環境にアクセスできる



スケジューリング	<ul style="list-style-type: none"> ・利用する仮想PCの切り換えの自動化 ・授業利用時の仮想PC優先確保
リソースコントロール	<ul style="list-style-type: none"> ・仮想PCを使える時間や台数を制限して専有を防止 ・仮想PCへの接続元を制限
システムモニタリング	<ul style="list-style-type: none"> ・接続元ログを採取し運用改善へ利用 ・仮想PCの空き状況を参照

【製品の特長】

<いつでも、どこでも、簡単に利用できる学修環境>

スケジューリング

リソースコントロール

環境が異なる様々な端末から、統一された PC 環境に接続が可能になります。PC 教室やオープン利用室、研究室、さらには自宅からも、普段授業で利用している PC 環境を利用して学修することができます。

また、PC 環境の事前予約も可能なため、使いたい時間に使いたい環境を利用して、計画的に学修することができます。

<大学運用にマッチした学内クラウド環境>

スケジューリング

予約機能により、授業で使用する仮想 PC は期初に一括予約することで優先的に確保ができます。また、OS が異なる持込 PC での授業や、ラーニングコモンズなどでのグループ学修での利用といった多様な学修形態の運用が可能になります。

<学内 ICT リソースの最適化>

システムモニタリング

ログ採取機能により、仮想 PC がいつ、誰が、どこから利用したのかを管理することができます。

さらにアプリケーションのログ採取機能も有しており、仮想 PC 用のリソースのみならず、アプリケーションライセンスの最適化が可能となり、コスト削減を図ることができます。

製品・サービス名称	FUJITSU 文教ソリューション UnifIDone (ユニファイドワン) キャンパスクラウド		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数 () 社：利用企業名 () 大学数 () 校：利用大学名 (大阪大学様、東京電機大学様他)		
費用	買取費用、構築費用、保守費用		
利用条件	ライセンス形態：サーバライセンス 保守：初年度から		
支払方法	ご契約に基づく		
販売代理店	無、有 (代理店名：富士通パートナー各社)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 (ご要件提示)	利用開始までの期間	要ご相談
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容：)		
実績稼働率	有・無・その他 ()	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 (仕様による)
データ暗号化	有・無・その他 (仕様による)	暗号化通信	有・無・その他 (仕様による)
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	営業日の 9:00～17:00	QA 対応時間帯	営業日の 9:00～17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	無	サービス停止の通知	
ログの開示	有・無 (※条件)	第三者認証取得状況	P マーク
問合せ先	企業名：富士通株式会社 部署名：富士通コンタクトライン (総合窓口) 担当者：	電話番号：0120-933-200 FAX 番号： Mail：	

製品・サービス名称	USiZE (ユーサイズ) プライベートモデル / シェアードモデル / パブリッククラウドモデル
提供企業名	SCSK 株式会社
紹介サイト URL	http://www.scsk.jp/sp/usize/

■製品サービスの特長

1. サービスの概要

USiZE は SCSK のクラウド基盤サービスの総称です。

プライベートモデル / シェアードモデル / パブリッククラウドモデル (Amazon Web Services、Microsoft Azure) の各々のモデルもしくはモデルの組み合わせでサービス提供が可能です。

豊富な SI 経験とノウハウをベースに、高信頼なクラウドサービス環境を提供致します。

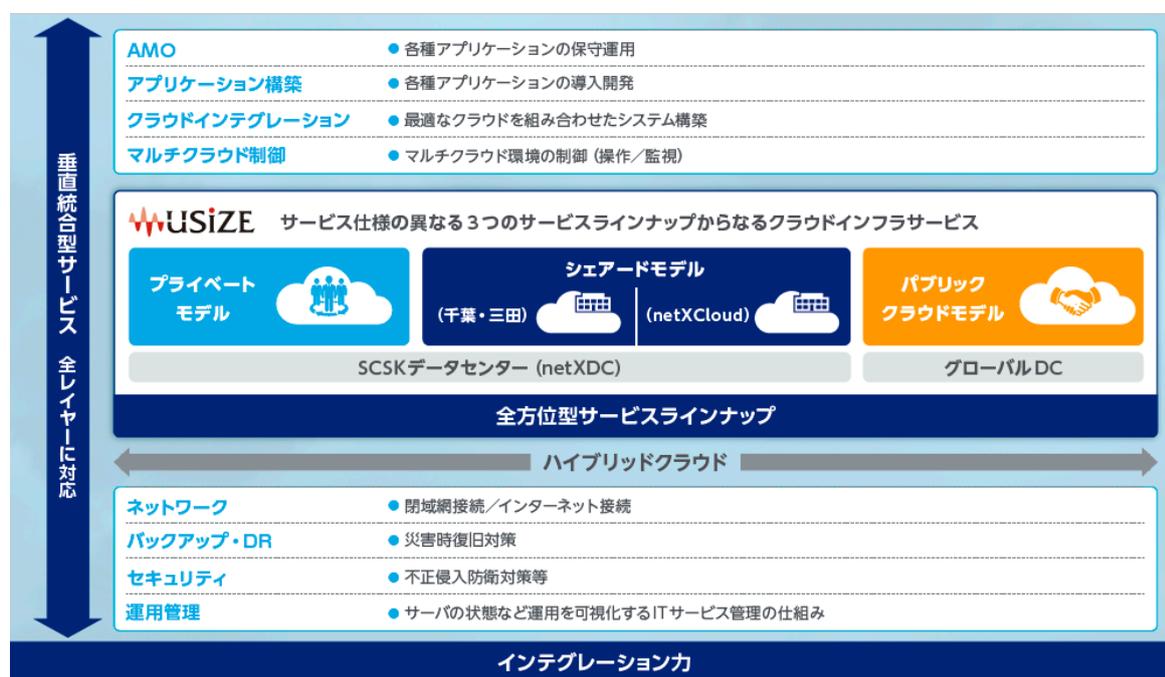
2. 特徴

- (1) インフラ基盤の提供、導入から、監視・運用まで、あらゆる要望に対応する広範囲なサービス提供
- (2) 自社運用から海外の最新クラウドサービスまで、用途に合わせて選べるサービスメニュー
- (3) プライベートモデル、シェアードモデル、パブリッククラウドモデルとお客様のニーズに合わせて選択できるラインナップを業務特性に応じて適材適所で配置することで、全体最適化されたインフラ運営を実現します。

3. サービスメニュー

課題やシステム特性に応じて、適切なクラウドを選択いただけます。

また、複数クラウドの相互連携も可能です。



4. 実績

- ・約 400 社が利用。
- ・運営基盤である HEARTIL マネジメントセンターが企業情報化協会平成 25 年度(第 31 回) IT 賞受賞

製品・サービス名称	USIZE (ユーサイズ) プライベートモデル / シェアードモデル / パブリッククラウドモデル		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	民間実績 (約 400) 社 : 利用企業名 (大和ハウス工業(株)様、パイオニア(株)様、前田建設工業(株)様、他) 大学実績 (10) 校 : 利用大学名 (埼玉大学様、他)		
費用	・初期費用: ¥0～ ・ランニング費用: ¥6,500.-～ (1vCPU/0.5GB メモリ)※モデル毎に異なる ・課金単位: 時間課金、月額課金		
利用条件	【クラウドの場合】大学、研究機関全般 ・最低利用期間: 無し(1ヶ月未満の場合は利用分のみ精算)※モデル毎に異なる		
支払方法	ご利用月翌月末現金支払い(支払い通貨:日本円)		
販売代理店	無、有 (代理店名:)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 (契約書締結)	利用開始までの期間	契約締結後、即日～10 営業日
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 (一部パブリッククラウドモデル)	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 (一部パブリッククラウドモデル)	管轄裁判所	国内・海外 (一部パブリッククラウドモデル)
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容:稼働率目標値 99.99% : シェアードモデル)		
実績稼働率	有・無・その他 (99.993% : シェアードモデル)	目標稼働率	有・無・その他 (99.95～99.99% : モデル毎に異なる)
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 (個別構築で利用可能)	暗号化通信	有・無・その他 (個別構築で利用可能)
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定 (個別構築で利用可能)
管理ツール	有・無・その他 (モデル毎に異なる)	API 公開	有・無・その他 (モデル毎に異なる)
■保守・運用			
障害対応時間帯	24 時間 365 日	QA 対応時間帯	24 時間 365 日受付(メール)
コンタクト方法	電話・メール : モデル毎に異なる	対応インシデント数	無
計画停止の頻度	不定期	サービス停止の通知	有
ログの開示	有・無 (内容はモデル毎に異なる)	第三者認証取得状況	P マーク、データセンターにて取得 : ISMS,BCMS,ITSMS
問合せ先	企業名 : SCSK 株式会社 部署名 : IT マネジメント事業部門 担当者 : USIZE 担当宛	電話番号 : FAX 番号 : Mail : usize-info@ml.scsk.jp	

製品・サービス名称	Microsoft Azure
提供企業名	日本マイクロソフト株式会社
紹介サイト URL	https://azure.microsoft.com/ja-jp/ https://www.microsoft.com/ja-jp/cloud-platform/azure-site-usage

■製品サービスの特長

Microsoft Azure とは

Microsoft Azure は開発者や IT プロフェッショナルがアプリケーションのビルド、デプロイ、管理に使用できる包括的なクラウド サービスのセットであり、Microsoft の世界規模のデータセンター ネットワークを介して利用できます。統合ツール、DevOps、およびマーケットプレースによって、シンプルなモバイル アプリからインターネット規模のソリューションまで、あらゆる機能を効率的に構築できます。

・ハイブリッド クラウド

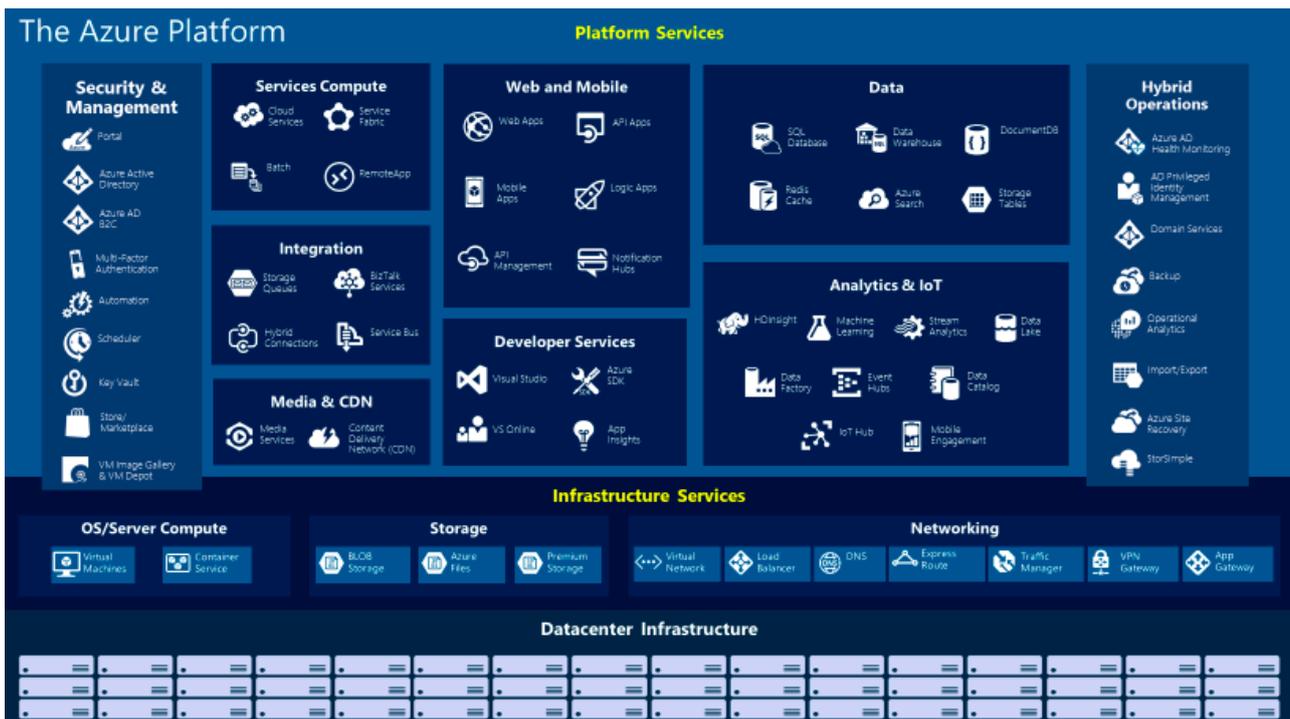
Azure は市場で唯一の一貫性のあるハイブリッド クラウドです。Azure によって、場所を問わず開発とデプロイを行うことができます。クラウドとオンプレミスでデータとアプリを接続することで、既存の投資からの移植性と価値を最大限に高めます。Azure では、アプリケーション開発、管理とセキュリティ、ID 管理、データ プラットフォームなどにおいて、ハイブリッドな一貫性を提供しています。

- Azure Stack を使用して、Azure をオンプレミスに拡張し、革新的なハイブリッド アプリを構築できます。
- オンプレミスのデータとアプリを接続し、複雑性を打破し、既存の資産を最適化します。
- クラウドおよびオンプレミス全体にシームレスにデータを分散し、分析できます。

・人工知能 (AI)、機械学習 (ML)

Azure を使用すると、データドリブンでインテリジェントなアプリを作成できます。イメージ認識からボット サービスまでを提供する Azure データ サービスと人工知能を利用すると、新しいエクスペリエンスを生み出し、拡張できます。あらゆる形やサイズのデータに対してディープ ラーニング、HPC シミュレーション、およびリアルタイム分析を行うことができます。

- 組み込みの AI で画期的なアプリを開発できます。
- どのようなデータにもカスタム AI モデルを大規模に構築およびデプロイできます。
- Microsoft およびオープン ソースのデータの優れた部分と AI イノベーションとを組み合わせることができます。



製品・サービス名称	Microsoft Azure		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品	・パブリック ・プライベート	・IaaS ・PaaS	・研究支援 ・情報インフラ
■一般事項			
契約実績	法人数（契約数非公開）：利用企業名（トヨタ自動車、セブン&アイ、フジテレビ、第一生命、コマツ、JR 東日本、楽天、アサヒビール、バンダイナムコ、カプコン、産業技術総合研究所、理化学研究所、柏市、倉敷市など多数） 大学数（契約数非公開）：利用大学名（東京大学、東京工業大学、岐阜大学、広島大学、岩手県立大学、横浜市立大学、早稲田大学、國學院大學、東京工科大、玉川大学、畿央大学など多数） 公開事例： http://azure.microsoft.com/ja-jp/case-studies/		
費用	1 か月間の無料試用版：¥20,500 円相当の使用権をプレゼント http://aka.ms/startazure 料金計算ツール： https://azure.microsoft.com/ja-jp/pricing/calculator/ AXIES 会員向け割引プランをご提供（詳細は担当営業まで）		
利用条件	最低ユーザー数、最低利用期間、利用対象の制限などに条件はありません		
支払方法	請求サイクル（月次・年次とも可）、支払方法（前払・後払、振込・クレジット、いずれも可）、支払通貨は日本円		
販売代理店	無、有（マイクロソフト認定教育リセラー 国内約 2000 社）		
■契約			
申込み方法	代理店経由またはオンラインでのお申込み	利用開始までの期間	即日利用可能
約款の有無	有・無（ ）	約款修正の可能性の有無	無有・無・その他（ ）
データ保存場所	国内・海外（東・西日本）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ ）
準拠法	日本国法・海外法規（ ）	管轄裁判所	国内・海外（東京地方裁判所）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：稼働率 99.95%または 99.9%保証、有料プランについては返金保証制度あり）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開）	目標稼働率	有・無・その他（99.95% または 99.9%）
ストレージ	多重化有（同一 DC 内三重化、地理冗長）	バックアップ	有・無・その他（ ）
データ暗号化	有・無・その他（ ）	通信暗号化	有・無・その他（ ）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	N/A	LDAP 連携	アプリケーションに依存
管理ツール	有・無・その他（Web 管理ツール）	API 公開	有・無・その他（一部公開）
■保守・運用			
障害対応時間帯	24 時間 x 365 日	QA 対応時間帯	24 時間 x 365 日
コンタクト方法	電話・その他（Web 経由）	対応インシデント数	無制限（Web 経由の場合）
計画停止の頻度	有（頻度：不定期、時間帯：夜間）	サービス停止の通知	実施の約 1 週間前
ログの開示	有・無（インスタンスに対してログ取得可能）	第三者認証取得	CS ゴールド マーク、ISO 27001, 27018 など多数
問合せ先	企業名：日本マイクロソフト株式会社 部署名：パブリックセクター事業本部 担当者：文教ソリューションチーム	Mail：	msedusolution@microsoft.com

製品・サービス名称	さくらのクラウド
提供企業名	さくらインターネット株式会社
紹介サイト URL	http://cloud.sakura.ad.jp/

■製品サービスの特長

まるで手元に実際のサーバやスイッチがあるような直感的操作が可能な IaaS 型クラウドです。

リージョン	東京
	石狩

高性能

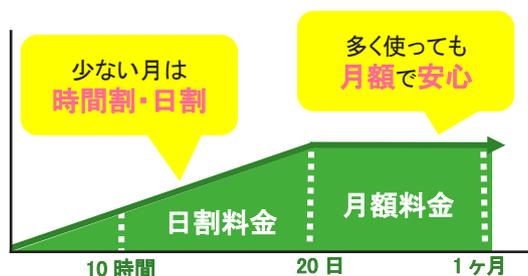
最大 **20 コア**、**224GB** メモリまでの充実のスペック

低価格

初期費用無料、月額 **1,522 円** から始められます
月額 1,522 円～、1 日 75 円、1 時間 7 円 ※ディスク料金除く

わかりやすい料金体系

初期費用無料、データ転送量による従量課金なし！



時間割・日割・月額からもっとも安い料金が自動で適用されます。事前に料金計算できるため予算確定、稟議処理も簡単です。

クラウドと専用サーバを接続できる

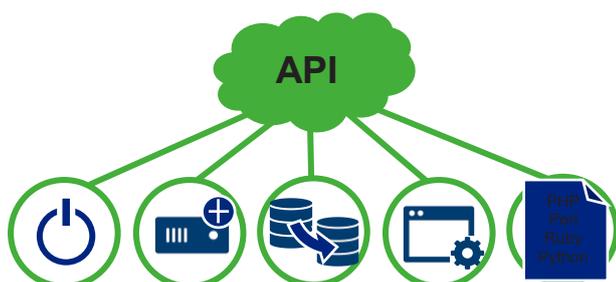
さくらのサービスメリットを最大限に！



ローカルセグメントを同一ネットワークで接続し、複数サービスを自由に組み合わせたハイブリッド構成が人気です。
※詳しくはご相談下さい。

クラウド API で業務を効率化

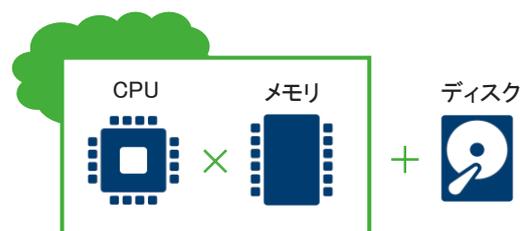
外部プログラムからサーバやインフラを操作！



サーバの起動停止、複数台作成、アーカイブの定期取得など業務を効率化するツールの作成が可能です。

選べるプラン 94 種類

最大 20 コア × 224GB メモリの充実スペック！



CPU とメモリを自由に組み合わせてサーバを選択、コントロールパネルからすぐに作成できます。

標準提供機能

セットアップ済み提供 OS あり / インターネット接続回線は共有 100Mbps を無料でご提供 / 1 つの仮想サーバにつき、1 つのグローバル IP アドレスを付与 / コントロールパネルの提供

有償オプション

Window Server (石狩リージョンのみの提供) / アーカイブ / ISO アップロード / ブリッジ接続 / スイッチ / ルータ+スイッチ(インターネット接続回線の集約・増強) / 追加 IP アドレス / ロードバランサ / VPC ルータ / GSLB (広域負荷分散) / DNS / オブジェクトストレージ / ハイブリッド接続 / SINET 接続

製品・サービス名称	さくらのクラウド		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（事例は次の URL 参照 http://case.sakura.ad.jp/case/ ） 大学数（非公開）校：利用大学名（国立情報学研究所、桜美林大学 他）		
費用	初期費用 0 円、ランニング費用：仮想サーバのタイプ、台数、オプションの有無により、時間割、日割、月額から最も安い料金で課金が発生します。		
利用条件	【クラウド】最低ユーザ数、最低利用期間の設定はございません。		
支払方法	標準は当月分を翌月 10 日請求、翌月末お支払い、お支払い方法は、クレジットカード払いとなります。ただし、お支払い時期や方法につきましては、営業部にてご相談を承ります。		
販売代理店	無、有（代理店名：代理店一覧： http://partner.sakura.ad.jp/partners.html ）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（オンラインサインアップ）	利用開始までの期間	即時
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：月間のサーバ稼働率が、99.95%以上）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開）	目標稼働率	有・無・その他（非公開）
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（コントロールパネル提供）	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24 時間 365 日	QA 対応時間帯	当社営業日 10：00-18：00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無（※条件）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク
問合せ先	企業名：さくらインターネット株式会社 部署名：営業部 文教チーム 担当者：滝島 繁則	電話番号：03-5332-7071 FAX 番号：03-5332-7079 Mail：edu-ml@sakura.ad.jp	

製品・サービス名称	さくらの専用サーバ
提供企業名	さくらインターネット株式会社
紹介サイト URL	http://server.sakura.ad.jp/

■製品サービスの特長

物理サーバの性能とクラウドの使い勝手を兼ね備えたまったく新しい専用サーバサービス

従来の専用サーバは、お申し込みから利用開始まで日数を要し、サーバを増やしたくてもすぐには増やせず、OS インストールやサーバ再起動は事業者に依頼する形のサービスが一般的でした。

「さくらの専用サーバ」のコンセプトは、「オンデマンド・セルフサービス・スケールアウト」。
クラウドに迫る使い勝手と、専有ならではの圧倒的パフォーマンスを実現しました。



オンラインのお申し込みから、最速10分で提供!

「すぐにサーバを利用したい」「すぐにサーバを増やしたい」というニーズにお応えします。導入しやすい低価格モデルはもちろん、初期費用の分割払い*をお選びいただくことで、ハイスペックモデルも初期コストを抑えた導入が可能です。豊富なサーバラインアップと選べる料金プランで「イニシャルコストを抑えたい」「ランニングコストを抑えたい」双方のご要望に合わせてお選びいただけます。

*通常は一括払いである初期費用を、分割してお支払いいただく方法です。

最新CPUを搭載! ioMemory、SSDも利用可能

全シリーズにXeonを採用、最新のE5系プロセッサもラインアップ。

SATA HDD搭載モデルはもちろん、高性能なSAS HDDやSSD、超高速なFusion-io社のioMemoryを搭載したモデルからお選びいただけます。これらのストレージラインアップから、用途に合わせた自在なスケールアップも可能です。



抜群のセルフサービス機能を標準提供

OSインストールをはじめ、サーバ再起動やコンソール操作等がセルフサービスで行えるツールを標準提供。



▶ コントロールパネル

自社独自開発のコントロールパネルを標準提供。サーバの再起動、OSインストール、各種サーバ情報の取得が可能。

▶ IPMIツール

サーバのハードウェアや、コンソール画面へのアクセスも可能。トラブル時にエラーメッセージを確認したり、インターネットに接続されていない状態でサーバを起動できます。

利用サーバ台数は無制限。複数台構成の設定も簡単です

ローカルネットワーク側での複数台構成が簡単に設定可能。サーバ台数に制限はありません。サーバシリーズの組み合わせも自由なため、要件に応じた自在なシステム構成が可能です。



■オプションサービス

- ・専用グローバルネットワーク
- ・ロードバランサーサービス
- ・ファイアウォールサービス
- ・ハイブリッド接続
- ・SINET 接続サービス
- ・GPU 搭載モデル (TESLA/TITAN X)

製品・サービス名称	さくらの専用サーバ		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（事例は次の URL 参照 http://case.sakura.ad.jp/case/ ） 大学数（非公開）校		
費用	無料トライアル有 4 core/8 GB メモリ・ハードウェア占有型で月額 9,720 円～（別途初期費用が必要）		
利用条件	最低利用期間は3ヶ月間です。		
支払方法	標準は前払い、お支払い方法はクレジットカードとなります。 ただし、お支払い時期や方法につきましては、営業部にてご相談を承ります。		
販売代理店	無、有（代理店一覧： http://partner.sakura.ad.jp/partners.html ）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（オンラインサインアップ）	利用開始までの期間	即時～数営業日
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：月間のサーバ稼働率が、99.95%以上）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開）	目標稼働率	有・無・その他（非公開）
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（コントロールパネルを提供）	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24 時間 365 日	QA 対応時間帯	当社営業日 10:00～18:00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無（※条件）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク等
問合せ先	企業名：さくらインターネット株式会社 部署名：営業部 文教チーム 担当者：滝島 繁則	電話番号：03-5332-7071 FAX 番号：03-5332-7079 Mail：edu-ml@sakura.ad.jp	

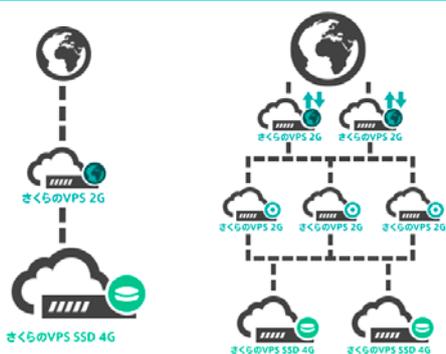
製品・サービス名称	さくらのVPS
提供企業名	さくらインターネット株式会社
紹介サイト URL	http://vps.sakura.ad.jp/

■製品サービスの特長

さくらのVPSは、1台の物理サーバ上に複数の仮想サーバを構築、仮想サーバならではの機能と専用サーバの自由度を合わせ持つ、仮想専用サーバサービスです。Linuxカーネルに標準搭載の仮想化技術である「KVM」を採用し、完全仮想化を実現しました。

ローカルネットワーク

台数無制限！複数台構成も低価格で構築できます



1台からはじめて、サービス規模の拡張に合わせて複数台に！コントロールパネル上の簡単操作でスケールアウトが可能です。

セキュリティ向上

IPアドレスの拡張

各サーバは3つのネットワークインターフェースをもつため、グローバル、ローカルの2層ネットワークだけでなく、ローカル側を複数セグメント化した3層構成も可能。これにより大規模なシステムをVPSで実現できるようになります。

※最大10セグメントまで利用可能

マイグレーション機能

クラウドへの移行も簡単！まずはVPSでスタート



マイグレーション機能とは？
サーバのディスクを「さくらのVPS」から「さくらのクラウド」にコピーする機能です。

- VPSで公開したWebサービスのアクセス
- VPSで開発・検証中のシステム、本番稼働はクラウドを使いたい

お使いの「さくらのVPS」と同じ構成のサーバを、コントロールパネルから簡単に「さくらのクラウド」へと移行できます。バックグラウンドで処理されるため、VPSを起動させたままマイグレーションが可能です。

SSD | 高速・高性能なプラン

メモリ：512MB ~ 32GB
CPU：仮想1~10コア
ストレージ：20GB~800GB
ローカルネットワーク：無料

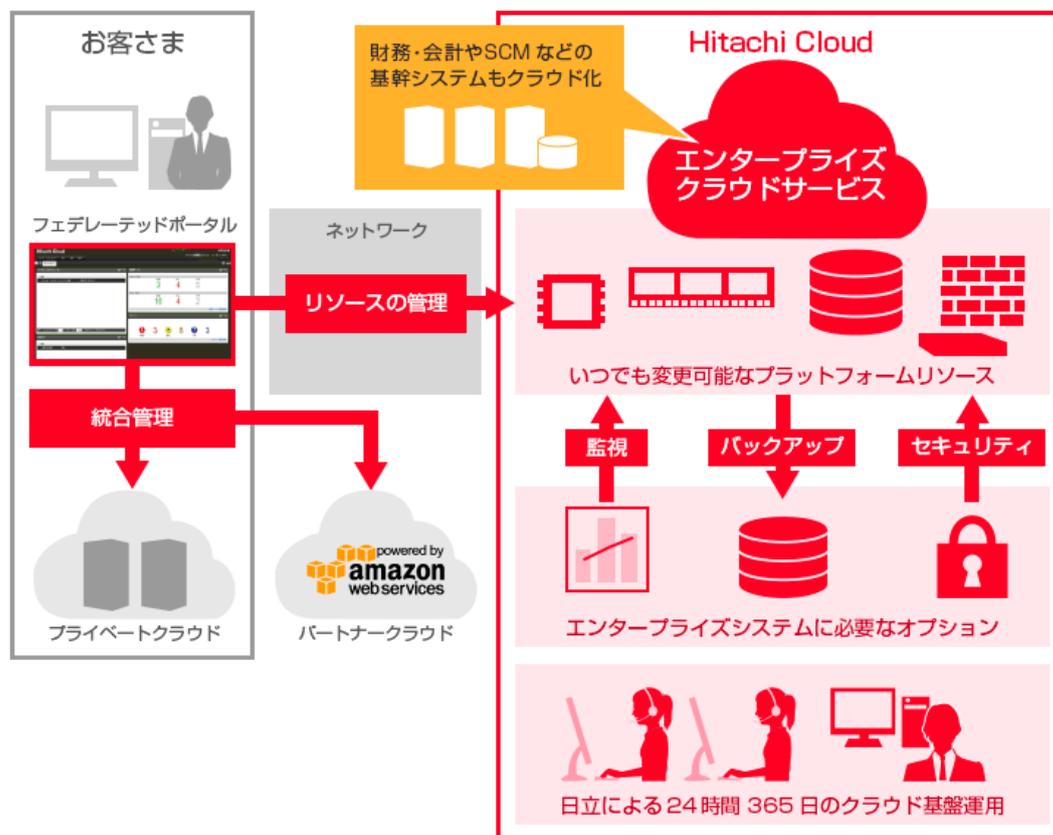
HDD | 大容量・低価格なプラン

メモリ：1GB ~ 16GB
CPU：仮想2~8コア
ストレージ：100GB~1,600GB
ローカルネットワーク：無料

製品・サービス名称	さくらのVPS		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数(非公開)社: 利用企業名(事例は次の URL 参照 http://case.sakura.ad.jp/case/) 大学数(非公開)校		
費用	Linux 版: 初期費 1,080 円～、月額費用 685 円～ Windows 版: 初期費 2,160 円～、月額費用 1,080 円～		
利用条件	2 週間の無料試用が可能。ご利用拘束期間は 3 ヶ月間となります。		
支払方法	標準は前払い、お支払い方法はクレジットカードとなります。 ただし、お支払い時期や方法につきましては、営業部にてご相談を承ります。		
販売代理店	無、有(代理店名: 代理店一覧: http://partner.sakura.ad.jp/partners.html)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他(オンラインサインアップ)	利用開始までの期間	即時
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容:)		
実績稼働率	有・無・その他(非公開) ()	目標稼働率	有・無・その他(非公開) ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他(弊社側にて取得)
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他(コントロールパネル提供)	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24 時間 365 日	QA 対応時間帯	当社営業日 10:00-18:00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無(※条件) ()	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク等
問合せ先	企業名: さくらインターネット株式会社 部署名: 営業部 文教チーム 担当者: 滝島 繁則	電話番号: 03-5332-7071 FAX 番号: 03-5332-7079 Mail: edu-ml@sakura.ad.jp	

製品・サービス名称	エンタープライズクラウドサービス
提供企業名	株式会社 日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部 IoT・クラウドサービス事業部
紹介サイト URL	http://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/cloud/service/f-enterprise/

■製品サービスの特長



安定稼働を支える高信頼クラウド基盤を提供

サーバ・ストレージ・ネットワーク・OS・ミドルウェアなどの IT リソースをインターネットや VPN を通じて月額サービスで提供します。

高可用性クラウドで高信頼なシステムを提供し、基幹システムのパブリッククラウド化を実現します。

安全・安心を強化する充実のオプション

業務を止めないバックアップ、異常にいち早く気づける監視、性能指定型のディスク提供など、エンタープライズシステムに必要なオプションを取り揃えております。

ポータル環境で柔軟な運用を実現

フェデレーテッドポータルからいつでもリソース追加・削除が可能です。また、仮想サーバ初期構築時に、ネットワーク構成を標準のパターンから選択することで、簡単に仮想サーバを生成することが出来ます。

・ Amazon Web Services は、米国その他の諸国における、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

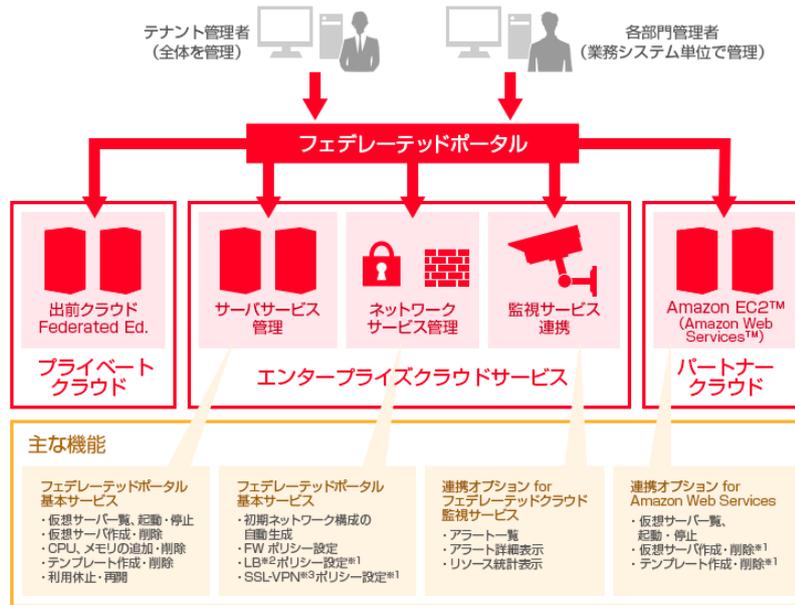
製品・サービス名称	エンタープライズクラウドサービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数 (非公開) 大学数 (非公開)		
費用	費用としてランニング費用が発生します。一部サービスでは初期費用が発生します。課金単位は月額課金です。サービスによっては日額課金/時間課金が可能です。詳細は営業までお問い合わせ願います。		
利用条件	【クラウドの場合】最低ユーザ数：規定なし。最低利用期間：1ヶ月		
支払方法	月次・後払、支払方法 (振込)		
販売代理店	無、有 (代理店名：)		
■契約			
申込み方法	その他 (弊社営業)	利用開始までの期間	5営業日～※HW増設、NW敷設が必要な場合は別途調整
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	本サービス提供対象外です。別途ご相談とさせていただきます。
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	本サービス提供対象外です。別途ご相談とさせていただきます。		
実績稼働率	有・無・その他 (99.999%)	目標稼働率	有・無・その他 (99.99%)
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx年xx月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx年xx月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	平日 8:00~19:00	QA 対応時間帯	平日 9:00~17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	特に制限なし
計画停止の頻度	最大 1回/月	サービス停止の通知	1ヵ月以上前に通知
ログの開示	有・無 ()	第三者認証取得状況	ISMS、Pマーク、QMS、EMS、ISO27017
問合せ先	企業名：株式会社 日立製作所 部署名：公共システム営業統括本部 第四営業本部 文教情報営業部 第3グループ 担当者：酒匂、田中、荒木	電話番号：03-5471-4518 FAX 番号：03-5471-4519 Mail：ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp	

製品・サービス名称	フェデレーテッドクラウド（フェデレーテッドポータルサービス、フェデレーテッドクラウド監視サービス）
提供企業名	株式会社 日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部 IoT・クラウドサービス事業部
紹介サイト URL	http://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/cloud/service/federated/

■製品サービスの特長

フェデレーテッドポータルサービス

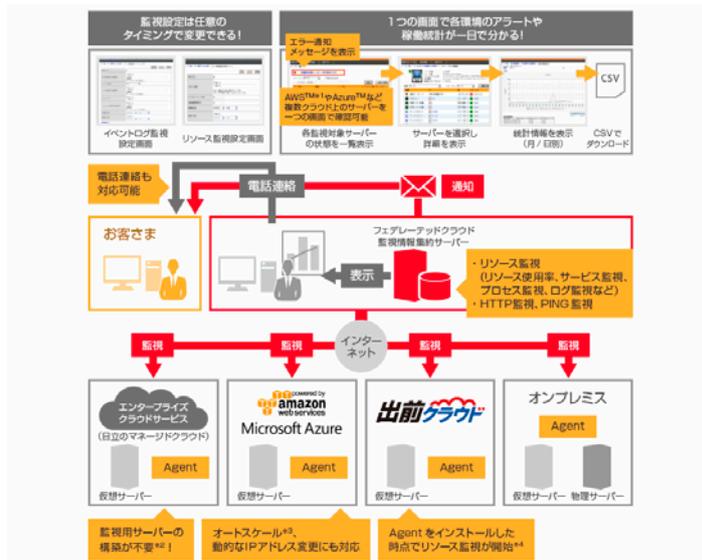
日立のマネージドクラウド（エンタープライズクラウドサービス）とパートナークラウドのリソースに対する操作・管理を一元的に行える Web ポータルを提供します。



※1 難化サポート予定
 ※2 Load Balancer
 ※3 Secure Socket Layer Virtual Private Network

フェデレーテッドクラウド監視サービス

プライベートクラウド、日立のマネージドクラウド（エンタープライズクラウドサービス）、パートナークラウド、オンプレミス環境を一元管理できるサービスを提供します。



- *1 Amazon Web Services
- *2 専用線やVPN(Virtual Private Network)経由での接続をご希望される場合は、AgentをインストールしたWindowsサーバを準備、設定いただく必要があります
- *3 オートスケールは Azure™、AWS™のみ対応しています
- *4 一部の監視はインストール後の設定が必要です

・Amazon Web Services は、米国その他の諸国における、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

製品・サービス名称	フェデレーテッドクラウド（フェデレーテッドポータルサービス、フェデレーテッドクラウド監視サービス）		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ ）	・パブリック・プライベート ・その他（パブリックとプライベートを管理）	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）、大学数（非公開）：利用大学名（広島大学様）		
費用	費用としてランニング費用が発生します。一部サービスでは初期費用が発生します。課金単位は月額課金です。サービスによっては日額課金／時間課金が可能です。詳細は営業までお問い合わせをお願いします。		
利用条件	【クラウドの場合】最低ユーザ数：規定なし。最低利用期間：1ヶ月		
支払方法	月次・後払、支払方法（振込）		
販売代理店	無、有（代理店名： ）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（弊社営業）	利用開始までの期間	フェデレーテッドポータル：最短5営業日 フェデレーテッドクラウド監視サービス：最短5営業日
約款の有無	有・無（契約書による）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（ ）
データ保存場所	国内・海外（ ）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ ）
準拠法	日本国法・海外法規（ ）	管轄裁判所	国内・海外（ ）
■信頼性			
SLA	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。		
実績稼働率	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。	目標稼働率	有・無・その他（99.9%）
ストレージ	多重化有・無・その他（ ）	バックアップ	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。
データ暗号化	有・無・その他（ ）	暗号化通信	有・無・その他（ ）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（ ）	API 公開	有・無・その他（ ）
■保守・運用			
障害対応時間帯	平日 9:00～17:00	QA 対応時間帯	平日 9:00～17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他（ ）	対応インシデント数	別途個別見積り
計画停止の頻度	1回／月	サービス停止の通知	1ヵ月以上前に通知
ログの開示	有・無（※条件 ）	第三者認証取得状況	ISMS、Pマーク、QMS、EMS、ISO27017
問合せ先	企業名：株式会社 日立製作所 部署名：公共システム営業統括本部 第四営業本部 文教情報営業部 第3グループ 担当者：酒匂、田中、荒木	電話番号：03-5471-4518 FAX 番号：03-5471-4519 Mail：ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp	

製品・サービス名称	出前クラウドサービス
提供企業名	株式会社 日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部 IoT・クラウドサービス事業部
紹介サイト URL	http://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/cloud/service/delivery-cloud/

■製品サービスの特長

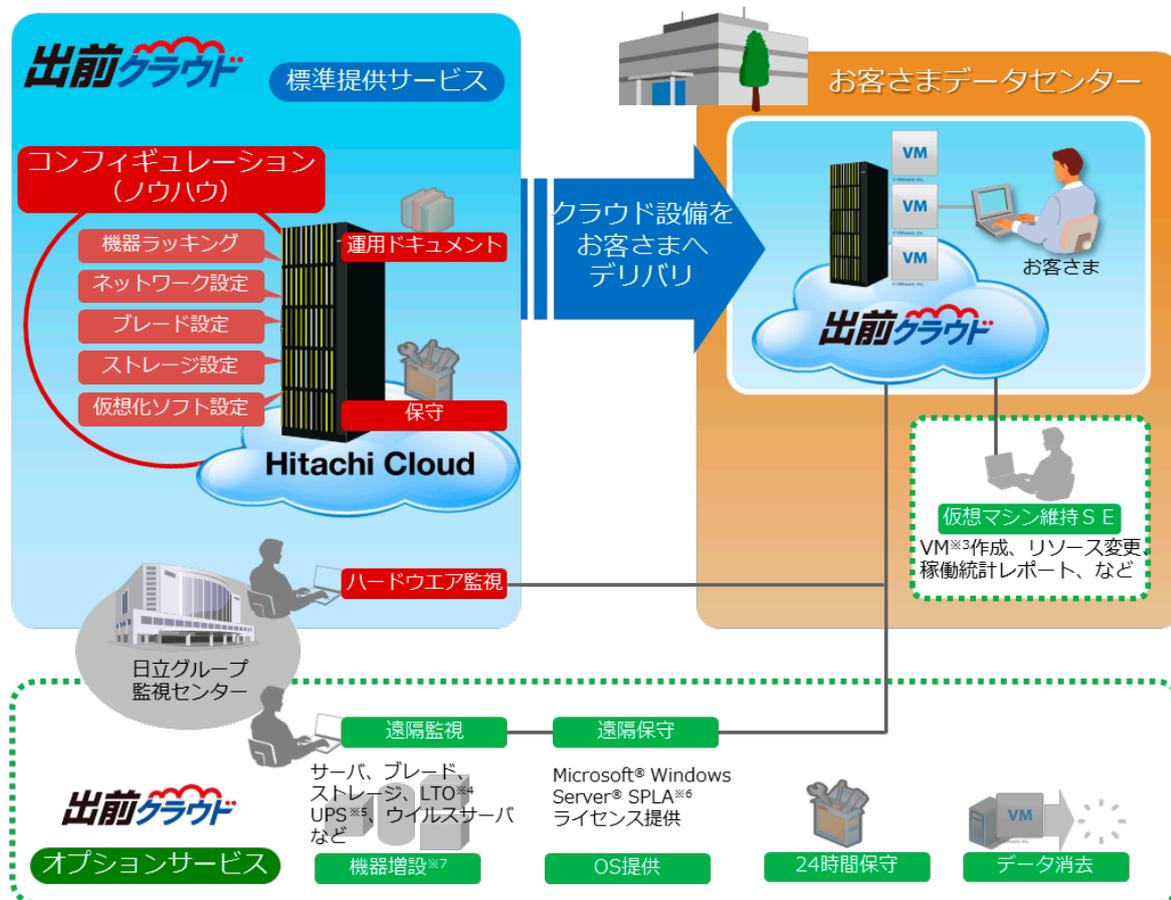
“クラウド設備”をお客さまにお届け 月額払いでプライベートクラウドを利用可能

お客さまのメリット

- 1 プライベートクラウドを初期費無し※1の月額料金で、早期に提供します
- 2 お客さまデータセンターに設置でき、データ流出の心配がありません
- 3 必要な時期に機器増設可能※2 柔軟な構成を提供します

※1：運送設置費のみ別途必要となります。

※2：ブレードまたはストレージの新モデルの発売による規格変更・在庫完売により、提供できない場合があります。



※3 Virtual Machineの略。

※4 Linear Tape-Openの略。テープ型の記憶媒体。

※5 Uninterruptible Power Supplyの略。無停電電源装置。

※6 Microsoft Services Provider License Agreementの略。サービスプロバイダ向けライセンスプログラム。

※7 LTO、UPSは初期導入時のみ提供可能です。

・Microsoft および Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

製品・サービス名称		出前クラウドサービス				
■分類						
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類		
・サービス ・製品 ・その他 ()		・パブリック・プライベート ・その他 ()		・IaaS ・PaaS ・SaaS		
・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他						
■一般事項						
契約実績		法人数（非公開）：利用企業名（金融業などを中心に数十社の実績あり） 大学数（非公開）				
費用		費用としてランニング費用が発生します。運搬・設置費用が初期費用として発生します。 課金単位は月額課金です。詳細は営業までお問い合わせ願います。				
利用条件		最低ユーザ数：1、最低利用期間：半年（解約の半年前に弊社営業にご連絡いただきます。）				
支払方法		月次・後払、支払方法（振込）				
販売代理店		無、有（代理店名： ）				
■契約						
申込み方法		その他（弊社営業）		利用開始までの期間		
				3ヶ月～		
約款の有無		有・無 ()		約款修正の可能性の有無		
				有・無・その他（契約書による）		
データ保存場所		国内・海外 ()		データ削除規定の有無		
				有・無・その他 ()		
準拠法		日本国法・海外法規 ()		管轄裁判所		
				国内・海外 ()		
■信頼性						
SLA		有・無（SLA内容： ）				
実績稼働率		提供対象外です。別途ご相談させていただきます。		目標稼働率		
				提供対象外です。別途ご相談させていただきます。		
ストレージ		多重化有・無・その他 ()		バックアップ		
				提供対象外です。別途ご相談させていただきます。		
データ暗号化		有・無・その他 ()		暗号化通信		
				提供対象外です。別途ご相談させていただきます。		
■機能						
SINET 接続		対応・未対応・対応予定（xx年xx月）		VPN 接続		
				対応・未対応・対応予定		
学認対応		対応・未対応・対応予定（xx年xx月）		LDAP 連携		
				提供対象外です。別途ご相談させていただきます。		
管理ツール		有・無・その他 ()		API 公開		
				有・無・その他 ()		
■保守・運用						
障害対応時間帯		弊社営業日 9：00～17：00		QA 対応時間帯		
				弊社営業日 9：00～17：00		
コンタクト方法		電話・メール・その他 ()		対応インシデント数		
				年間 5 件まで		
計画停止の頻度		原則として計画停止無し		サービス停止の通知		
				個別調整		
ログの開示		有・無（※条件 ）		第三者認証取得状況		
				ISMS、P マーク、QMS、EMS		
問合せ先		企業名：株式会社 日立製作所 部署名：公共システム営業統括本部 第四営業本部 文教情報営業部 第3グループ 担当者：酒匂、田中、荒木			電話番号：03-5471-4518 FAX 番号：03-5471-4519 Mail：ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp	

製品・サービス名称	日立クラウド基盤導入ソリューション Powered by Apache CloudStack®
提供企業名	株式会社 日立製作所 公共システム事業部
紹介サイト URL	http://www.hitachi.co.jp/cloud-stk/

■製品サービスの特長

**仮想デスクトップや仮想サーバをプライベートクラウドから供給
需要に迅速に対応でき、どこからでも活用できる教育環境を実現します。**

クラウド活用で、学内 IT をよりフレキシブルでセキュアな環境にします。

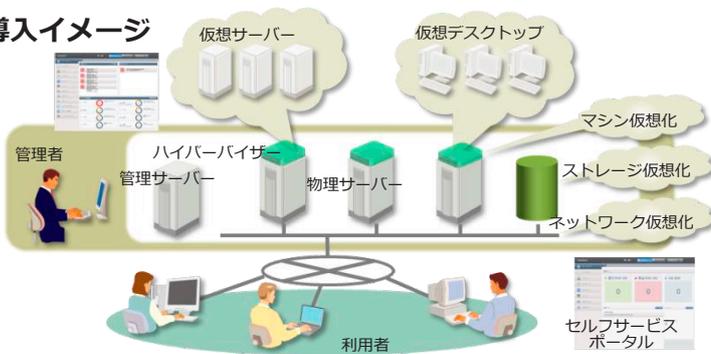


日立クラウド基盤導入ソリューション Powered by Apache CloudStack®を使うと、仮想サーバーやデスクトップ、仮想ネットワーク、仮想ストレージなど、IT 構成部品をオンデマンドで提供するプライベートクラウド基盤を構築できます。

色々なアプリケーションとそれが動作する環境(コンピュータ)を利用者が必要なときに、すぐに提供できます。クラウドなので学内外どこからでも利用できる環境を実現できます。

従来の教育環境は、学校にあるソフトウェアを学校に行って利用する必要がありました。プライベートクラウドを導入すると、場所に関わらず教育環境を利用でき、需要に応じ、異なる環境を教室に追加できる柔軟な教育環境を実現できます。

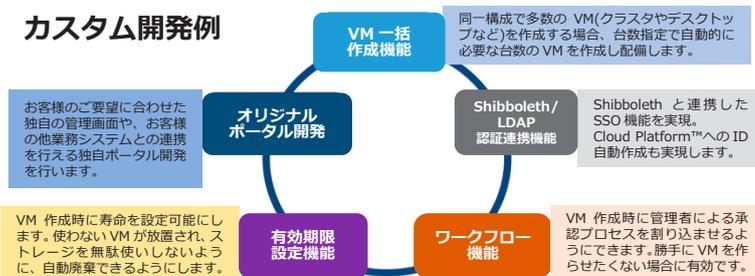
導入イメージ



日立クラウド基盤導入ソリューション Powered by Apache CloudStack®は国内の大学、研究所で導入いただいている実績あるソリューションサービスであり、クラウド管理ソフトウェアは国内でも多くのサービスプロバイダーに採用されている Accelerite Cloud Platform™を使用しています。

本ソリューションは、プライベートクラウドの要件定義、設計、構築から稼働後サポートまで首尾一貫で提供するのに加え、カスタム開発により、お客さまのご要望に合わせたカスタムメイドのクラウドの開発も承ります。

カスタム開発例



ソリューションの詳細情報、機能、お試モデルなど、より詳しい情報は以下のホームページをご覧ください。

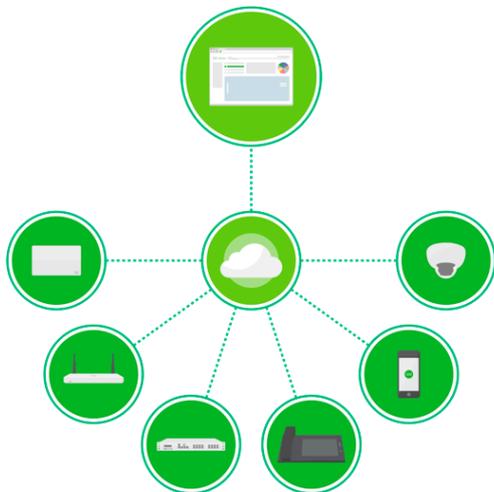
<http://www.hitachi.co.jp/cloud-stk/>

製品・サービス名称	日立クラウド基盤導入ソリューション Powered by Apache CloudStack®		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他 (セキュリティ)
■一般事項			
契約実績	大学数5校(北海道大学、九州大学、豊橋技術科学大学 他)、法人数2法人(防災科学技術研究所 他)		
費用	原則、個別見積。ハードウェアと構築費用をセットにしたお試しモデルは定価 300 万円～(税込)。		
利用条件	ソフトウェアライセンス、設計・構築・カスタマイズ費用は買取、ソフトウェア保守費用は買取又は年額、稼働維持支援費用は年額です。プライベートクラウドソリューションのため、対象外の項目は記入しておりません。		
支払方法	弊社問い合わせ先をお願いいたします。		
販売代理店	無		
■契約			
申込み方法	弊社問い合わせ先をお願いいたします。	利用開始までの期間	個別見積
約款の有無	契約書による	約款修正の可能性の有無	契約書による
データ保存場所	お客様設置場所	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	契約書による	管轄裁判所	国内
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容:)		
実績稼働率	有・無・その他 ()	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応
学認対応	対応	LDAP 連携	対応
管理ツール	有	API 公開	有
■保守・運用			
障害対応時間帯	弊社営業日 10:00～17:00	QA 対応時間帯	弊社営業日 10:00～17:00
コンタクト方法	メール・オンサイト	対応インシデント数	契約書による
計画停止の頻度	(※頻度、時間帯)	サービス停止の通知	※ (例: 1ヶ月前に通知)
ログの開示	有・無 (※条件)	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク、QMS、EMS 等
問合せ先	企業名: 株式会社 日立製作所 部署名: 公共システム営業統括本部 第四営業本部 文教情報営業部 第3グループ 担当者: 酒匂、田中、荒木	電話番号: 03-5471-4518 FAX 番号: 03-5471-4519 Mail: ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp	

製品・サービス名称	Cisco Meraki クラウド管理型 IT ソリューション
提供企業名	シスコシステムズ合同会社
紹介サイト URL	https://meraki.cisco.com/ja/content

■製品サービスの特長

クラウド管理による IT 運用のシンプル化



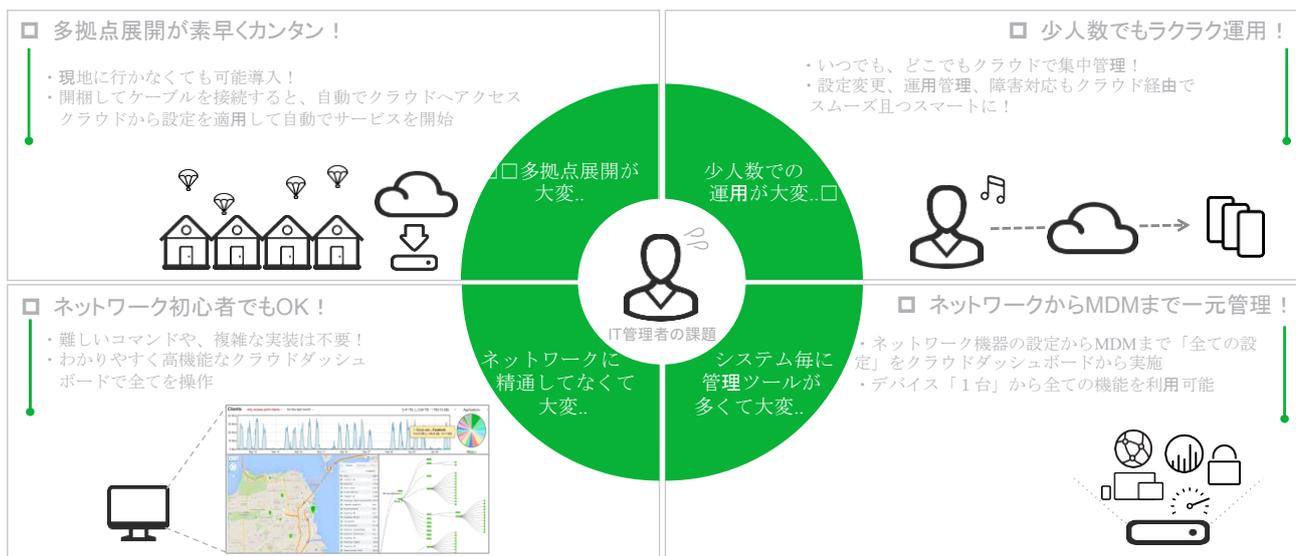
完全なクラウド 管理型ネットワークング ソリューション
無線、スイッチ、セキュリティ、EMM (MDM)、セキュリティカメラ
総合的なハードウェア、ソフトウェア、クラウド サービス

クラウド管理型ネットワークングのリーダー
シスコで最も急成長を遂げているポートフォリオの 1 つ
140,000 社以上のお客様
220 万台以上の Meraki ネットワーク デバイスの導入実績

Meraki

クラウド 管理型 IT の概要

Cisco Meraki の特徴



Meraki

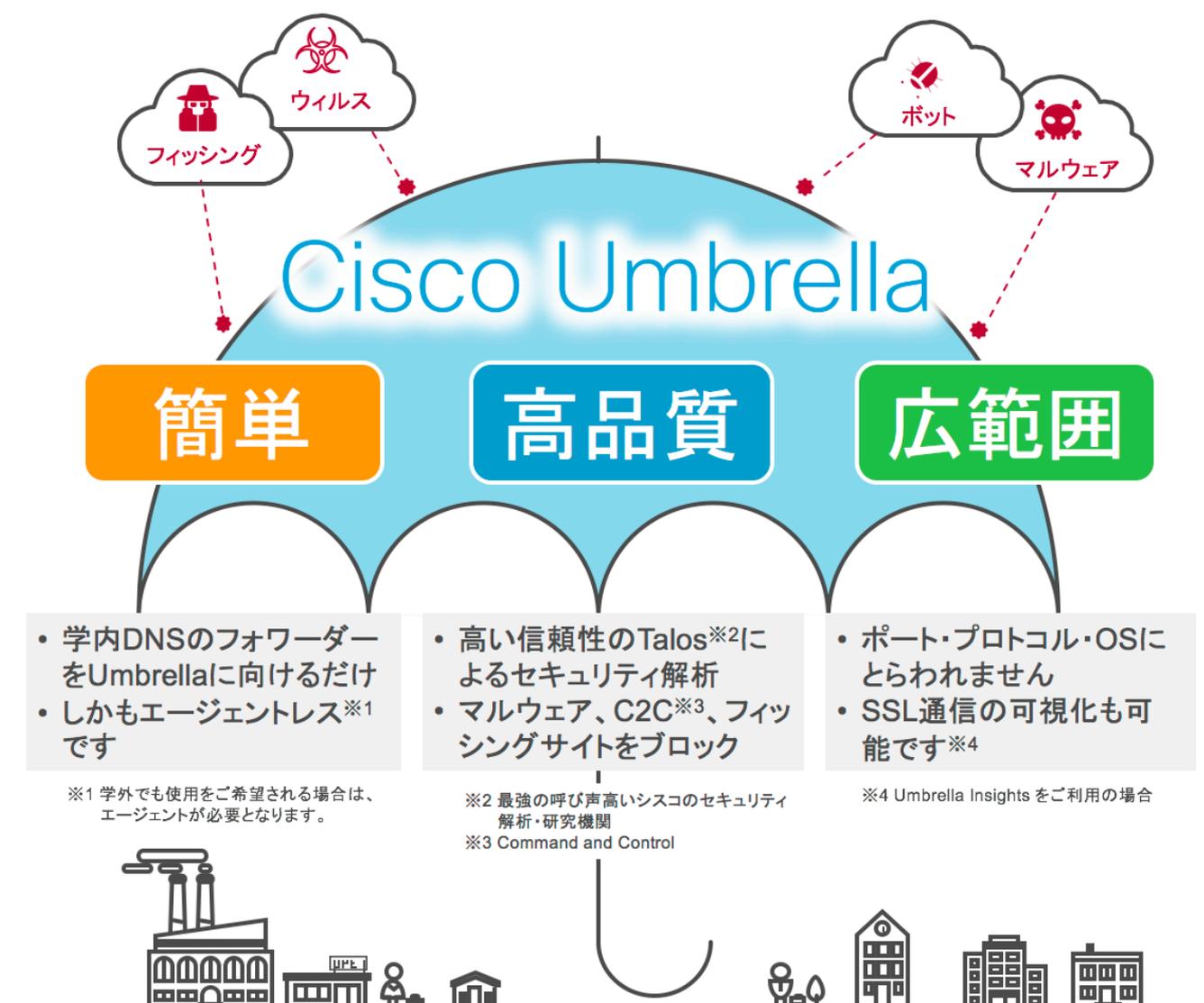
製品・サービス名称	Cisco Meraki クラウド管理型 IT ソリューション		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	マサチューセッツ工科大学、スタンフォード大学など多数。海洋大学さま、静岡理工科大学さま、新静岡学園さまなど日本でもご導入実績がございます。クラウド Wi-Fi マーケットではグローバルで約 75%のシェアをいただいております (Barron's News, 2016 年 8 月 2 日)。詳しくは弊社までお問い合わせください。		
費用	Cisco Meraki のウェビナーにご出席のエンドユーザさまには無償アクセスポイントを配布しております。また、無償でのトライアルプログラムも提供しております。基本的には、ハードウェア(スイッチ、アクセスポイントなど)と利用ライセンス(1,3,5,7,10 年)をご購入いただく必要がございます。詳しくは弊社までお問い合わせ下さい。		
利用条件	弊社のクラウドサーバとの接続によりファイアウォールの設定を変更いただく必要がある場合がございます。		
支払方法	弊社までお問い合わせください。		
販売代理店	有		
■契約			
申込み方法	弊社までお問い合わせ下さい。	利用開始までの期間	弊社までお問い合わせ下さい
約款の有無	弊社までお問い合わせ下さい。	約款修正の可能性の有無	弊社までお問い合わせ下さい
データ保存場所	国内・海外	データ削除規定の有無	有
準拠法	日本国法	管轄裁判所	
■信頼性			
SLA	有 (SLA 内容: 稼働時間 99.99%を保証)		
実績稼働率	非公開	目標稼働率	99.99%
ストレージ	多重化有	バックアップ	有
データ暗号化	有	暗号化通信	有
■機能			
SINET 接続	弊社までお問い合わせ下さい。	VPN 接続	対応
学認対応	弊社までお問い合わせ下さい。	LDAP 連携	対応
管理ツール	有	API 公開	有
■保守・運用			
障害対応時間帯	24H/365D	QA 対応時間帯	24H/365D
コンタクト方法	電話・メール・管理ツール	対応インシデント数	無制限
計画停止の頻度	なし	サービス停止の通知	停止予定なし
ログの開示	弊社までお問い合わせ下さい	第三者認証取得状況	SAS70 type II / SSAE16
問合先	企業名: シスコシステムズ合同会社 部署名: コーポレートビジネス事業ビジネス開発本部 担当者: 見松 利恵	電話番号: 03-6434-2618 FAX 番号: 03-6434-6262 Mail: cisco-edu-j@cisco.com	

製品・サービス名称	Cisco Umbrella
提供企業名	シスコシステムズ合同会社
紹介サイト URL	https://www.cisco.com/c/m/ja_jp/umbrella/index.html

■製品サービスの特長

■Cisco Umbrella とは

Cisco Umbrella は、DNS レベルで攻撃を防御する新ソリューションです。ユーザは基本的に学内の DNS サーバのフォワーダーに Cisco Umbrella を設定するだけでサービスを享受することができます。マルウェアの防御はもとより、フィッシングやボットネット通信、DNS トンネリングのブロックにも威力をエージェントレスにて発揮します。また、グレーな SSL 通信の可視化も可能です（サービスレベル Insights, Platform ご利用の場合）。



- 学内DNSのフォワーダーをUmbrellaに向けただけ
- しかもエージェントレス※1です

※1 学外でも使用をご希望される場合は、エージェントが必要となります。

- 高い信頼性のTalos※2によるセキュリティ解析
- マルウェア、C2C※3、フィッシングサイトをブロック

※2 最強の呼び声高いシスコのセキュリティ解析・研究機関
 ※3 Command and Control

- ポート・プロトコル・OSにとられません
- SSL通信の可視化も可能です※4

※4 Umbrella Insights をご利用の場合

Umbrellaは均一したセキュリティを施しにくい大学の特性にピッタリのソリューションです

製品・サービス名称	Cisco Umbrella		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数 (優良企業多数) 社 : 利用企業名 (https://www.opendns.com/enterprise-security/customers/) 大学数 (未公表) 校 : 利用大学名 ()		
費用	※トライアルの有無、課金体系、従量制課金の上限設定、割引プラン等 トライアル可能。アカデミックプライス適用。 ユーザー数に応じた価格設定 (1年、3年、5年契約) ※よりアカデミックに適した価格体系検討中。		
利用条件	【クラウドの場合】最低ユーザー数、10ユーザー 最低利用期間、1年		
支払方法	販売代理店に依存		
販売代理店	無、有 (代理店名 : https://locatr.cloudapps.cisco.com/WWChannels/LOCATR/openBasicSearch.do)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 (販売パートナーへ発注)	利用開始までの期間	数日
約款の有無	有・無 (販売パートナーの契約に依存)	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容 :)		
実績稼働率	有・無・その他 (100%)	目標稼働率	有・無・その他 (99.999%)
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx年xx月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx年xx月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	営業時間内	QA 対応時間帯	平日 9 : 00-17 : 00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	※ (例 : 年間 XX 件まで)
計画停止の頻度	(※頻度、時間帯)	サービス停止の通知	※ (例 : 1ヶ月前に通知)
ログの開示	有・無 (※条件)	第三者認証取得状況	※ISMS、Pマーク等
問合せ先	企業名 : シスコシステムズ合同会社 部署名 : コーポレートビジネス事業ビジネス開発本部 担当者 : 見松 利恵	電話番号 : 03-6434-2618 FAX 番号 : 03-6434-6262 Mail : cisco-edu-j@cisco.com	

製品・サービス名称	Cisco Cloudlock
提供企業名	シスコシステムズ合同会社
紹介サイト URL	https://www.cisco.com/c/ja_jp/products/security/cloudlock/index.html#~stickynav=1

■製品サービスの特長

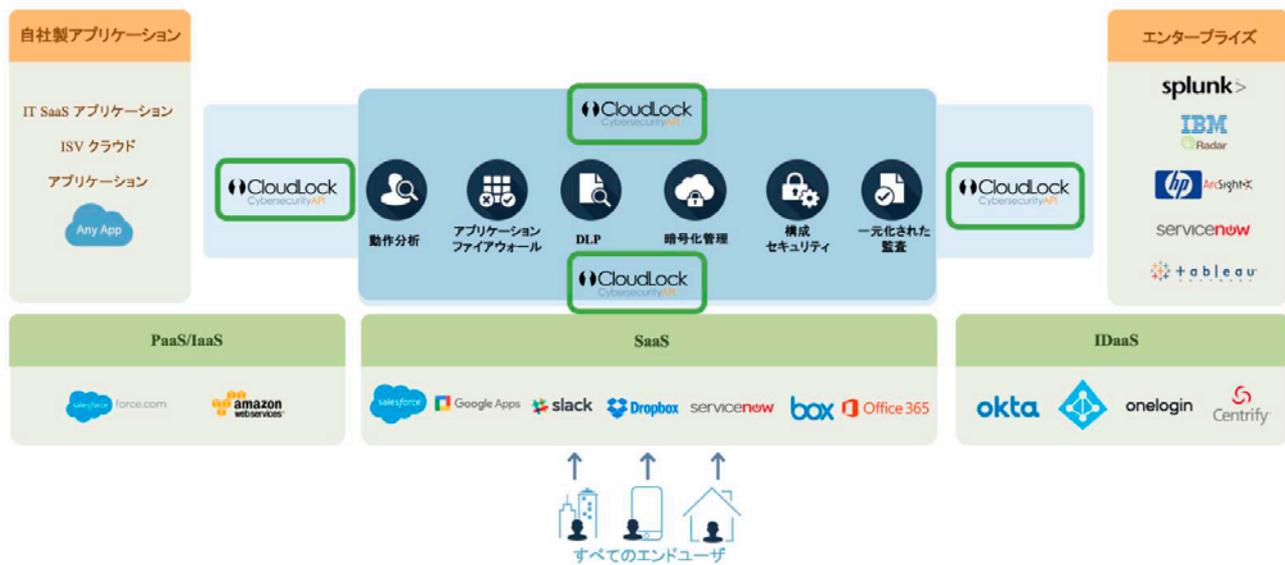
■Cisco Cloudlock とは

Cisco Cloudlock は、SaaS, PaaS, IaaS 等クラウドサービスをご利用しているお客様向けサービスです。利用者（教職員・学生）がクラウド上で何を行っているかを可視化し、ポリシー違反があれば自動的に警告を発し、同時に重要項目のマスキング、またはファイルの隔離等を行うことができます。

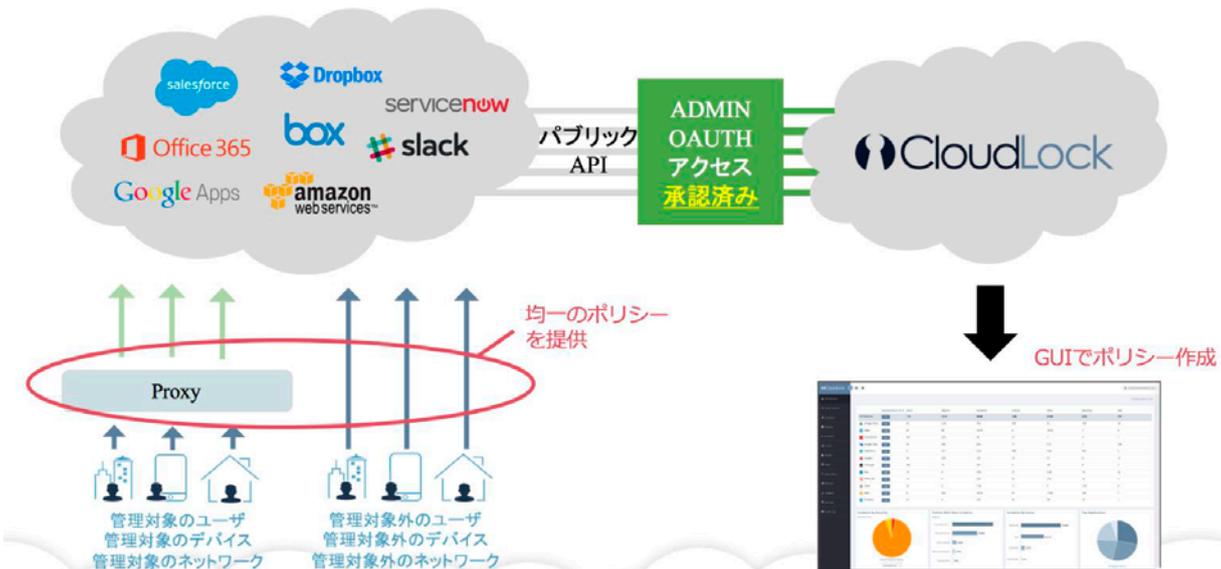
[仕様] ・ Cloudlock はクラウドでサービスを提供します。

- ・各クラウドサービスとは API 接続をし、Cloudlock の GUI を通してポリシーを設定します。
- ・各クラウドサービスとは API 接続なので、Proxy 接続と異なり、クラウド側(O365 など)の実装が変わっても柔軟に対応が可能
- ・複数のクラウドを利用されている場合に、クラウド間でのポリシー統一が可能 ※クラウドの組み合わせにより多少差異はある
- ・エージェントレスでの提供となります。

[概念図]



[サービス提供概要図]



製品・サービス名称	Cisco CloudLock		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数 (優良企業多数) 社 : 利用企業名 (https://www.cloudlock.com/customers/) 大学数 (未公表) 校 : 利用大学名 ()		
費用	※トライアルの有無、課金体系、従量制課金の上限設定、割引プラン等 トライアル可能。 ユーザー数及びクラウドサービス数に応じた価格設定 (1 年、3 年、5 年契約)		
利用条件	【クラウドの場合】最低ユーザー数 : 100 ユーザー 最低クラウドサービス数 : 1 最低利用期間、1 年		
支払方法	販売代理店に依存		
販売代理店	無、有 (代理店名 : https://locatr.cloudapps.cisco.com/WWChannels/LOCATR/openBasicSearch.do)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 (販売パートナーへ発注)	利用開始までの期間	数日
約款の有無	有・無 (販売パートナーの契約に依存)	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容 :)		
実績稼働率	有・無・その他 (100%)	目標稼働率	有・無・その他 (99.999%)
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	営業時間内	QA 対応時間帯	平日 9 : 00-17 : 00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	※ (例 : 年間 XX 件まで)
計画停止の頻度	(※頻度、時間帯)	サービス停止の通知	※ (例 : 1 ヶ月前に通知)
ログの開示	有・無 (※条件)	第三者認証取得状況	※ISMS、P マーク等
問合せ先	企業名 : シスコシステムズ合同会社 部署名 : コーポレートビジネス事業ビジネス開発本部 担当者・見松 利恵	電話番号 : 03-6434-2618 FAX 番号 : 03-6434-6262 Mail : rmimatsu@cisco.com	

製品・サービス名称	Cisco AMP for Endpoints
提供企業名	シスコシステムズ合同会社
紹介サイト URL	http://www.cisco.com/web/JP/product/hs/security/fireamp-endpoints/index.html

■製品サービスの特長

CiscoAMP for Endpoints は、PC (Win / Mac) ・ モバイル端末 ・ サーバ向けのエンドポイントセキュリティです。シスコのクラウド上のマルウェア DB とお客様の端末間をリアルタイムで通信し、脅威を防御します。また、検知時点でマルウェア判定に至らなかったファイルが後でマルウェアと判明された場合、自動的にファイルを隔離、同時に**感染経路及び感染範囲の証拠**を提供します。

クラウドを使った新しいマルウェアの検知・隔離・感染範囲、原因を特定

ハッシュ値をベースにしたマルウェア検知

後からマルウェアと発覚したファイルを直ちに隔離⇒ **クラウドリコール**

マルウェアの感染源、ネットワーク内での拡散状況を可視化⇒ **トラジェクトリ**

■AMP for Endpoint概念図



既存の一時点での対策に加え、AMP for Endpointなら過去にさかのぼり、一時点だけでの対策との差分を埋めます

ファイルトラジェクトリ

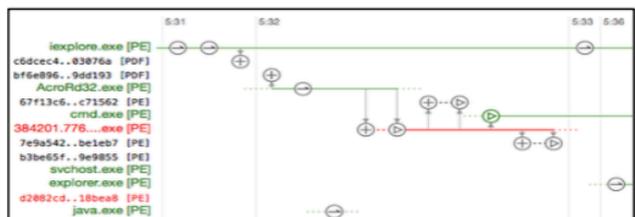
感染範囲を特定



何時何分のどの端末が感染したかが分かります。

デバイストラジェクトリ

感染原因を特定



どのアプリが動いたことで感染したかが分かります。

継続的なマルウェアチェックと感染範囲、原因を簡単に特定出来るため、復旧作業も素早く行うことが可能です。

製品・サービス名称	Cisco AMP for Endpoints		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数 (優良企業多数) 社 : 利用企業名 (官庁、商社、製造業、運送業等) 大学数 (未公開) 校 : 利用大学名 (未公開)		
費用	※トライアルの有無、課金体系、従量制課金の上限設定、割引プラン等 トライアル可、ユーザ数に応じた価格設定 年数 (1年、3年、5年)		
利用条件	【クラウドの場合】最低ユーザ数、50 ユーザー 最低利用期間、1年。対象 PC・サーバにエージェントをインストールする必要があります。		
支払方法	販売代理店に依存		
販売代理店	無、有 (代理店名 : https://locatr.cloudapps.cisco.com/WWChannels/LOCATR/openBasicSearch.do)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 (パートナーへの発注)	利用開始までの期間	数日
約款の有無	有・無 (パートナーの契約に依存)	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容 :)		
実績稼働率	有・無・その他 ()	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 (AMP Console)	API 公開	有 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	営業時間	QA 対応時間帯	平日 9 : 00-17 : 00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	※ (例 : 年間 XX 件まで)
計画停止の頻度	(※頻度、時間帯)	サービス停止の通知	※ (例 : 1ヶ月前に通知)
ログの開示	有・無 (※条件)	第三者認証取得状況	※ISMS、P マーク等
問合せ先	企業名 : シスコシステムズ合同会社 部署名 : コーポレートビジネス事業ビジネス開発本部 担当者 : 見松 利恵	電話番号 : 03-6434-2618 FAX 番号 : 03-6434-6262 Mail : cisco-edu-j@cisco.com	

製品・サービス名称	Cisco Unified Computing System (UCS) Cisco HyperFlex ハイパーコンバージドインフラ
提供企業名	シスコシステムズ合同会社
紹介サイト URL	https://www.cisco.com/c/ja_jp/products/hyperconverged-infrastructure/hyperflex-hx-series/index.html

■製品サービスの特長

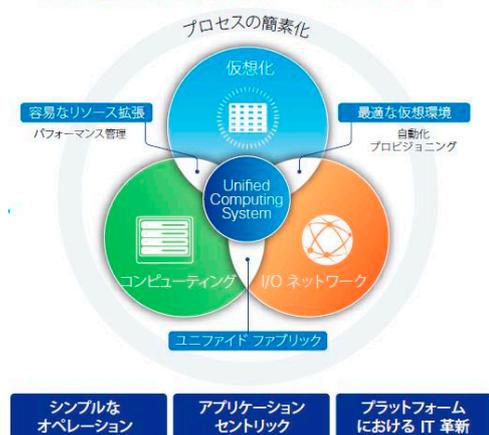
■Cisco Unified Computing System (UCS)

ストレージ接続およびネットワーク接続の統合をはじめ、あらゆるシステムリソースの仮想化を前提に設計された新世代コンピューティングシステムです。運用はよりシンプルに、TCO はより小さく、拡張性はより高く、クラウド時代に適合した新たなデータセンターを実現します。

UCS の特長

- シンプル:管理ポイントが少なく運用管理が容易
- 仮想環境最適化: ネットワークとサーバの融合による仮想環境への最適化
- 迅速性: サービスプロファイル機能による HW 設定の迅速化

全体最適化されたアーキテクチャ

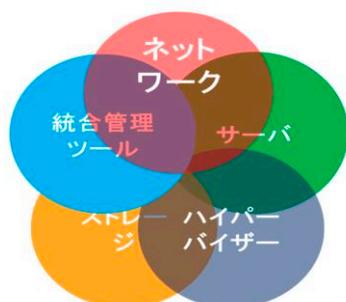


■Cisco HyperFlex ハイパーコンバージドインフラ

UCS で培ってきたテクノロジーを最大限に生かしながら、コンピューティング、ストレージ、及びネットワークの各コンポーネントを一体化した次世代のハイパーコンバージドインフラソリューションです。きわめて迅速なデプロイメントを可能にし、かつ効率的なデータセンタープラットフォームを構築することができます。

HyperFlex の特長

- コンピューティング、ストレージだけでなく、ネットワークも統合
- 分散ファイルシステムで高いスループットを実現
- インライン重複排除、データ圧縮などの機能による効率的なストレージ利用
- vCenter による一元管理



インフラをより集約
よりシンプルに

製品・サービス名称	Cisco Unified Computing System(UCS) Cisco HyperFlex ハイパーコンバージドインフラ		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数 (優良企業多数) 社 : 利用企業名 (官公庁、製造業、金融業、流通・サービス業、商社) 大学数 (多数) 校 : 利用大学名 (東洋大学、埼玉大学、東京農工大学、近畿大学、立教大、日本女子体育大学など)		
費用	※トライアルの有無、課金体系、従量制課金の上限設定、割引プラン等 弊社までお問い合わせください。		
利用条件	弊社までお問い合わせください。		
支払方法	弊社までお問い合わせください。		
販売代理店	無、有 (代理店名 : シスコパートナー)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 (パートナーへの発注)	利用開始までの期間	
約款の有無	有・無 (パートナーの契約に依存)	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容 :)		
実績稼働率	有・無・その他 ()	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24H/365D、8H/5D	QA 対応時間帯	24H/365D、8H/D
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	※ (例 : 年間 XX 件まで)
計画停止の頻度	(※頻度、時間帯)	サービス停止の通知	※ (例 : 1ヶ月前に通知)
ログの開示	有・無 (※条件)	第三者認証取得状況	※ISMS、P マーク等
問合せ先	企業名 : シスコシステムズ合同会社 部署名 : コーポレートビジネス事業ビジネス開発本部 担当者・見松 利恵	電話番号 : 03-6434-2618 FAX 番号 : 03-6434-6262 Mail : cisco-edu-j@cisco.com	

製品・サービス名称	Symantec Web Security Service (WSS)
提供企業名	株式会社シマンテック
紹介サイト URL	https://www.symantec.com/ja/jp/products/cloud-delivered-web-security-services

■製品サービスの特長

主な機能

Symantec Web Security Service は、詳細なアクセスポリシーとセキュリティポリシーを適用することで、Web インターネットの使用をアプリケーション、デバイス、ユーザー、または場所ごとに管理します。エンタープライズクラスの機能の例を、以下に示します。

URL のフィルタリングと分類



- 12 のセキュリティカテゴリにより、脅威の 90% をブロック
- 独自の URL 脅威リスクスコアにより、過剰にブロックすることなくセキュリティを強化
- 50 以上の言語に対応する 72 のカテゴリのいずれかに URL を分類
- 最新情報の動的なリアルタイム評価

ユーザー認証



- 最大 14 の認証方法でユーザーを特定
- お客様の企業が使用する複数の承認システムを統合

高度な脅威防止



- 多層的なデュアルウイルス対策とヒューリスティック分析の併用で、マルウェアを阻止
- カスタマイズしたホワイトリスト/ブラックリスト機能とファイル評価分析を利用

一貫した接続性



- 分散されたグローバルデータセンターが各国/地域のクラウドアクセスを提供
- ノート PC、モバイルデバイス、ファイアウォール、プロキシなどを容易に接続

オプション機能

Web Security Service は、シマンテックの幅広いセキュリティポートフォリオの中で、その他の製品と統合されています。統合される製品の例を、次に示します。

Malware Analysis Service



- 強力な検査機能により、潜在的なマルウェアの 99% を低い誤検知率で配信前に抽出
- 高度な分析(静的コード、YARA ルール、振る舞い)とインラインのリアルタイムファイルブロックで脅威に対抗
- サンドボックスを使用して疑わしいサンプルのふるまい分析を実施。Web Security Service との連携で、分析が終了するまでファイル配信を保留

クラウドアクセスセキュリティブローカー (CASB)



- シャドー IT の特定 - ユーザーがアクセスしているクラウドを識別し、1 クラウド当たり最大 60 個の属性を調査することで各クラウド(15,000 以上)のリスクを評価
- クラウド属性データに基づいたアクセスポリシーと制御ポリシーを設定することで、リスク対応や脅威の解決、情報保護を図る

Data Loss Prevention (DLP)



- 市場で最も高度な DLP 検出エンジンを使用した、モバイルデバイス、オンプレミスおよびクラウド上の機密データの監視と保護
- DLP の監視範囲を拡大し、Office 365、Box、Dropbox、Google Apps、Salesforce など 60 種類を超えるクラウドアプリのコンテンツを直接可視化して制御
- 導入済みのオンプレミス DLP とクラウドを接続して、既存の DLP ポリシーを利用してクラウドのデータも保護することで ROI を最大化

製品・サービス名称	Symantec Web Security Service (WSS)		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数 (非公開) : 利用企業名 (非公開) 大学数 (非公開) : 利用大学名 (非公開)		
費用	・年間利用料 (利用ユーザ数及び利用サービスに応じた課金体系) ※トライアル用ライセンス有 ※バンドルライセンス、複数年契約による割引有		
利用条件	1 ユーザ 1 年以上から利用可能。		
支払方法	年次請求 (複数年契約可)、前払、支払方法 (代理店経由)、円 (支払通過) ※応相談		
販売代理店	無、有 (代理店名 : マクニカネットワークス、各販売代理店) ※シマンテックパートナー http://partnerlocator.symantec.com/?country=104&l=ja#		
■契約			
申込み方法	代理店に依る	利用開始までの期間	当日～数週間
約款の有無	有 (代理店に依る)	約款修正の可能性の有無	有 (代理店に依る)
データ保存場所	国内	データ削除規定の有無	無
準拠法	日本国法	管轄裁判所	国内
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容 : http://portal.threatpulse.com/docs/rn/PDFBriefs/SYMWSS_SLA_160901.pdf 参照)		
実績稼働率	有・無・その他 ()	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24 時間 365 日	QA 対応時間帯	平日 9 : 00-17 : 30 ※代理店による
コンタクト方法	電話・メール・Web	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	適宜	サービス停止の通知	事前通知
ログの開示	有・無 (※条件)	第三者認証取得状況	なし
問合せ先	企業名 : 株式会社シマンテック 部署名 : 公共営業本部 担当者 : 村上、三寺、湯浅、山田	電話番号 : 03-5114-4360 FAX 番号 : 03-5114-4030 Web: www.symantec.com/ja/jp/contact-us	

製品・サービス名称	Symantec CloudSOC
提供企業名	株式会社シマンテック
紹介サイト URL	https://www.symantec.com/ja/jp/products/cloud-application-security-cloudsoc

■製品サービスの特長

CloudSOC Audit

シャドー IT の使用を可視化

プロキシ、ファイアウォール、エンドポイントからのログを分析し、社内で使用されているクラウドサービスを特定し、経営層向け概要レポートを IT 部門と事業部門の意思決定者に提供します。シマンテックの詳細に設定できる Flex ログフォーマット解釈機能により、ほとんどのタイプのログファイルを分析できます。

リスクの高い SaaS アプリを特定

企業のリスク許容度に合わせてカスタマイズできる 100 以上の客観的なセキュリティ属性に基づいて、使用中のクラウドアプリの中からリスクの高いアプリを特定します。そのようなサービスを使用している従業員およびその使用頻度を特定します。このインテリジェンスを使用して、安全な代替アプリを選び、責任を持って使用するように事業部門とユーザーに案内できます。

リスクの高いクラウドアプリへのアクセスを制御

承認されていないクラウドサービスはブロックし、自社のセキュリティガイドラインを満たしているクラウドサービスへのアクセスは許可します。AppFeed の ProxySG と WSS との統合により、プロキシ管理コンソールから直接、シャドー IT に対してきめ細かいポリシー制御を適用できます。

クラウドアプリトラフィックのリスクを特定

ユーザーふるまい分析 (UBA) と高度なデータサイエンスを使用して、ファイアウォール、プロキシ、エンドポイントのログファイルから脅威を検出します。

クラウドサービスに対してリスク評価を実行

各アプリは、100 以上の客観的なセキュリティ属性に基づいて測定されます。そのため、機能が似ているアプリを並べて比較し、最も安全なアプリを選択できます。

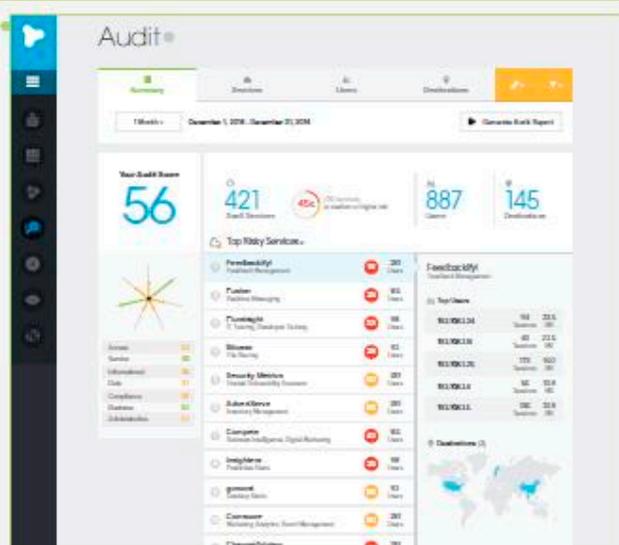
サービスを統合し、コストを削減

クラウドサービスを比較することで、十分に情報を得てから事業部門にアカウントの統合に関する推奨を行い、コストを削減し、複雑さを軽減できます。



自動化されたカスタムレポートを生成

ボタンをクリックするだけで、インフォグラフィックと経営層向け監査レポートを生成できます。レポートをカスタマイズして、社内の重要な関係者に電子メールで送信するようにスケジュールできます。



各リスク属性 (たとえば、コンプライアンス証明) に重みを付けることで、アプリの Business Readiness Rating をカスタマイズします。

製品・サービス名称	Symantec CloudSOC		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・ IaaS ・ PaaS ・ SaaS	・ 教育支援 ・ 研究支援 ・ 事務支援 ・ 情報インフラ ・ その他
■一般事項			
契約実績	法人数 (非公開) : 利用企業名 (非公開) 大学数 (非公開) : 利用大学名 (非公開)		
費用	・ 年間利用料 (利用ユーザ数及び利用サービスに応じた課金体系) ※トライアル用ライセンス有		
利用条件	1 ユーザ 1 年以上から利用可能。		
支払方法	年次請求 (複数年契約可)、前払、支払方法 (代理店経由)、円 (支払通過) ※応相談		
販売代理店	無、有 (代理店名 : マクニカネットワークス、各販売代理店) ※シマンテックパートナー http://partnerlocator.symantec.com/?country=104&l=ja#		
■契約			
申込み方法	代理店に依る	利用開始までの期間	当日～数週間
約款の有無	有	約款修正の可能性の有無	無
データ保存場所	国内・海外	データ削除規定の有無	有
準拠法	日本国法	管轄裁判所	国内
■信頼性			
SLA	有・無		
実績稼働率	有・無・その他 ()	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24 時間 365 日	QA 対応時間帯	平日 9 : 00-17 : 30 ※代理店による
コンタクト方法	電話・メール・Web	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	適宜	サービス停止の通知	事前通知
ログの開示	有・無 (※条件 ())	第三者認証取得状況	なし
問合せ先	企業名 : 株式会社シマンテック 部署名 : 公共営業本部 担当者 : 村上、三寺、湯浅、山田	電話番号 : 03-5114-4360 FAX 番号 : 03-5114-4030 Web: www.symantec.com/ja/jp/contact-us	

製品・サービス名称	Symantec Data Loss Prevention(DLP)Cloud Service for Email
提供企業名	株式会社シマンテック
紹介サイト URL	https://www.symantec.com/ja/jp/products/data-loss-prevention-cloud-email

■製品サービスの特長

Symantec Data Loss Prevention (DLP) Cloud Service for Email データシート

データシート: Data Loss Prevention

移動中の機密データを保護

DLP Cloud Service for Emailはコンテンツ認識型の情報漏えい防止機能をMicrosoft Exchange Onlineやビジネス向けGmailにまで拡張します。先進的な検出テクノロジーと組み込みのインテリジェンスを活用して移動中のデータを正確にリアルタイムで監視して分析できるので、誤検知や検出漏れに時間をとられることなく、実際のインシデントに集中できます。また、DLP Cloud Service for Emailは自動応答アクション（メッセージのブロック、リダイレクト、暗号化など）によるリアルタイム保護を提供し、重大な情報漏えいを防止します。強力なインシデント修復機能とカスタマイズ可能な応答アクション（電子メール通知、ワンクリック対応、ワークフローなど）を備え、インシデント対応プロセスの自動化と合理化を実現します。さらに、直感的なポリシービルダー、定義済みのポリシーテンプレート、インダストリーソリューションパック、ポリシー共有をはじめとする高度なポリシー作成機能を利用してポリシーを作成し、それをクラウドやオンプレミスのメールボックスのあらゆる場所に適用することができます。



機能と利点

- **保護:** 定義されたポリシーを元に機密情報や個人情報等の漏えいから保護
- **可視化:** ポリシー違反者、ポリシー別違反件数、違反となった情報等をクラウドコンソールにて可視化
- **適用:** 高度なポリシー作成機能により、クラウドとオンプレミスのすべてのメールボックスに一貫した情報漏えい対策ポリシーを適用
- **優先順位付け:** 移動中のデータを正確にリアルタイムで監視して分析することで、誤検知や検出漏れではなく実際のインシデントに優先的に対応
- **対応:** リアルタイム保護と強力なインシデント修復ワークフローでインシデントに素早く対応
- **配備:** 既存の Symantec DLP を活用して、クラウドベースの情報漏えい防止機能を迅速に配備でき、オンプレミスのコンテンツ検出サーバーの設置は不要

DLPクラウドコンソール



製品・サービス名称	Symantec Data Loss Prevention(DLP)Cloud Service for Email		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数 (3千社以上) : 利用企業名 (非公開) 大学数 (非公開) : 利用大学名 (非公開)		
費用	・年間利用料 (利用ユーザ数に応じた課金体系) ※トライアル用ライセンス有 ※別途 office365, google Apps 等クラウドメールサービス利用契約が必要		
利用条件	1 ユーザ 1 年以上から利用可能。		
支払方法	年次請求 (複数年契約可)、前払、支払方法 (代理店経由)、円 (支払通過) ※応相談		
販売代理店	無、有 (代理店名 : マクニカネットワークス、各販売代理店) ※シマンテックパートナー http://partnerlocator.symantec.com/?country=104&l=ja#		
■契約			
申込み方法	代理店に依る	利用開始までの期間	当日～数週間
約款の有無	有	約款修正の可能性の有無	無
データ保存場所	海外	データ削除規定の有無	無
準拠法	日本国法	管轄裁判所	国内
■信頼性			
SLA	有・無		
実績稼働率	有・無・その他 ()	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24 時間 365 日	QA 対応時間帯	平日 9 : 00-17 : 30 ※代理店による
コンタクト方法	電話・メール・Web	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	適宜	サービス停止の通知	事前通知
ログの開示	有・無 (※条件)	第三者認証取得状況	無し
問合せ先	企業名 : 株式会社シマンテック 部署名 : 公共営業本部 担当者 : 村上、三寺、湯浅、山田	電話番号 : 03-5114-4360 FAX 番号 : 03-5114-4030 Web: www.symantec.com/ja/jp/contact-us	

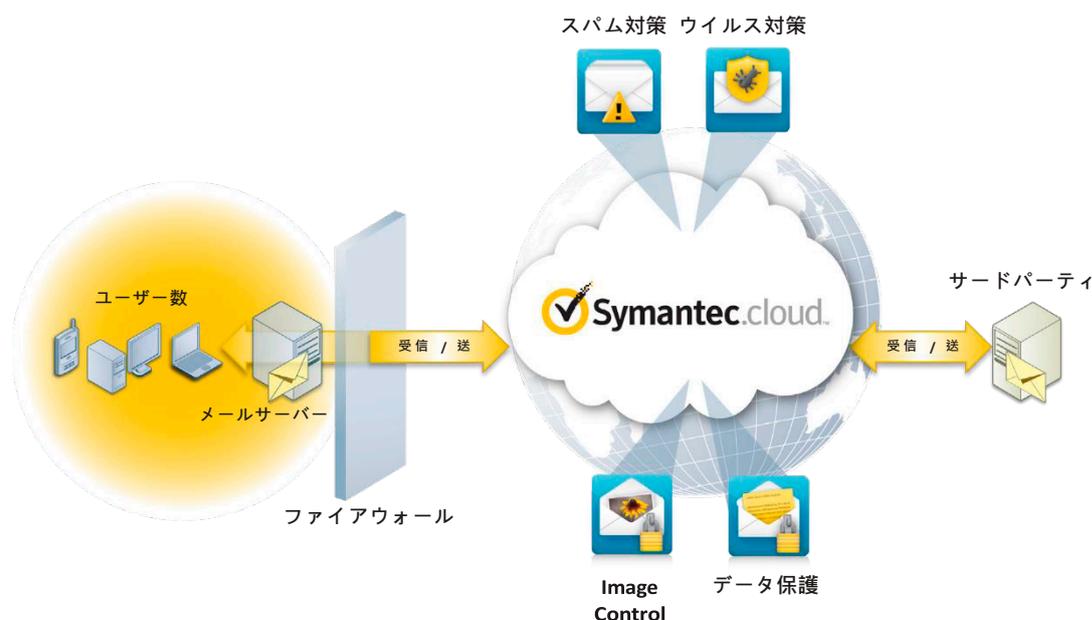
製品・サービス名称	Symantec Email Security.cloud (ESS)
提供企業名	株式会社シマンテック
紹介サイト URL	https://www.symantec.com/ja/jp/products/email-security-cloud

■製品サービスの特長

Symantec™ Email Security.cloud

データシート：メッセージセキュリティ

Symantec™ Email Security.cloud は、不要なメッセージをフィルタリングし、標的型攻撃からユーザーを保護します。自己学習機能とシマンテックインテリジェンスが搭載され、効果の高い、正確な電子メールセキュリティを実現します。機密データの管理に役立つ暗号化機能と情報漏えい防止機能も備えています。Microsoft Office 365、Google Apps、オンプレミスまたはホスト型の Microsoft Exchange、その他のメールボックスサービスをサポートし、送受信メッセージの常時セキュリティを実現します。サービスレベル契約に規定されているとおり、Symantec™ Email Security.cloud は既知および未知の電子メールウイルスから 100%保護し、99%のスパムを捕捉するように設計されています。Email Security.cloud を使用することで、電子メールを媒介としたウイルス、マルウェア、スパム、フィッシング、標的型の攻撃、バルクメールから保護し、複雑な管理を軽減させるのに役立ちます。



Email Security.cloud の機能

クラウド型セキュリティプラットフォーム

- Webベースの管理ポータル/役割ベースのアクセス制御/ダッシュボードの監視カスタマイズ可能なレポート/SLA サポート対象 100% のサービス可用性/標準で TLSを使用した時機を得たメッセージ配信/人、処理、技術をカバーするISO/IEC 27001 認定/ISO27001とSSAE 16 の認定を受けたデータセンター

メールのウイルス対策と、メールのスパム対策

- SMTP トラフィックのヒューリスティックと帯域制限
- マルウェア攻撃、URL 攻撃、スパム攻撃、フィッシング攻撃、標的型攻撃に対する保護をサポートするシマンテックインテリジェンス
- 多層マルウェア分析
- Skeptic ヒューリスティック
- URL リンク追跡
- 非迷惑メール（ニュースレターなど）受信のための迷惑メール制御
- 99% のスパム対策の有効性、SLA サポート対象について 0.0003% の誤検知率
- 検疫管理を行えるようにするため、エンドユーザーへのメール通知

製品・サービス名称	Symantec Email Security.cloud (ESS)		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数 (3万5千社以上) : 利用企業名 (非公開) 大学数 (1千校以上) : 利用大学名 (非公開)		
費用	<ul style="list-style-type: none"> ・初期登録手数料 ・年間利用料 (利用ユーザ数及び利用サービスに応じた課金体系) <ul style="list-style-type: none"> ※トライアル用ライセンス有 ※バンドルライセンス、複数年契約による割引有 		
利用条件	1 ユーザ 1 年以上から利用可能。		
支払方法	年次請求 (複数年契約可)、前払、支払方法 (代理店経由)、円 (支払通過) ※応相談		
販売代理店	無、有 (代理店名 : ソフトバンクコマース&サービス、各販売代理店) ※シマンテックパートナー http://partnerlocator.symantec.com/?country=104&l=ja#		
■契約			
申込み方法	代理店に依る	利用開始までの期間	当日～数週間
約款の有無	有	約款修正の可能性の有無	有
データ保存場所	海外	データ削除規定の有無	無 ()
準拠法	日本国法	管轄裁判所	国内
■信頼性			
SLA	有・無 ()		
実績稼働率	有・無・その他 ()	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24 時間 365 日	QA 対応時間帯	平日 9 : 00-17 : 30 ※代理店による
コンタクト方法	電話・メール・Web	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	適宜	サービス停止の通知	事前通知
ログの開示	有・無 (※条件 ())	第三者認証取得状況	なし
問合せ先	企業名 : 株式会社シマンテック 部署名 : 公共営業本部 担当者 : 村上、三寺、湯浅、山田	電話番号 : 03-5114-4360 FAX 番号 : 03-5114-4030 Web: www.symantec.com/ja/jp/contact-us	

製品・サービス名称	Symantec Validation & ID Protection (VIP)
提供企業名	株式会社シマンテック
紹介サイト URL	https://www.symantec.com/ja/jp/products/validation-id-protection

■製品サービスの特長

多要素認証で不正アクセスから 企業情報を守る「認証強化ソリューション」

事業継続の策定や勤務形態の多様化、そしてスマートフォンなどの新たな情報端末の普及に伴い、時間や場所を選ばない情報アクセスはビジネスを推進する上で重要な要素となっています。一方で、モバイル端末を狙った不正アクセスは巧妙化が進み、その被害は拡大の一途をたどっています。従来のユーザーIDとパスワードの認証による不正アクセス対策は限界に達しており、認証強化策の導入が求められています。

多彩な認証方式をクラウドで提供

Symantec™ Validation & ID Protection (VIP) は、認証強化策として最も有効な多要素認証を提供するクラウドサービスです。シマンテックが提供する高い信頼性を誇るクラウドサービスなので、モバイル端末の安全・安心なアクセスを確保できるだけでなく、多要素認証の導入で課題となるセキュリティ・利便性・コストのバランスも最適化します。

ワンタイムパスワード認証



ID/パスワードに、使い捨てパスワード(ワンタイムパスワード)を追加してセキュリティを強化

モバイルプッシュ認証



スマートデバイスを使ってワンプッシュで本人確認



デバイス認証・リスクベース認証



デバイスのIDやプロフィール、ユーザーの行動を解析して、正規のデバイスによるアクセスであるかを判定

二経路認証
送金署名認証

Symantec™ Validation & ID Protectionの特長

**クラウドサービスなので
低コストの導入と
運用負荷の軽減が可能**

業界トップクラスのセキュリティと高可用性を誇る認証クラウドサービスを活用することで、自社で認証サーバーを保有する必要がなく、運用負荷を軽減しながら最小限の費用で、しかも短期間での導入が可能です。また、無償で提供されるアプリ型トークンも活用できるので、低コストでサービスを利用開始できます。

**利用者の増加や
Webサービスの進化に
柔軟に対応**

日々進化を続けるWebサービスやスマートデバイスへの対応もクラウド側で行うので、自社のインフラ設計などを変更することなくスムーズに対応できます。また、利用者が増加したときはライセンスを追加するだけなので、柔軟性と拡張性を維持しながら安心してご利用いただけます。

**最適な認証方式を提供する
統合認証プラットフォーム**

利用者の使用環境やニーズに合わせて最適な認証方式を活用でき、セキュリティと利便性の両立を実現します。さらに認証方式を組み合わせる場合も同一のクラウドサービスを利用できるので、認証方式ごとにサーバーなどを構築する必要がなく、迅速かつ容易に認証強化が図れます。

※ライセンス価格は、複数の認証方法を利用しても同一です。

製品・サービス名称	Symantec Validation & ID Protection (VIP)		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数 (4千社以上) : 利用企業名 (非公開) 大学数 (非公開) : 利用大学名 (非公開)		
費用	・年間利用料 (利用ユーザ数に応じた課金体系) ※トライアル用ライセンス有 ※別途 Token 等が必要 (ソフトウェア Token は無償提供)		
利用条件	1 ユーザ 1 年以上から利用可能。		
支払方法	年次請求 (複数年契約可)、前払、支払方法 (代理店経由)、円 (支払通過) ※応相談		
販売代理店	無、有 (代理店名 : ソフトバンクコマース&サービス、マクニカネットワークス、各販売代理店) ※シマンテックパートナー http://partnerlocator.symantec.com/?country=104&l=ja#		
■契約			
申込み方法	代理店に依る	利用開始までの期間	当日～数週間
約款の有無	有 (代理店に依る)	約款修正の可能性の有無	有 (代理店に依る)
データ保存場所	国内・海外	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法	管轄裁判所	国内
■信頼性			
SLA	有・無 ()		
実績稼働率	有・無・その他 ()	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24 時間 365 日	QA 対応時間帯	平日 9 : 00-17 : 30 ※代理店による
コンタクト方法	電話・メール・Web	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	適宜	サービス停止の通知	事前通知
ログの開示	有・無 (※条件 ())	第三者認証取得状況	ISO27001
問合せ先	企業名 : 株式会社シマンテック 部署名 : 公共営業本部 担当者 : 村上、三寺、湯浅、山田	電話番号 : 03-5114-4360 FAX 番号 : 03-5114-4030 Web: www.symantec.com/ja/jp/contact-us	

製品・サービス名称	Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2)
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/ec2/

■製品サービスの特長

Amazon EC2 - 仮想サーバーホスティング

Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2)とは、クラウド内でサイズ変更が可能なコンピューティング処理能力を提供するウェブサービスです。ウェブスケールのクラウドコンピューティングを開発者が簡単に利用できるよう設計されています。

Amazon EC2 のシンプルなウェブサービスインターフェイスによって、手間をかけず、必要な機能を取得および設定できます。お客様のコンピュートリソースに対して、高機能なコントロールが提供され、Amazon の実績あるインフラストラクチャ上で実行できます。Amazon EC2 では、わずか数分間で新規サーバーインスタンスを取得して起動できるようになります。これにより、コンピューティング要件の変化に合わせて、すばやく容量をスケールアップおよびスケールダウンできます。実際に使用した分だけ料金を払えばよいので、Amazon EC2 は、コンピューティングの経済性も変革します。Amazon EC2 は、開発者にツールを提供して、障害に耐性のあるアプリケーションの構築と、一般的な障害シナリオからの脱却を可能にします。

弾力性のあるウェブスケールコンピューティング

Amazon EC2 を使用すれば、数分以内にキャパシティの増減を行うことができます。一から数百、または数千のサーバーインスタンスさえ、同時に作動させることができます。もちろん、これはすべてウェブサービス API でコントロールされるため、お客様のアプリケーションはそのニーズに応じて、自動的に規模の拡大や縮小を行うことができます。

完全な制御が可能

インスタンスのすべてを制御することができます。お客様は各インスタンスへの管理者アクセス権限を持ち、他のマシンと同じようにインスタンスを操作することが可能です。インスタンスを停止したり、同一のインスタンスを再起動することができます。リモートでインスタンスをリブートすることができます。インスタンスのコンソール出力にアクセスすることもできます。

柔軟なクラウドホスティングサービス

インスタンスタイプ、オペレーティングシステム、ソフトウェアパッケージの種類を選ぶことができます。Amazon EC2 では、お客様が選択したオペレーティングシステムやアプリケーションに合わせて最適なメモリ、CPU、インスタンスストレージ、ブートパーティションの構成を選ぶこともできます。オペレーティングシステムの選択肢には、数多くの Linux ディストリビューション、および Microsoft Windows Server が含まれています。新しい研究や分析を容易に実施できるよう NVIDIA Tesla V100 GPU を搭載した P3 インスタンス、NVIDIA K80 GPU を搭載した P2 インスタンスを利用することが可能です。

信頼性

Amazon EC2 は、インスタンスの置き換えを速やかに、あらかじめ指定した条件で実行できる、信頼性の高い環境を提供します。このサービスは Amazon の実績あるネットワークインフラストラクチャとデータセンターの中で稼働しています。Amazon EC2 のサービスレベルアグリーメントは、各 Amazon EC2 リージョンにおいて、99.95%の可用性を約束します。

安全性

Amazon EC2 は Amazon VPC と連携して動作し、お客様のコンピュートリソースに対して安全性と堅牢なネットワーキング機能を提供します。コンピュートリソースはお客様が指定した IP アドレス範囲で Virtual Private Cloud (VPC)内に配置されます。インターネットに公開されるインスタンスと、プライベートな状態のままにするインスタンスを決定します。セキュリティグループとネットワーク ACL により、インスタンスを出入りするインバウンドとアウトバウンドのネットワークアクセスを制御できます。業界標準の暗号化 IPsec VPN 接続を使用して、既存の IT インフラストラクチャと VPC のリソースを結びつけることができます。

低料金

Amazon EC2 は、Amazon で実現されているスケールメリットをお客様にもたらしめます。実際に使用するコンピューティング能力に対してのみ、非常に低額な料金をお支払いいただけます。

製品・サービス名称	Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2)		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	190 カ国の 100 万を超えるアクティブなお客様が AWS を利用しており、過去 12 か月の間に 2,300 を超える政府系機関と 7,000 の教育機関、22,000 以上の非営利団体に利用されています。以下のお客様ご利用事例をご覧ください。 https://aws.amazon.com/jp/solutions/case-studies-jp/		
費用	Amazon EC2 インスタンスの支払い方法には、オンデマンド、リザーブドインスタンス、およびスポットインスタンスの 3 つがあります。オンデマンドインスタンスでは、長期間の契約や事前の支払いがなく、時間単位で、計算処理能力に対して料金をお支払いいただきます。リザーブドインスタンスは、オンデマンドインスタンスに比べて料金が大幅に割引となります (最大 75%)。スポットインスタンスは、お客様が、事前契約なく計算能力を購入できるようにするもので、通常はオンデマンド料金よりも低額の時間料金でご利用いただけます。AWS の無料利用枠の一環として、AWS の新規お客様は Amazon EC2 を無料で開始していただけます。サインアップしていただくと、AWS の新規お客様は、以下の EC2 の月間サービスを 1 年間ご利用いただけます。Linux、RHEL または SLES を実行する EC2 の t2.micro インスタンス使用 750 時間。Microsoft Windows Server を実行する EC2 の t2.micro インスタンス使用 750 時間。		
利用条件	規約・法務関係は以下の URL をご参照ください。 https://aws.amazon.com/jp/legal/		
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い		
販売代理店	無、有 (代理店名： https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください)		
■契約			
申込み方法	Web からのサインアップ	利用開始までの期間	15 分程度
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 (お客様が選択)	データ削除規定の有無	有・無・その他 (ホワイトペーパーを開示)
準拠法	日本国法・海外法規 (変更可能)	管轄裁判所	国内・海外 (変更可能)
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容： https://aws.amazon.com/jp/ec2/sla/ をご参照ください。Amazon EC2 のサービスレベルアグリーメントは、各 Amazon EC2 リージョンにおいて、99.95%の可用性を約束します。)		
実績稼働率	有・無・その他 (http://status.aws.amazon.com/)	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 (取得可能)
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。詳細 HP 参照。	QA 対応時間帯	サポートプランにより異なります。詳細 HP 参照。
コンタクト方法	サポートプランにより異なります。詳細 HP 参照。	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無 (※条件)	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO 27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数
問合せ先	企業名：アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名：パブリックセクター 担当者：大冨部・千葉	電話番号：03-6367-4902 FAX 番号： Mail： aws-jp-pubsec-external@amazon.co.jp	

製品・サービス名称	Amazon Simple Storage Service (Amazon S3)
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/s3/

■製品サービスの特長

Amazon S3 (クラウドストレージサービス)

Amazon Simple Storage Service (Amazon S3) では、安全で耐久性がありスケーラビリティに優れたクラウドストレージを開発者や IT チームに提供しています。Amazon S3 は、シンプルなウェブサービスインターフェイスで使いやすいオブジェクトストレージにより、ウェブのどこからでもお好みの量のデータを簡単に保存および取得できます。Amazon S3 では、実際に使用したストレージ分のみお支払いいただけます。最低料金や初期費用はありません。

Amazon S3 は、各ユースケース向けに、頻繁にアクセスするデータの汎用ストレージのための「Amazon S3 標準」、長期間使用するが頻繁にアクセスしないデータのための「Amazon S3 標準 - 低頻度アクセス (標準 - IA)」、長期アーカイブのための「Amazon Glacier」を含む幅広いストレージクラスを提供しています。また、Amazon S3 は、ライフサイクル全体を通してデータを管理するための、設定可能なライフサイクルポリシーも提供しています。

Amazon S3 は、単独で使用することも、Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2)、AWS Identity and Access Management (IAM) などその他の AWS の各種サービスや、データ移行サービスおよびゲートウェイ (最初からのまたは実行中のデータ取り込み用) と組み合わせて使用することもできます。Amazon S3 では、バックアップとリカバリー、ニアラインのアーカイブ、ビッグデータ分析、災害対策、クラウドアプリケーション、およびコンテンツディストリビューションなど、幅広いユースケースに対応するコスト効率に優れたオブジェクトストレージを提供しています。

耐久性

Amazon S3 は重要なデータを保存するための耐久性のあるインフラストラクチャを提供し、オブジェクトの 99.999999999% の耐久性を実現するように設計されています。データは冗長化されて指定リージョン内の複数の施設に保存され、各施設では複数のデバイスに保存されます。

低コスト

Amazon S3 を使用すると、非常に低いコストで大量のデータを保存できます。さらにコストを削減したい場合、ライフサイクル管理を使用して、データを自動的に、標準 - 低頻度アクセス (標準 - IA) および Amazon Glacier へ移行するポリシーを設定できます。お支払いは必要な分だけ。最低料金や前払い料金ははありません。

可用性

Amazon S3 標準は、1 年でオブジェクトの可用性が 99.99% になるように設計されており、必要とされるときに Amazon S3 標準を信頼できることを保証するため、Amazon S3 サービスレベルアグリーメント (SLA) で裏づけされています。

安全性

Amazon S3 は、SSL でのデータ転送と、アップロード後のデータの自動暗号化をサポートします。バケットポリシーを構成してオブジェクトの権限を管理し、AWS Identity and Access Management (IAM) を使用しデータへのアクセスを制御できます。複数の研究機関で相互利用するセキュアなデータ共有プラットフォームとして構築することが可能です。

高性能

Amazon S3 は、ネットワークのスループットと回復性を最大化するのに役立つマルチパートアップロードをサポートし、エンドユーザーに近い AWS リージョンを選択してデータを保存することでネットワークレイテンシーを最小にできます。また、Amazon S3 は、レイテンシーが短く、データ転送速度が速く、最低使用料のないエンドユーザー向けのコンテンツ配信ウェブサービスである Amazon CloudFront と統合されます。

Amazon S3 には、大量のデータ転送を可能にする方法がいくつかあります。最も簡単なのが Amazon S3 Transfer Acceleration です。革新的なソフトウェア、プロトコルの最適化、AWS エッジインフラストラクチャを組み合わせ、既存インフラストラクチャに比べ、データ送信速度を 300% 向上しました。

製品・サービス名称	Amazon Simple Storage Service (Amazon S3)		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	190 カ国の 100 万を超えるアクティブなお客様が AWS を利用しており、過去 12 か月の間に 2,300 を超える政府系機関と 7,000 の教育機関、22,000 以上の非営利団体に利用されています。以下のお客様ご利用事例をご覧ください。 https://aws.amazon.com/jp/solutions/case-studies-jp/		
費用	支払いは実際に使用した分だけです。最低料金はありません。 お支払いいただくのは、実際に使用した分のストレージ料金、リクエスト料金、データ転送料金、Amazon S3 Transfer Acceleration 料金です。 AWS の無料利用枠の一環として、Amazon S3 を無料で開始していただけます。AWS の新規お客様は、サインアップしていただくと、Amazon S3 標準ストレージ 5 GB、20,000 Get リクエスト、2,000 Put リクエスト、データ送信 15 GB を毎月、1 年間ご利用いただけます。		
利用条件	規約・法務関係は以下の URL をご参照ください。 https://aws.amazon.com/jp/legal/		
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い		
販売代理店	無、有（代理店名： https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください）		
■契約			
申込み方法	Web からのサインアップ	利用開始までの期間	15 分程度
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外（お客様が選択）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ホワイトペーパーを開示）
準拠法	日本国法・海外法規（変更可能）	管轄裁判所	国内・海外（変更可能）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容： https://aws.amazon.com/jp/s3/sla/ をご参照ください。）		
実績稼働率	有・無・その他 (http://status.aws.amazon.com/)	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他（バージョンニング）
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。詳細 HP 参照。	QA 対応時間帯	サポートプランにより異なります。詳細 HP 参照。
コンタクト方法	問い合わせ方法はサポートプランにより異なります。詳細 HP 参照。	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無（※条件）	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO 27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数
問合先	企業名：アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名：パブリックセクター 担当者：大富部・千葉	電話番号：03-6367-4902 FAX 番号： Mail： aws-jp-pubsec-external@amazon.co.jp	

製品・サービス名称	Amazon Relational Database Service (Amazon RDS)
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/rds/

■製品サービスの特長

Amazon Relational Database Service (Amazon RDS)

Amazon Relational Database Service (Amazon RDS)を使用すると、クラウドで簡単にリレーショナルデータベースを設定、運用、スケールできます。このサービスは、手間のかかるデータベースの管理タスクをお客様の代わりに行いながら、コスト効率が高く、サイズ変更が可能なキャパシティーを提供します。これによってお客様は自身のアプリケーション開発やビジネスに集中できます。Amazon RDS では、Amazon Aurora、Oracle、Microsoft SQL Server、PostgreSQL、MySQL、MariaDB という 6 つのよく知られたデータベースエンジンからお選びいただけます。

管理が簡単

Amazon RDS は、プロジェクトを計画してから配備を行うまでの手順を簡単にします。AWS マネジメントコンソール、AWS RDS コマンドラインインターフェイス、またはシンプルな API 呼び出しを使用して、実稼働に対応したリレーショナルデータベースの機能に数分でアクセスします。インフラストラクチャをプロビジョニングする必要はなく、データベースソフトウェアのインストールやメンテナンスも不要です。

拡張性

数回のマウスクリックまたは 1 回の API 呼び出しだけで、ダウンタイムなくデータベースのコンピューティング容量とストレージ容量をスケールすることができます。Amazon RDS エンジンタイプの多くは、1 つ以上のリードレプリカを起動でき、プライマリデータベースインスタンスの読み取りトラフィックによる負荷を軽減できます。

可用性と耐久性

Amazon RDS が実行されるインフラストラクチャは、アマゾン ウェブ サービスの他のサービスに使用されるものと同じで、高い信頼性が特長です。Multi-AZ DB インスタンスをプロビジョニングすると、Amazon RDS は異なるアベイラビリティゾーン (AZ) のスタンバイインスタンスにデータを複製します。Amazon RDS は、重要な本稼働用データベースの信頼性を高めるために、自動バックアップ、データベーススナップショット、ホスト自動交換といったその他の特徴を多数備えています。

高速

Amazon RDS では、最大 32vCPU と 244GiB までの範囲でデータベースサーバのサイズを選択でき、ストレージもアプリケーションパフォーマンス要求に応じた広い範囲から選択できます。高性能 OLTP アプリケーション向けに最適化された SSD ストレージや、コスト効果の高い汎用 SSD ストレージが選択可能です。それほど頻繁にアクセスしないデータのワークロード向けには、磁気記録ストレージも選択できます。

安全

Amazon RDS なら、データベースへのネットワークアクセスの制御も簡単です。Amazon RDS では、データベースインスタンスを Amazon Virtual Private Cloud (Amazon VPC) で稼働させることもできます。これによってデータベースインスタンスを独立させ、業界標準の暗号化 IPsec VPN を介して既存の IT インフラストラクチャに接続することが可能になります。Amazon RDS エンジンの中には、保管時の暗号化と転送時の暗号化が準備されています。

低コスト

非常に低額の料金を、実際に利用したリソース分に対してのみお支払いいただけます。加えて、前払いや長期契約がないオンデマンド料金で、さらには当社の予約価格のオプションでより低い時間料金を得ることができます。

製品・サービス名称	Amazon Relational Database Service (Amazon RDS)		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	190 カ国の 100 万を超えるアクティブなお客様が AWS を利用しており、過去 12 か月の間に 2,300 を超える政府系機関と 7,000 の教育機関、22,000 以上の非営利団体に利用されています。以下のお客様ご利用事例をご覧ください。 https://aws.amazon.com/jp/solutions/case-studies-jp/		
費用	支払いは実際に使用した分だけです。最低料金はありません。 お支払いいただくのは、実際に使用した分のオンデマンドのインスタンス料金またはリザーブドインスタンスの料金、データベースストレージおよび IO の料金、バックアップストレージの料金、データ転送の料金です。 AWS 無料利用枠には、Amazon Relational Database Service (RDS) について、1 年間毎月 750 時間の Micro DB Instance、20 GB のストレージ、バックアップ用に 20 GB のストレージが含まれます。		
利用条件	規約・法務関係は以下の URL をご参照ください。 https://aws.amazon.com/jp/legal/		
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い		
販売代理店	無、有（代理店名： https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください）		
■契約			
申込み方法	Web からのサインアップ	利用開始までの期間	15 分程度
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外（お客様が選択）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ホワイトペーパーを開示）
準拠法	日本国法・海外法規（ 変更可能 ）	管轄裁判所	国内・海外（ 変更可能 ）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容： https://aws.amazon.com/jp/rds/sla/ をご参照ください。）		
実績稼働率	有・無・その他 (http://status.aws.amazon.com/)	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	問い合わせ対応時間はサポートプランにより異なります。詳細 HP 参照。	QA 対応時間帯	問い合わせ対応時間はサポートプランにより異なります。詳細 HP 参照。
コンタクト方法	問い合わせ方法はサポートプランにより異なります。詳細 HP 参照。	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無（※条件）	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO 27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数
問合せ先	企業名：アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名：パブリックセクター 担当者：大冨部・千葉	電話番号：03-6367-4902 FAX 番号： Mail： aws-jp-pubsec-external@amazon.co.jp	

製品・サービス名称	Amazon Redshift
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/redshift/

■製品サービスの特長

Amazon Redshift

Amazon Redshift は高速で完全マネージド型、ペタバイト規模のデータウェアハウスです。お客様は、シンプルかつ費用対効果の高い方法で、すべてのデータを既存のビジネスインテリジェンスツールで分析できます。1時間あたりわずか **0.25 USD** で、コミットメントなしの小規模から始めて、年間 1 テラバイトあたり **1,000USD** にスケールできます。費用は従来のソリューションの 10 分の 1 です。通常、3 倍の圧縮によって、非圧縮のテラバイトあたり年間 **333 USD** までコストを削減できます。

Amazon Redshift では、クエリパフォーマンスを高速化するために列指向ストレージ技術が採用されており、複数のノードにまたがるクエリの I/O 効率と並列度が向上しています。Amazon Redshift にはカスタムの JDBC および ODBC ドライバが用意されているため、既存のさまざまな SQL クライアントをそのまま使用できます。標準的な PostgreSQL JDBC および ODBC ドライバを使用することも可能です。データロードの速度はクラスターのサイズに応じて拡大し、Amazon S3、Amazon DynamoDB、Amazon Elastic MapReduce、Amazon Kinesis や、任意の SSH 対応ホストとの統合が可能です。

Amazon Redshift のデータウェアハウスのアーキテクチャーにより、クラウドデータウェアハウスのプロビジョニング、コンフィギュレーション、モニタリングに関わる共通の管理タスクの多くを自動化することが可能です。Amazon S3 へのバックアップは継続的であり、増分だけが自動的にバックアップされます。復元も高速で、数分後にはクエリを開始できるようになり、これと並行してデータを戻す処理がバックグラウンドで実行されます。複数リージョンにまたがる災害復旧を可能にする設定も、数クリックで完了です。

Amazon Redshift にはさまざまな革新的技術が使用されており、データセットのサイズが 100 ギガバイト程度か 1 ペタバイトを超えるかにかかわらず、きわめて高いクエリパフォーマンスを実現しています。列指向ストレージ、データ圧縮、ゾーンのマッピングが使用されているため、クエリ実行に必要な I/O の量が削減されます。Amazon Redshift には超並列処理 (MPP) アーキテクチャーが採用されており、SQL 操作の並列化と分散化によって、すべてのリソースがフルに活用されます。ハードウェアはデータ処理のパフォーマンスを高める設計となっており、ローカル接続ストレージを使用して CPU とドライブの間のスループットを最大化するとともに、10 ギガビットイーサメッシュネットワークを使用してノード間のスループットを最大化します。パフォーマンスや容量のニーズが変化したときも、AWS マネジメントコンソールで数回クリックするか単純な API 呼び出しを 1 回実行するだけで、データウェアハウスのノードの数やタイプを簡単に変更できます。Dense Storage (DS) ノードでは、ハードディスクドライブ (HDD) が使用されており、きわめて大規模なデータウェアハウスを低コストで作成できます。Dense Compute (DC) ノードでは、きわめて高パフォーマンスのデータウェアハウスを作成できるように、高速 CPU、大容量 RAM、および SSD (Solid-State Disk) が使用されます。Amazon Redshift ならば、最初は 160GB の DC1.Large ノード 1 つだけを使用して、ここから圧縮済みユーザーデータが 1 ペタバイトを超える規模まで 16TB DS2.8XLarge ノードを使用して拡張することも可能です。

セキュリティは初めから組み込まれています。保管中や移動中のデータを、ハードウェアアクセラレーション対応の AES-256 および SSL を使用して暗号化できます。Amazon VPC を使用してクラスターを隔離することや、キーの管理に AWS Key Management Service (KMS) およびハードウェアセキュリティモジュール (HSM) を使用することもできます。クラスターに対する API 呼び出し、接続試行、クエリ、変更はすべてログに記録され、監査可能です。AWS CloudTrail を使用して Redshift の API 呼び出しを監査できます。Amazon Redshift はプライベート接続で EC2 等のサービスと連携することが可能です。

製品・サービス名称	Amazon Redshift		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	190 カ国の 100 万を超えるアクティブなお客様が AWS を利用しており、過去 12 か月の間に 2,300 を超える政府系機関と 7,000 の教育機関、22,000 以上の非営利団体に利用されています。以下のお客様ご利用事例をご覧ください。 https://aws.amazon.com/jp/solutions/case-studies-jp/		
費用	Amazon Redshift のオンデマンド料金では前払い費用は発生しません。お客様には、クラスターのノードのタイプと数に基づいて 1 時間あたりの料金をお支払いいただくだけです。1 年または 3 年の契約を結んで Amazon Redshift を使用すると、オンデマンド料金に比べて最大 75% を節約できます。価格は、圧縮データに基づいており、通常は 3 倍の圧縮が可能です。価格には、データの 2 つの追加コピーが含まれています。1 つはクラスターノードへのコピー、もう 1 つは Amazon S3 へのコピーです。バックアップ、耐久性、可用性、セキュリティ、モニタリング、メンテナンスは AWS が実施します。		
利用条件	規約・法務関係は以下の URL をご参照ください。 https://aws.amazon.com/jp/legal/		
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い		
販売代理店	無、有（代理店名： https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください）		
■契約			
申込み方法	Web からのサインアップ	利用開始までの期間	15 分程度
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外（お客様が選択）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ホワイトペーパーを開示）
準拠法	日本国法・海外法規（変更可能）	管轄裁判所	国内・海外（変更可能）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：）		
実績稼働率	有・無・その他 (http://status.aws.amazon.com/)	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。詳細 HP 参照。	QA 対応時間帯	サポートプランにより異なります。詳細 HP 参照。
コンタクト方法	サポートプランにより異なります。詳細 HP 参照。	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無（※条件）	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO 27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数
問合先	企業名：アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名：パブリックセクター 担当者：大富部・千葉	電話番号：03-6367-4902 FAX 番号： Mail： aws-jp-pubsec-external@amazon.co.jp	

製品・サービス名称	Amazon EMR
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/emr/

■製品サービスの特長

Amazon EMR は、大量のデータを迅速、容易に、かつコスト効果よく処理するためのウェブサービスです。Amazon EMR は、ビッグデータ処理を簡略化し、動的にスケーラブルな Amazon EC2 インスタンス間の莫大な量のデータを処理し、配信するための、簡単、迅速、費用対効果が高い、マネージド型 Hadoop フレームワークを提供します。また、Apache Spark や Presto などの一般的な他のフレームワークを Amazon EMR で実行することや、Amazon S3 や Amazon DynamoDB などの他の AWS データストア内でデータを操作することができます。Amazon EMR は、ログの分析、ウェブインデックス、データウェアハウジング、機械学習、財務分析、科学シミュレーション、生物情報科学研究を含む、お客様のビッグデータを確実かつ安全に処理します。

Amazon EMR のバージョンングリリースにより、EMR cluster で Apache Hadoop および Spark エコシステムのアプリケーションを含む最新のオープンソースプロジェクトを簡単に選択して使用できます。ソフトウェアは Amazon EMR によってインストールおよび設定されるので、管理タスクに費やす時間を短縮してデータの値を増やすことに集中できます。

使いやすい

Amazon EMR クラスタは数分で起動できます。ノードのプロビジョニング、クラスタのセットアップ、Hadoop の設定、クラスタのチューニングなど、わずらわしい作業は不要です。Amazon EMR がこのような作業を行いますので、お客様は分析に専念できます。

低コスト

Amazon EMR の料金体系は予想がしやすくシンプル: 使用するインスタンスの時間ごとに 1 時間単位で料金を支払います。10 ノードの Hadoop クラスタの運用をわずか 0.15 USD/時間で開始できます。Amazon EMR は Amazon EC2 のスポットインスタンスとリザーブドインスタンスをネイティブサポートしているため、基盤となるインスタンスのコストを 50~80%節約することもできます。

伸縮自在性

Amazon EMR は、コンピューティングインスタンスを 1 つでも数百、数千でもプロビジョニングできるため、あらゆる規模のデータ処理に対応します。インスタンス数は簡単に増減でき、お支払いは使った分のみの従量料金制です。

信頼性

クラスタの調整やモニタリングにかかる労力も削減できます。Amazon EMR にはクラウド用の調整された Hadoop があり、クラスタをモニタリングして失敗したタスクを再実行し、自動的にパフォーマンスの低いインスタンスを置き換えます。

安全性

Amazon EMR は Amazon EC2 インスタンスへのネットワークアクセスを制御するファイアウォールの各種設定を自動的に構成します。また、お客様が定義する論理的に隔離されたネットワークである Amazon Virtual Private Cloud(VPC)内にクラスタを起動することもできます。EMRFS を使った Amazon S3 のサーバー側暗号化とクライアント側暗号化、クラスタの HDFS とローカルディスクの暗号化、さまざまなアプリケーションで移動中の暗号化を実行するオープンソースの機能といった Amazon EMR のセキュリティ設定を使用すると、保管中および移動中のデータの暗号化を簡単に有効にできます。

柔軟性

お客様がクラスタのすべてを制御することができます。お客様は各インスタンスへのルートアクセス権限を持ち、簡単にその他のアプリケーションを追加し、クラスタごとに設定をカスタマイズできます。また Amazon EMR は、複数の Hadoop ディストリビューションとアプリケーションをサポートしています。

製品・サービス名称	Amazon EMR		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・ IaaS ・ PaaS ・ SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	190 カ国の 100 万を超えるアクティブなお客様が AWS を利用しており、過去 12 か月の間に 2,300 を超える政府系機関と 7,000 の教育機関、22,000 以上の非営利団体に利用されています。以下のお客様ご利用事例をご覧ください。 https://aws.amazon.com/jp/solutions/case-studies-jp/		
費用	Amazon EMR の料金は予測がしやすくシンプル: 使用するインスタンスの時間ごとに 1 時間単位で料金を支払います (例えば、10 ノードのクラスターを 10 時間稼働した場合と、100 ノードのクラスターを 1 時間稼働した場合の料金は同じです)。時間単価は、使用するインスタンスタイプ (スタンダード、高 CPU、ハイメモリ、ハイストレージなど) に応じて異なります。時間単価は 0.011 USD/時間から 0.27 USD/時間 (94 USD/年から 2367 USD/年) です。Amazon EMR の料金は Amazon EC2 の料金 (基本的なサーバーの料金) に追加されます。Amazon EC2 にはさまざまな料金オプションが用意されています。例えば、オンデマンド、1 年間および 3 年間のリザーブドインスタンス、スポットインスタンスです。		
利用条件	規約・法務関係は以下の URL をご参照ください。 https://aws.amazon.com/jp/legal/		
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い		
販売代理店	無、有 (代理店名: https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください)		
■契約			
申込み方法	Web からのサインアップ	利用開始までの期間	15 分程度
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 (お客様が選択)	データ削除規定の有無	有・無・その他 (ホワイトペーパーを開示)
準拠法	日本国法・海外法規 (変更可能)	管轄裁判所	国内・海外 (変更可能)
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容:)		
実績稼働率	有・無・その他 (http://status.aws.amazon.com/)	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。詳細 HP 参照。	QA 対応時間帯	サポートプランにより異なります。詳細 HP 参照。
コンタクト方法	サポートプランにより異なります。詳細 HP 参照。	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無 (※条件)	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO 27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数
問合先	企業名: アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名: パブリックセクター 担当者: 大富部・千葉	電話番号: 03-6367-4902 FAX 番号: Mail: aws-jp-pubsec-external@amazon.co.jp	

製品・サービス名称	Amazon Machine Learning
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/machine-learning/

■製品サービスの特長

Amazon Machine Learning は、どのスキルレベルの開発者でも、機械学習テクノロジーを簡単に使用できるようになるサービスです。Amazon Machine Learning では、複雑な機械学習 (ML) アルゴリズムおよびテクノロジーを学習する必要なく、ML モデルの作成プロセスを説明する仮想化ツールおよびウィザードを提供します。モデルの準備が整ったら、Amazon Machine Learning により、カスタムの予測生成コードを実装したり、インフラストラクチャを管理する必要なく、単純な API を使用してアプリケーションの予測を簡単に取得したりできるようになります。

Amazon Machine Learning は、Amazon 社内のデータサイエンティストコミュニティで数年間使用されてきたものと同じ実証済みの高度にスケーラブルな ML テクノロジーに基づいています。このサービスでは、強力なアルゴリズムを使用して、既存のデータのパターンを検索することで ML モデルを作成します。その後、Amazon Machine Learning ではこれらのモデルを使用して新しいデータを処理し、アプリケーションの予測を生成します。

Amazon Machine Learning は高度にスケーラブルで、毎日数十億件の予測を生成し、それらの予測を高いスループットでリアルタイムに処理することができます。Amazon Machine Learning では、ハードウェアまたはソフトウェアへの先行投資はなく、従量制の料金体系であるため、小規模で開始して、アプリケーションの拡大に合わせてスケーリングできます。

機械学習モデルを容易に作成

Amazon Machine Learning API およびウィザードにより、すべての開発者にとって、Amazon Simple Storage Service (Amazon S3)、Amazon Redshift、または Amazon Relational Database Service (Amazon RDS) の MySQL データベースに保存されているデータから ML モデルを作成して細かく調整し、予測のためにこれらのモデルのクエリを行うことが容易になります。サービスの組み込みのデータプロセッサ、スケーラブルな ML アルゴリズム、インタラクティブデータおよびモデル可視化ツール、および品質に関するアラートにより、モデルを迅速に構築および調整することができます。

数秒でモデルから予測を実行

Amazon Machine Learning は、エンドツーエンドのモデル作成、デプロイメント、およびモニタリングを提供するマネージドサービスです。モデルの準備が整ったら、アプリケーションに対する予測を迅速かつ確実に生成できるため、機械学習インフラストラクチャを構築、スケール、管理するために必要な時間と投資が必要なくなります。

スケーラブルで高パフォーマンスな予測生成サービス

Amazon Machine Learning 予測 API を使用すると、アプリケーションに対する数十億件の予測を生成することができます。バッチ予測 API を使用すると、多数のデータレコードに対する予測をすべて 1 度にリクエストできます。または、リアルタイム API を使用すると、個別のデータレコードの予測を取得して、インタラクティブウェブ、モバイル、またはデスクトップアプリケーションでその予測を使用できます。

低コストで効率的

Amazon Machine Learning では、初期費用がかからず、従量制の料金体系であるため、小規模で開始して、アプリケーションの拡大に合わせてスケールすることができます。

実証済みのテクノロジーを活用

Amazon Machine Learning は、Amazon がサプライチェーン管理、不正取引の特定、カタログの編成などの重要な機能の実行に使用してきたものと同じ、実証済みの高度にスケーラブルな ML テクノロジーに基づいています。

製品・サービス名称	Amazon Machine Learning		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	190 カ国の 100 万を超えるアクティブなお客様が AWS を利用しており、過去 12 か月の間に 2,300 を超える政府系機関と 7,000 の教育機関、22,000 以上の非営利団体に利用されています。以下のお客様ご利用事例をご覧ください。 https://aws.amazon.com/jp/solutions/case-studies-jp/		
費用	Amazon Machine Learning では、使用した分に応じてお支払いください。最低料金や前払いの義務は発生しません。Amazon Machine Learning では、予測モデルの構築に使用したコンピューティング時間の時間料金で課金され、その後、アプリケーションで生成した予測の件数に対する料金を支払います。また、リアルタイム予測では、モデルに必要なメモリ量に基づくリザーブドキャパシティー料金の時間料金を支払います。		
利用条件	規約・法務関係は以下の URL をご参照ください。 https://aws.amazon.com/jp/legal/		
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い		
販売代理店	無、有（代理店名： https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください）		
■契約			
申込み方法	Web からのサインアップ	利用開始までの期間	15 分程度
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外（お客様が選択）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ホワイトペーパーを開示）
準拠法	日本国法・海外法規（変更可能）	管轄裁判所	国内・海外（変更可能）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：）		
実績稼働率	有・無・その他 (http://status.aws.amazon.com/)	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	問い合わせ対応時間はサポートプランにより異なります。詳細 HP 参照。	QA 対応時間帯	問い合わせ対応時間はサポートプランにより異なります。詳細 HP 参照。
コンタクト方法	問い合わせ方法はサポートプランにより異なります。詳細 HP 参照。	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無（※条件）	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数
問合せ先	企業名：アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名：パブリックセクター 担当者：大冨部・千葉	電話番号：03-6367-4902 FAX 番号： Mail： aws-jp-pubsec-external@amazon.co.jp	

製品・サービス名称	Amazon Elasticsearch Service
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/elasticsearch-service/

■製品サービスの特長

Amazon Elasticsearch Service は、AWS クラウドで Elasticsearch を簡単にデプロイ、操作、スケーリングできるようにするマネージドサービスです。Elasticsearch はログ分析、リアルタイムのアプリケーションモニタリング、クリックストリーム分析などのユースケース向けの、人気の高いオープンソースの検索および分析エンジンです。Amazon Elasticsearch クラスタは AWS マネジメントコンソールから数分でセットアップし、設定できます。Amazon Elasticsearch Service によってクラスタのすべてのリソースがプロビジョニングされ、起動されます。障害が発生した Elasticsearch ノードが自動的に検出および交換されるため、自己管理型のインフラストラクチャおよび Elasticsearch ソフトウェアに関連するオーバーヘッドを削減できます。Amazon Elasticsearch Service を使用して単一の API 呼び出しで、または AWS マネジメントコンソールで数回クリックして簡単にクラスタをスケールできます。Amazon Elasticsearch Service では、Elasticsearch のオープンソース API に直接アクセスできます。そのため、既存の Elasticsearch 環境で使用しているコードとアプリケーションがシームレスに機能します。

シンプルなデプロイ

Amazon Elasticsearch Service を使用して、AWS クラウドに Elasticsearch を簡単にデプロイできます。AWS マネジメントコンソールまたは簡単な API 呼び出しを使用して、すぐに運用準備が整った Amazon Elasticsearch クラスタにアクセスできます。インフラストラクチャのプロビジョニング、および Elasticsearch ソフトウェアのインストールや管理について心配する必要はありません。

管理が簡単

Amazon Elasticsearch Service によって高い可用性の確保、パッチ管理、障害検出、ノードの交換、バックアップ、モニタリングなどの時間がかかる管理タスクを簡素化でき、より価値の高いアプリケーション開発に集中できます。

スケーラブル

Amazon Elasticsearch Service では、Amazon CloudWatch メトリックスによってクラスタをモニタリングし、単一の API 呼び出しまたは AWS マネジメントコンソールでのクリック数回でクラスタを拡大または縮小できます。

Logstash および Kibana との統合

Logstash はログなどのイベントデータを処理し、Elasticsearch にロードできるようにするオープンソースのデータパイプラインです。Kibana は Elasticsearch のデータをより理解しやすくする、オープンソースの分析および視覚化プラットフォームです。Amazon Elasticsearch Service には Kibana が標準で組み込まれており、Logstash との統合をサポートしています。

高い費用対効果

Amazon Elasticsearch Service によって、Elasticsearch を設定および管理するための費用を削減できます。データと使用パターンの変化に合わせて最適なパフォーマンスが得られるようにクラスタをスケールアップまたはダウンできるため、発生する費用は実際に使用したリソースの分のみです。オンデマンド料金では時間単位でリソースの料金が発生するため、長期契約は必要ありません。また、ハードウェアのプランニング、購入、維持に伴うコストや手間から解放されます。

安全性

AWS Identity and Access Management (IAM) のポリシーを使用して Elasticsearch API へのアクセスを制限できます。IAM のポリシーによって、アプリケーションは Amazon Elasticsearch クラスタに安全にアクセスできます。

製品・サービス名称	Amazon Elasticsearch Service		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	190 カ国の 100 万を超えるアクティブなお客様が AWS を利用しており、過去 12 か月の間に 2,300 を超える政府系機関と 7,000 の教育機関、22,000 以上の非営利団体に利用されています。以下のお客様ご利用事例をご覧ください。 https://aws.amazon.com/jp/solutions/case-studies-jp/		
費用	Amazon Elasticsearch Service は、実際に使用した分に対してのみ料金が発生します。最低料金や前払いの義務はありません。Amazon Elasticsearch インスタンス時間、Amazon EBS ストレージ (オプションを選択している場合)、通常のデータ転送に対して料金が発生します。単一アベイラビリティゾーン内の t2.micro.elasticsearch インスタンス最大 750 時間/月、およびオプションの Amazon EBS ストレージ (マグネティックまたは汎用) 10 GB/月が含まれる無料利用枠でご使用を開始いただけます。		
利用条件	規約・法務関係は以下の URL をご参照ください。 https://aws.amazon.com/jp/legal/		
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い		
販売代理店	無、有 (代理店名: https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください)		
■契約			
申込み方法	Web からのサインアップ	利用開始までの期間	15 分程度
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 (お客様が選択)	データ削除規定の有無	有・無・その他 (ホワイトペーパーを開示)
準拠法	日本国法・海外法規 (変更可能)	管轄裁判所	国内・海外 (変更可能)
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容:)		
実績稼働率	有・無・その他 (http://status.aws.amazon.com/)	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	問い合わせ対応時間はサポートプランにより異なります。詳細 HP 参照。	QA 対応時間帯	問い合わせ対応時間はサポートプランにより異なります。詳細 HP 参照。
コンタクト方法	問い合わせ方法はサポートプランにより異なります。詳細 HP 参照。	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無 (※条件)	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO 27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数
問合先	企業名: アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名: パブリックセクター 担当者: 大冨部・千葉	電話番号: 03-6367-4902 FAX 番号: Mail: aws-jp-pubsec-external@amazon.co.jp	

製品・サービス名称	Amazon WorkSpaces
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/workspaces/

■製品サービスの特長

Amazon WorkSpaces はクラウドで動作する、マネージド型仮想デスクトップコンピューティングサービスです。Amazon WorkSpaces を使用することで、クラウドベースのデスクトップを簡単にプロビジョニングでき、ユーザーは Windows や Mac のコンピュータ、Chromebook、iPad、Kindle Fire タブレット、および Android タブレットといったサポート対象デバイスから、必要なドキュメント、アプリケーション、およびリソースにアクセスできるようになります。AWS マネジメントコンソールを数回クリックするだけで、高品質なクラウドデスクトップエクスペリエンスを、ユーザー数を問わず、従来のデスクトップにも劣らないコスト効率と、一般的な仮想デスクトップインフラストラクチャ (VDI) ソリューションの半分の費用でデプロイできます。

使用しやすい

Amazon WorkSpaces を導入すると、デスクトップコンピューティングインフラストラクチャの管理を省力化できます。先行投資が不要になり、大きくかさばる物理デスクトップ環境や複雑な仮想デスクトップインフラストラクチャ (VDI) ソリューションの保守、更新、管理といった煩わしい作業から解放されるからです。

データを安全に保つ

Amazon WorkSpaces では、各ユーザーが AWS クラウドの永続的ストレージを利用できます。ユーザーが Amazon WorkSpaces を使用してデスクトップにアクセスすると、リモートディスプレイプロトコルによってデータの圧縮、暗号化、およびエンコードが行われ、画像のみが伝送されます。また、Amazon WorkSpaces では、AWS Key Management Service (KMS) との統合によって WorkSpaces ストレージボリュームの暗号化機能が実現しています。

アプリケーションのデプロイと管理

Amazon WorkSpaces Application Manager (Amazon WAM) を使うと、組織で使用する Amazon WorkSpaces 向けデスクトップアプリケーションを迅速、柔軟、かつ安全にパッケージ化、デプロイ、アップデートできます。

選べるハードウェア・ソフトウェア構成

Amazon WorkSpaces では、CPU 性能、メモリ容量、ストレージ容量のさまざまな組み合わせをご用意しており、お客様のご要望に合わせてお選びいただけます。Amazon WorkSpaces は Windows 7 にすでにインストールされているか、あるいは Windows 7 か Windows 10 のデスクトップオペレーティングシステムで起動できます (要件を参照)。加えて Amazon WorkSpaces では、一連の基本的なアプリケーションが無料で提供され、Microsoft Office を月額で追加することも選択できます。

多様なデバイスに対応

Amazon WorkSpaces はクラウドに存在するため、ユーザーは Windows や Mac のコンピュータ、Chromebook、iPad、Fire タブレット、および Android タブレットなど、どのサポート対象デバイスからでもデスクトップにアクセスできます。

社内ディレクトリとの統合

Amazon WorkSpaces は、お客様企業の Active Directory とセキュアに統合し、ユーザーが既存の認証情報を使って社内リソースへシームレスにアクセスできるようにします。これにより、お客様が WorkSpaces を現在お使いのシステム管理ツールで管理することも可能になります。

製品・サービス名称	Amazon WorkSpaces		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	190カ国の100万を超えるアクティブなお客様がAWSを利用しており、過去12か月の間に2,300を超える政府系機関と7,000の教育機関、22,000以上の非営利団体に利用されています。以下のお客様ご利用事例をご覧ください。 https://aws.amazon.com/jp/solutions/case-studies-jp/		
費用	Amazon WorkSpaces の場合、お支払いいただくのは実際に使用した分の料金のみです。バンドルタイプとAmazon WorkSpaces の起動数に基づいて課金されます。前払い手数料は不要で、起動した WorkSpaces はいいつでも削除できます。Amazon WorkSpaces の柔軟なお支払い方法には、月額料金または時間料金があります。月額料金では、月々決まった金額をお支払いいただくと、その月はサービスを無制限に使用できます。Amazon WorkSpaces を常時利用する方や主に使うデスクトップに最適です。時間料金では、月額固定料金はWorkSpaces のインフラストラクチャコストやストレージコストのみで少額に抑えられます。その月額料金の他、その月に WorkSpaces を使った時間に応じて時間単価で課金されます。時間料金では、通常仕事で常時 Amazon WorkSpaces を使わない場合や、月に数日使う場合に適しており、パートタイムの作業やジョブシェアリング、移動の多い方、短期間のプロジェクト、企業トレーニング、教育などに理想的です。		
利用条件	規約・法務関係は以下の URL をご参照ください。 https://aws.amazon.com/jp/legal/		
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い		
販売代理店	無、有 (代理店名: https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください)		
■契約			
申込み方法	Web からのサインアップ	利用開始までの期間	15分程度
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 (お客様が選択)	データ削除規定の有無	有・無・その他 (ホワイトペーパーを開示)
準拠法	日本国法・海外法規 (変更可能)	管轄裁判所	国内・海外 (変更可能)
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容:)		
実績稼働率	有・無・その他 (http://status.aws.amazon.com/)	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。詳細 HP 参照。	QA 対応時間帯	サポートプランにより異なります。詳細 HP 参照。
コンタクト方法	サポートプランにより異なります。詳細 HP 参照。	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無 (※条件)	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数
問合せ先	企業名: アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名: パブリックセクター 担当者: 大富部・千葉	電話番号: 03-6367-4902 FAX 番号: Mail: aws-jp-pubsec-external@amazon.co.jp	

製品・サービス名称	多要素認証・シングルサインオン製品 「WisePoint Shibboleth on CLOUD」
提供企業名	ファルコンシステムコンサルティング株式会社
紹介サイト URL	http://wisepoint.jp/wpshibb/index.html

■製品サービスの特長

“WisePoint Shibboleth on CLOUD” は学内外の Web システム、クラウドサービス、ネットワークにアクセスする際のセキュリティ強化と利用者の利便性を兼ね備えた、多要素認証&シングルサインオン統合製品です。

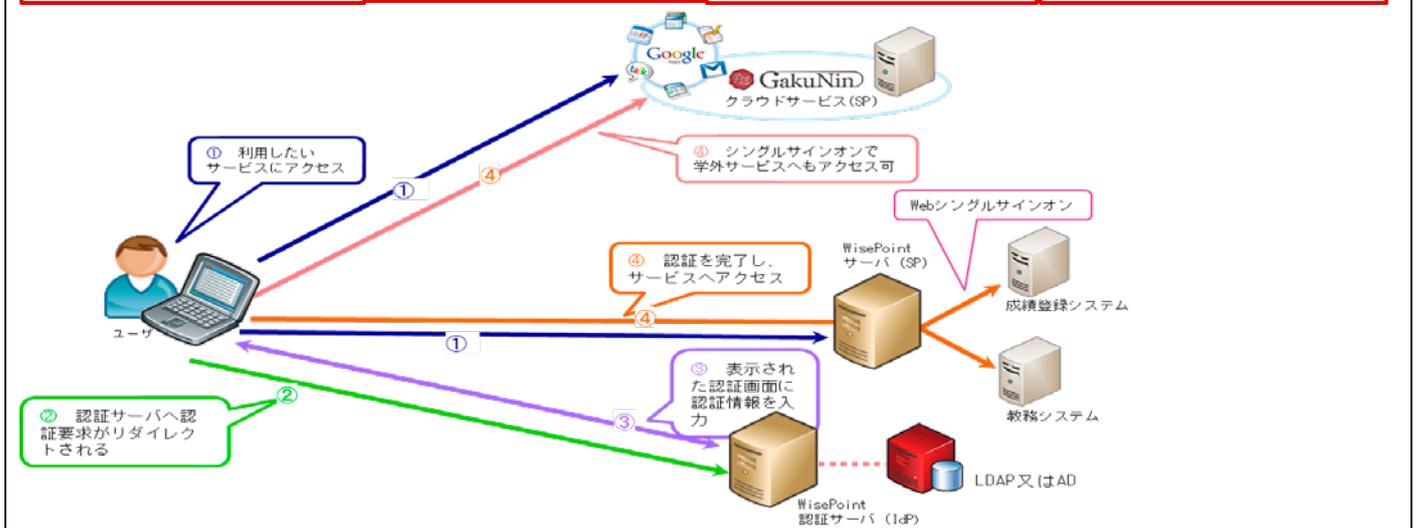
学内の認証基盤を利用して SAML2.0 対応のクラウドサービスや学内の Web システムへ一度の認証でアクセスすることができ、認証方式も学内からは固定 ID、PW、学外からのアクセスは多要素認証を利用するなど、IP アドレスでの制御や、SP 単位での制御が可能です。Shibboleth IdP 最新バージョン 3.3.1 にも対応しております。

【製品機能】

- ・学認対応
- ・IdP 機能 (Shibboleth IdP v3.3.1 対応)
- ・SP 機能 (リバースプロキシ機能)
- ・ワンタイムパスワード認証機能 (イメージングマトリクス、マトリクスコード、J パスワード、ソフトウェアトークン)
- ・SAML2.0 対応のシングルサインオン
- ・リバースプロキシ対応のシングルサインオン
- ・SP 単位でのアクセスコントロール機能
- ・LDAP、ActiveDirectory 連携
- ・ポータル機能
- ・管理者機能 (WebGUI)
- ・PC、スマートデバイス対応
- ・各種ブラウザ対応 (IE、Safari、Chrome)

【認証方式と認証フロー】

<p>イメージングマトリクス</p> <p>・画像をパスワードに</p> 	<p>マトリクスコード認証</p> <p>・乱数表を用いた認証</p> 	<p>Jパスワード認証</p> <p>・本人しか知らない情報をチャレンジ & レスポンス方式で認証</p> <p>Q:あなたの初恋は? A:幼稚園の先生</p>	<p>ソフトウェアトークン</p> <p>・スマートフォンなどにワンタイムパスワードを発行</p> 
---	--	---	--



製品・サービス名称	多要素認証・シングルサインオン製品 「WisePoint Shibboleth on CLOUD」		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS (IDaaS)	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他 (セキュリティ)
■一般事項			
契約実績	法人数 (3 4 0) 社 : 利用企業名 (全日空、近畿日本鉄道、東急電鉄、ファーストリテイリング、YKK-AP) 大学数 (3 6) 校 : 利用大学名 (九州大学、東北大学、鳥取大学、愛知教育大学、桃山学院大学、広島修道大学)		
費用	・評価版ライセンスを無償にて提供 ・ライセンス費用は登録ユーザー数分を初回買取り。毎年サポート費用 (20%)。設計、構築費用		
利用条件	・ライセンスは登録ユーザー数に応じたボリュームディスカウント (初回買取) ・保守 (初年度から発生)		
支払方法	導入前ご購入、支払方法 (振込)		
販売代理店	有 (代理店名 : 富士通、日立システムズ、ネットワークシステムズ、CTC、ユニアデックス)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 (ライセンス申請書)	利用開始までの期間	
約款の有無	有・無・その他 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有 (クラウド事業者規定)
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容 :)		
実績稼働率	有・無・その他 ()	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	平日 (9 : 30 - 17 : 00)	QA 対応時間帯	平日 9 : 30 - 18 : 00
コンタクト方法	メール	対応インシデント数	
計画停止の頻度	無	サービス停止の通知	
ログの開示	有・無 (※条件)	第三者認証取得状況	
問合せ先	企業名 : ファルコンシステムコンサルティング株式会社 部署名 : 営業本部 担当者 : 山下克美	電話番号 : 044-814-2512 FAX 番号 : 044-814-2514 Mail : sales@falcons.com	

5. その他

製品・サービス名称	Microsoft Office 学割特別プラン U365
提供企業名	株式会社 内田洋行
紹介サイト URL	http://www.uchida.co.jp/education/office/

■製品サービスの特長

新しい学生サービスとして Microsoft Office 学生向け特別プラン



■ Microsoft Office 学生向け特別プラン U365 の概要

授業やゼミでのレポート作成、就職活動、資格試験対策、サークル活動まで、さまざまなシーンで Microsoft Office は学生にとって必須のソフトウェアですが、特別プライスで購入できる学割特別プランをご用意しました。

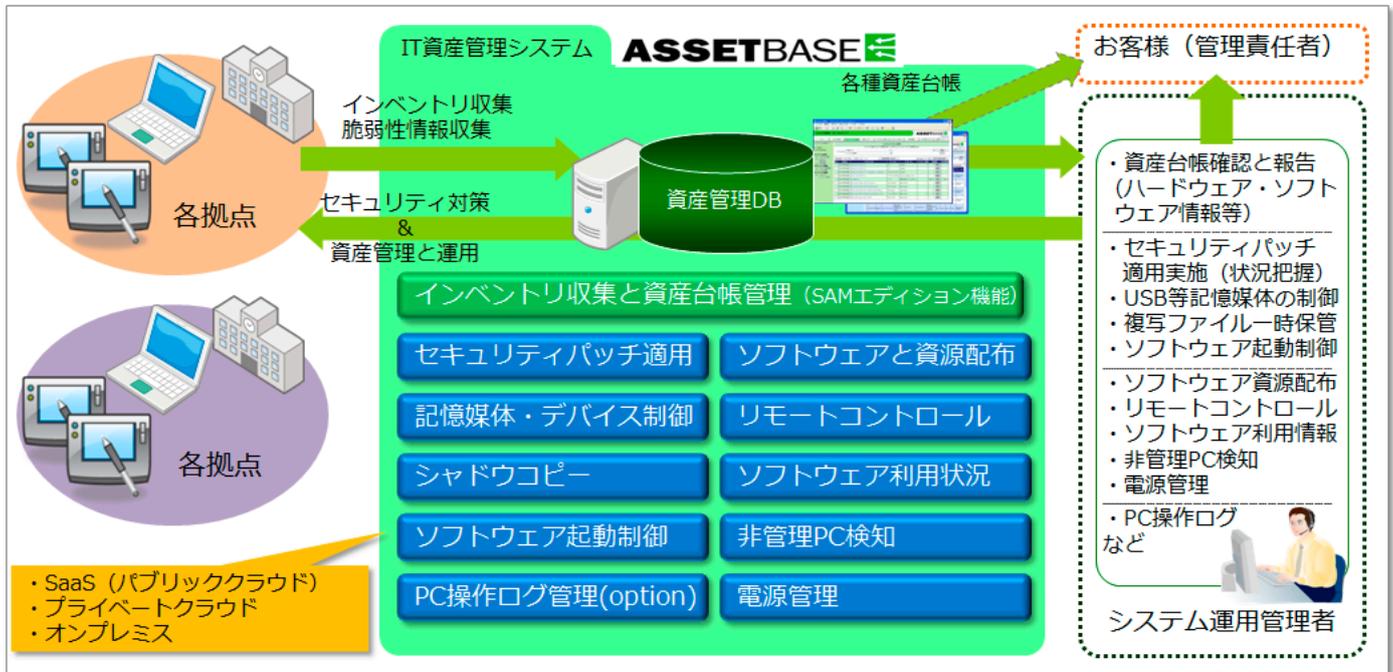
1. フルスペックのOfficeが、断然オトクに購入できます。卒業時に譲渡、卒業後も利用可能
2. 在学中のバージョンアップやPC買い替え時の再インストールなど無償でできます。
3. 大学の費用負担無し！ ECサイトとダウンロードサイトをクラウドで無償提供します。

製品・サービス名称	Microsoft Office 学割特別プラン U365		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 (ソフトウェア販売)	・パブリック・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他 (学生サービス)
■一般事項			
契約実績	大学実績 (約 80) 校: 利用大学名 (筑波大学、大阪教育大学、学習院大学、駒澤大学 等多数) 民間実績 (無: 教育機関のみ) 社: 利用企業名 他、専門学校等		
費用	・初期費用: 無し ・ランニング費用: 無し		
利用条件	・最低ユーザ数: ゼロ ・最低利用期間: 1年間		
支払方法	請求サイクル: 無し (学生が個人負担で Office を購入)		
販売代理店	無、有 ()		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 (当社営業経由にて利用申込み)	利用開始までの期間	10 営業日程度
約款の有無	有・無 (学生向けの利用約款はあり ())	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (24h365D)		
実績稼働率	有・無・その他 (2017 年実績: 99.99%以上) ※サービス提供時間帯稼働率 (計画停止除く)	目標稼働率	有・無・その他 (99.9%) ※サービス提供時間帯稼働率 (計画停止除く)
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	10:00~16:00	QA 対応時間帯	10:00~16:00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	無制限
計画停止の頻度	有 (年に 1 回程度)	サービス停止の通知	2 週間前
ログの開示	有・無 (※条件 ())	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク
問合せ先	企業名: 株式会社内田洋行 部署名: メジャーアカウント&パブリックシステムサポート事業部 技術サポート&サービスビジネス推進部 担当者: 舘野 康彦	電話番号: 03-5634-6708 FAX 番号: 03-5634-6879 Mail: usisupport@u365.jp	

製品・サービス名称	IT 資産管理／セキュリティ管理 ASSETBASE
提供企業名	株式会社 内田洋行
紹介サイト URL	http://www.asset-base.jp/

■製品サービスの特長

セキュリティとコンプライアンスを強力に支援する IT 資産管理ソリューション



■ ASSETBASE の概要と実績

大学や教育機関において、情報漏えい事故やマルウェア感染をはじめとするセキュリティインシデントや、不適切なソフトウェア利用などが相次いでいます。セキュリティとコンプライアンスの両面から、IT 資産の管理の重要性がますます高まっており、組織のリスクマネジメントとして必須のものとして認知されています。

IT 資産管理ソリューション「ASSETBASE」は、学内の大量の PC やソフトウェアを「見える化」し、ソフトウェアとライセンスの管理、IT 資産管理、IT セキュリティ管理をご支援します。2004 年の SaaS 型クラウドサービスの提供開始以来、大学をはじめ多くのお客様にご活用いただいております。ASPIC (特定非営利活動法人 ASP・SaaS・クラウドコンソーシアム) アワード「ベストイノベーション賞」も受賞した実績あるサービスです。

■ ASSETBASE の特長

1. 標的型攻撃やランサムウェア対策に有効な、OS・アプリのセキュリティパッチ適用管理
2. 運用管理を支援する「リモートコントロール」「ソフトウェア配布」「デバイス制御」等
3. ソフトウェアとライセンス管理を高精度で実現、ソフトウェア辞書装備
4. ウイルス対策状態や不適切アプリ検知などセキュリティレポートも充実
5. SaaS (クラウド)、プライベートクラウド、オンプレミスの選択が可能

製品・サービス名称	IT 資産管理/セキュリティ管理 ASSETBASE		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他 (IT 資産管理)
■一般事項			
契約実績	大学実績 (約 65) 校：利用大学名 (国立高専機構、京都大学、信州大学、慶應義塾、関西大学、 等) 民間実績 (約 50) 社：利用企業名 (非公開) 他、自治体、教育委員会 (小中高等学校)、私立学校等		
費用	<ul style="list-style-type: none"> ・初期費用：管理アカウント発行料 ・ランニング費用：クライアントライセンス+サーバーシステムライセンス ・課金単位：原則としてご利用法人単位の年間利用料 ※トライアル (評価版) ご利用可能 		
利用条件	<ul style="list-style-type: none"> ・最低ユーザ数：1 ライセンスより利用可能 ・最低利用期間：1 年間 (年間利用料制) 		
支払方法	請求サイクル：年次 支払方法：原則として前払、原則として振込支払 (応相談)		
販売代理店	無、有 (代理店名：内田洋行各販売代理店)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 (当社営業経由にて利用申込み)	利用開始までの期間	5 営業日 (SaaS 型の場合)
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (ご利用約款に基づく)		
実績稼働率	有・無・その他 (2016 年実績：99.99%以上) ※サービス提供時間帯稼働率 (計画停止除く)	目標稼働率	有・無・その他 (99.9%) ※サービス提供時間帯稼働率 (計画停止除く)
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応については応相談	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応については応相談	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	9:00~17:00	QA 対応時間帯	9:00~17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	無制限
計画停止の頻度	有 (年に 2 回程度)	サービス停止の通知	2 週間前
ログの開示	有・無 (※条件)	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク
問合せ先	企業名：株式会社内田洋行 部署名：メジャーアカウント&パブリックシステムサポート事業部 技術サポート&サービスビジネス推進部 担当者：舘野 康彦	電話番号：03-5634-6708 FAX 番号：03-5634-6879 Mail： abinfo@uchida.co.jp	

製品・サービス名称	ソフトウェア配布提供システム Download Station
提供企業名	株式会社 内田洋行
紹介サイト URL	http://www.asset-base.jp/

■製品サービスの特長

Microsoft や Adobe 等ソフトウェアの安全・効率的な学内配布を支援！

ソフトウェア配布提供システム

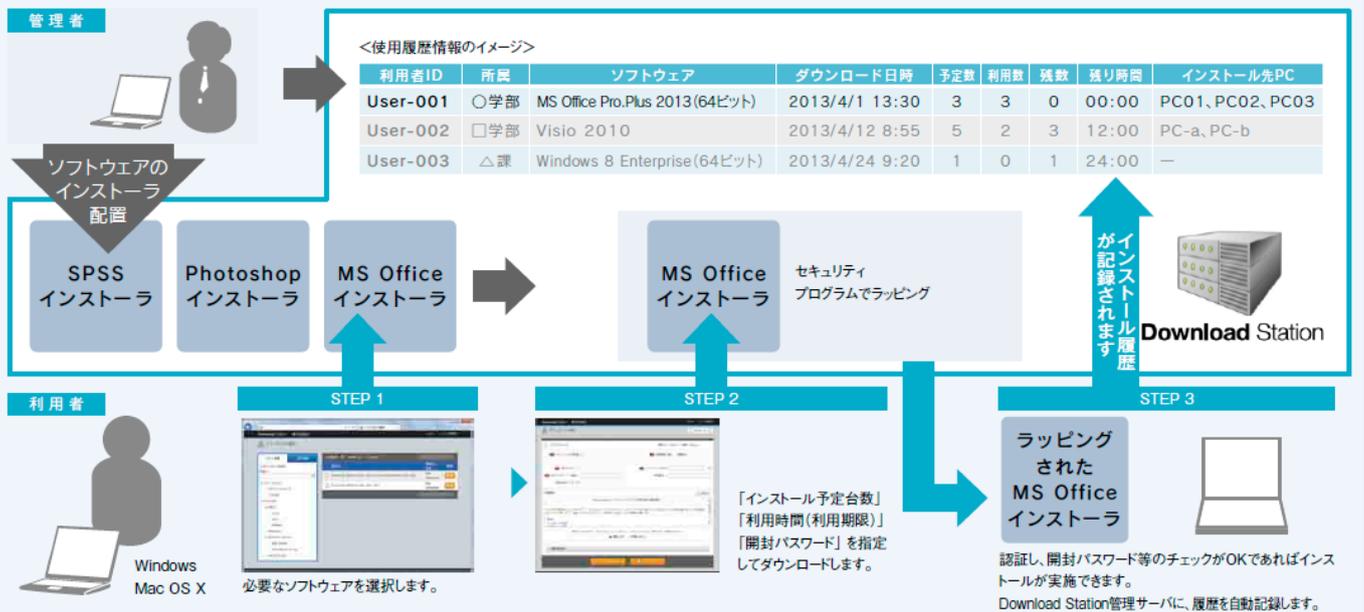


Download Station

利用者にソフトウェアを配布する際、インストーラにセキュリティ対策を設定することで、安全に効率的にダウンロード利用させることができるシステムです。



- | | | |
|---|--|--|
| <p>POINT 1 ソフトウェア配布を安全・簡単に</p> <p>利用者がいつでも簡単に必要なソフトウェアをダウンロード・インストールできます。ダウンロードしたインストーラは個別の開封パスワードが無いと開けませんので、不適切なコピー利用を防止できます。インストール予定数や利用期限も設定することが可能です。</p> | <p>POINT 2 トレーサビリティの確保</p> <p>ダウンロード・インストールの履歴を記録「誰が、いつ、どのソフトウェアを、どこにどれだけ」ダウンロードして、どのPCにインストールしたのかの履歴の管理もします。</p> | <p>POINT 3 利用者・管理者の負担軽減</p> <p>利用者は、画面から利用したいソフトウェアを選択しダウンロードします。インストール用メディア管理者はメディアの貸出業務の軽減や、メディア紛失・流出リスクを防止することができます。</p> |
|---|--|--|



■ Download Station の概要

「Download Station」は、Microsoft や Adobe 等のソフトウェアを、教職員・学生等の利用者に、安全に効率的に配布提供するシステムです。例えば以下の課題の解決を支援いたします。

- 【こんな課題を解決 1】インストールメディアの流出リスク（不用意なコンプライアンス違反）を避けたい
- 【こんな課題を解決 2】インストールメディアの貸し出し管理や、個体管理の業務負担が大きい
- 【こんな課題を解決 3】キャンパスや拠点が多い場合、全てをカバーする配布運用の手間が大きい
- 【こんな課題を解決 4】大学の研究室内の PC 等、大量の PC へのソフトウェア配布を効率的に行いたい
- 【こんな課題を解決 5】実際に利用された数を把握し、ボリュームライセンス投資への効果を把握したい

Download Station は、ソフトウェアのインストーラをセキュリティプログラムでラッピング保護し、利用者が安全にダウンロード利用できるようにします。ダウンロードしたインストーラは、個別の開封パスワード制御されており、不適切なコピー利用を防止できます。また、インストール予定数や利用期限も制御することが可能です。

「誰が、いつ、どのソフトウェアを、どこにどれだけ」ダウンロードして、どの PC にインストールしたのかの履歴の管理も可能であり、利用統計と投資対効果測定などにお役立ていただけます。

製品・サービス名称	ソフトウェア配布提供システム Download Station		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他 (ソフトウェアの配布管理)
■一般事項			
契約実績	民間実績 (非公開) 社 : 利用企業名 (非公開) 大学実績 (非公開) 校 : 利用大学名 (筑波大学、香川大学、法政大学、中央大学、立命館大学、近畿大学 等)		
費用	・初期費用 : 導入費用およびシステムライセンス ・ランニング費用 : 年間保守費用		
利用条件	・ライセンス形態 : システム単位 (買取) ・保守条件等 : 保守契約に基づく		
支払方法	請求サイクル : 年次 支払方法 : 原則として振込支払 (応相談)		
販売代理店	内田洋行各販売代理店		
■契約			
申込み方法	当社営業経由にて利用申し込み	利用開始までの期間	5 営業日 (標準システム構築期間) ※別途環境構築が必要
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	プライベートクラウドサーバー	データ削除規定の有無	削除運用は別途ご相談
準拠法	プライベートクラウドサーバーによる	管轄裁判所	国内を想定
■信頼性			
SLA	プライベートクラウド導入環境に基づく		
実績稼働率	プライベートクラウド導入環境に基づく (事例 : 99.9%以上 計画停止を除く)	目標稼働率	プライベートクラウド導入環境に基づく
ストレージ	プライベートクラウド導入環境に基づく	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応については応相談	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応については応相談	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	9:00~17:00	QA 対応時間帯	9:00~17:00
コンタクト方法	電話・メール	対応インシデント数	無制限
計画停止の頻度	導入環境に基づく	サービス停止の通知	利用顧客運用規定に基づく
ログの開示	有	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク
問合せ先	企業名 : 株式会社内田洋行 部署名 : メジャーアカウント&パブリックシステムサポート 事業部 技術サポート&サービスビジネス推進部 担当者 : 舘野 康彦	電話番号 : 03-5634-6708 FAX 番号 : 03-5634-6879 Mail : ml-DSinfo@uchida.co.jp	

製品・サービス名称	Cisco CloudCenter
提供企業名	シスコシステムズ合同会社
紹介サイト URL	https://www.cisco.com/c/ja_jp/products/cloud-systems-management/cloudcenter/index.html

■製品サービスの特長

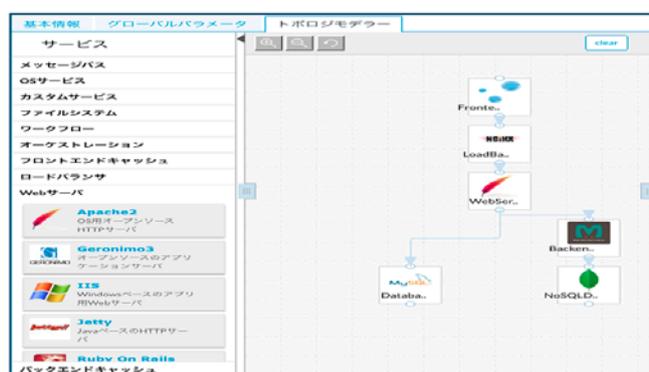
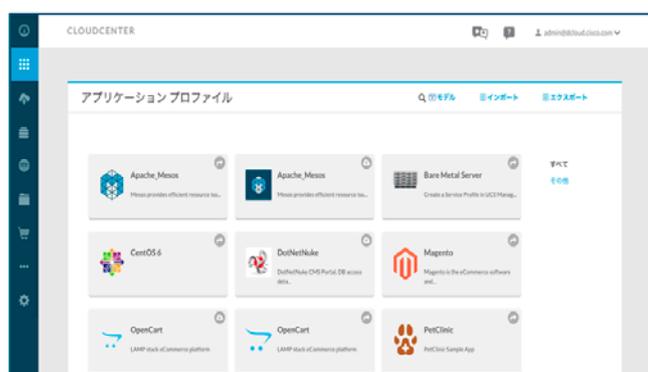
■Cisco CloudCenter とは

Cisco CloudCenter は、ハイブリッド クラウドの管理ツールです。データセンタ、プライベート・パブリッククラウドの全ての環境にアプリケーションサービスを導入させることができます。Cisco CloudCenter により IT 環境は、セルフサービスでのオンデマンド アプリケーションを提供することができ、それには、単純な仮想マシンから、複雑な階層のアプリケーションも導入することが可能です。導入を自動化し、データセンタ、プライベート・パブリッククラウドのリソースを一元的に管理し、一つのリソースプールとして取り扱うことが可能となります。

Cisco CloudCenter のガバナンスとセキュリティは、アプリケーション、データセンタ、クラウドだけでなく、真土テナントのグループやユーザにも対応します。管理者はクラウドのアカウントを一元管理し、使用を管理および制限し、コストのレポートを作成できます。ガバナンスコントロールとロールベース アクセス コントロール (RBAC) で、高機動なハイブリッドクラウド運用・管理を実現します。運用はよりシンプルに、柔軟に、拡張性はより高く、クラウド時代に適合した新たな環境を実現します。

Cisco CloudCenter の特長

- 単一のプラットフォーム：データセンタープライベート クラウド、パブリック クラウドのすべての環境を一元管理
- ガバナンス：管理とガバナンスが統合された、セキュアで拡張性の高いマルチテナント ソリューション
- 優れたセキュリティ：正確なアクセス制御、ネットワーク分離、AES-256 暗号化、FIPS 準拠の暗号方式を採用
- アプリケーション：アプリケーションをモデリング。1 つのブループリントとし、指定されたクラウドに配置・再配置
- 13 を超えるデータセンタ、プライベート・パブリッククラウドをサポート



Cisco CloudCenter によるマルチクラウド管理のメリット

- クラウドに対する利用者・テナントに対するアクセス権の一元管理と制御
- アプリケーションの共有とマルチクラウドへの導入
- リージョン間・クラウド間でのアプリケーションをオンデマンドでの移動
- データセンタ、プライベート・パブリッククラウドをリソースプールとして利用可能
- 利用者・テナントへの課金情報収集

Cisco CloudCenter は、オンプレミス パッケージ アプリケーションとして導入・利用ができます。

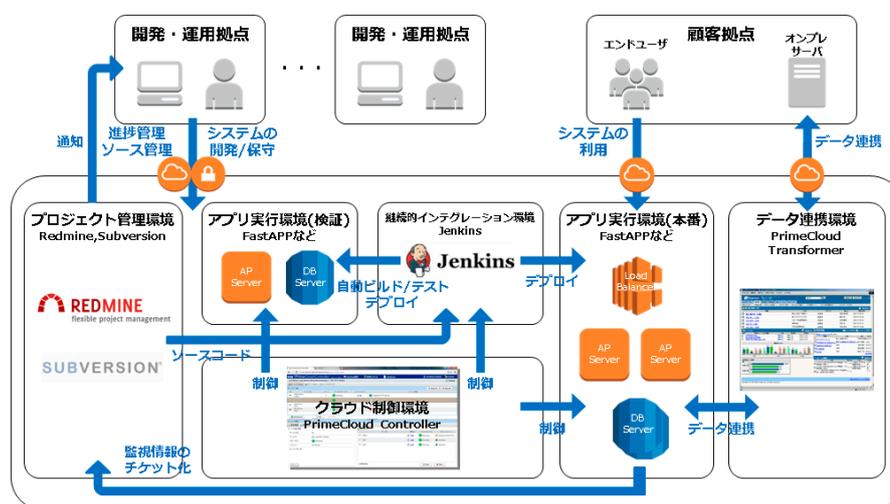
製品・サービス名称	Cisco CloudCenter		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績			
費用	トライアルの有無、課金体系、従量制課金の上限設定、割引プラン等 弊社までお問い合わせください。		
利用条件	弊社までお問い合わせください。		
支払方法	弊社までお問い合わせください。		
販売代理店	無、有 (代理店名：シスコパートナー)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 (パートナーへの発注)	利用開始までの期間	
約款の有無	有・無 (パートナーの契約に依存)	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容：)		
実績稼働率	有・無・その他 ()	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24H/365D、8H/5D	QA 対応時間帯	24H/365D、8H/5D
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	※ (例：年間 XX 件まで)
計画停止の頻度	(※頻度、時間帯)	サービス停止の通知	※ (例：1ヶ月前に通知)
ログの開示	有・無 (※条件)	第三者認証取得状況	※ISMS、P マーク等
問合せ先	企業名：シスコシステムズ合同会社 部署名：コーポレートビジネス事業ビジネス開発本部 担当者：見松 利恵	電話番号：03-6434-2618 FAX 番号：03-6434-6262 Mail：cisco-edu-j@cisco.com	

製品・サービス名称	クラウド対応開発環境サービス PrimeCloud for Developers (PCD)
提供企業名	SCSK 株式会社
紹介サイト URL	https://www.heartil.jp/servicelist/cate/PrimeCloud-for-Developers

■製品サービスの特長

1. サービスの概要と特長

PrimeCloud for Developers は、クラウドの利点を最大限に活かし、開発スピード向上とコスト最適化を実現する、開発・運用支援ツールとシステム基盤をワンストップで提供するサービスです。



PrimeCloud for Developers ご利用イメージ

PrimeCloud for Developers の特長は以下の 3 点です。

(1) リモート開発・分散開発・共同利用に最適

インターネットからのアクセスが可能のため、リモートからの開発や、複数拠点での分散開発、複数団体での共同利用に適しています。

(2) インフラ構築～運用の工数削減で開発に専念可能

構築済みのインフラ・運用監視がセットで提供されるため、時間と工数を節約でき、開発に専念することができます。

(3) 安心の高可用性・高信頼性

専有環境・冗長構成とすることで高い可用性を実現しており、安心してご利用頂けます。

2. サービスメニュー

プロジェクト管理環境	「Redmine」・「Subversion」の機能をサービスとして提供
継続的インテグレーション環境	継続的インテグレーションツール「Jenkins」を利用できる環境を提供
クラウド制御環境	クラウド制御ツール「PrimeCloud Controller」を利用できる環境を提供
FastAPP 環境	SCSK オリジナルの超高速開発基盤「FastAPP」にインフラと運用・監視を組み合わせ提供
クラウドリソース	仮想サーバリソースを従量課金型にて提供

3. 実績

大手生命保険会社のシステム統合プロジェクト(最大数千名規模)中で、プロジェクトを統合的に管理できる専用の情報共有ツールとして採用されています。

また、特定非営利活動法人 ASP・SaaS・クラウドコンソーシアム主催による「第 9 回 ASPIC クラウドアワード 2015」において、IaaS・PaaS 部門で「委員長特別賞」を受賞しました。

製品・サービス名称	クラウド対応開発環境サービス PrimeCloud for Developers (PCD)		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他 (開発環境)
■一般事項			
契約実績	民間実績 (20) 社 : 利用企業名 (MS&AD システムズ(株) 他) 大学数 (1) 校 : 利用大学名 (北海道大学)		
費用	※トライアルの有無、課金体系、従量制課金の上限設定、割引プラン等 初期費用 : ¥0~ ランニング費用 : ¥18,000~ (継続的インテグレーション環境提供サービスの場合)		
利用条件	最低利用期間 : 1 か月 ご利用対象 : 大学、研究機関様全般		
支払方法	利用実績に基づき月次請求、支払方法 : 請求翌月末までに振込		
販売代理店	無、有 (代理店名 :)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 (契約書締結)	利用開始までの期間	契約締結後 5 営業日
約款の有無	有・無・その他 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容 :)		
実績稼働率	有・無・その他 (99.95%以上)	実績稼働率	有・無・その他 (99.95%以上)
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	ストレージ	多重化有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	データ暗号化	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	SCSK 営業日 9:00-17:00	QA 対応時間帯	受付 SCSK 営業日 9:00-17:00
コンタクト方法	Web・メール	対応インシデント数	無制限
計画停止の頻度	有・年 1 回	サービス停止の通知	実施の 2 週間前までに通知
ログの開示	有・無 (※条件)	第三者認証取得状況	P マーク
問合せ先	企業名 : SCSK 株式会社 部署名 : 事業推進グループ 事業高度化推進室 担当者 : PCD 担当宛て	電話番号 : 03-5166-2036 Mail : pcd-info@ml.scsk.jp	

6. 比較表

○比較表に関するご注意事項

本比較表は、P.5 から P.115 までのカタログ記載データを取りまとめたものです。そのため、カタログ記載のデータと比較表のデータが異なる場合、カタログ記載のデータが優先されます。また比較表は、比較しやすいようにデータの1部をグルーピングし抽象化していますので、その点をご了解ください。

比較表 1

カタログ 掲載情報	掲載区分	1. 教育支援系				
	項番	1. (1)	1. (2)	1. (3)	1. (4)	1. (5)
	掲載ページ	6	8	10	12	14
製品・サービス名		Microsoft 365 Education	Prime Learning 大学向けのLMS(学習管理システム)のeポートフォリオ	デジタルラーニングプラットフォーム『Fisdor』	アクティブ・ラーニング支援ツール MOVARI	Cisco Spark, Cisco Spark Board
提供企業名		日本マイクロソフト	SCSK	富士通	内田洋行	シスコシステムズ
製品・サービス区分	サービス	○	○	○	○	○
	製品	—	○	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
クラウド区分	パブリック	○	○	○	○	○
	プライベート	—	○	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
パブリッククラウド区分	IaaS	—	—	—	—	—
	PaaS	—	—	—	—	—
	SaaS	○	○	○	○	○
利用用途分類	教育支援	○	○	○	○	○
	研究支援	—	—	—	—	○
	事務支援	—	—	—	—	○
	情報インフラ	○	—	—	—	○
	その他	—	—	—	—	—
契約実績	民間	多数	—	0	—	数百
	大学	多数	—	2	2	数十
契約	申込方法	代理店経由手続き	契約書	営業経由手続き	営業経由手続き	代理店経由手続き
	利用開始までの期間	契約完了後	要相談	2週間～1ヶ月間	2～4週間	2週間
	約款の有無	○	○	○	○	○
	約款修正の可能性	×	○	未定	○	○
	データ保存場所	国内	国内	国内	国内	海外
	データ削除規定	○	○	○	○	○
	準拠法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法
	管轄裁判所	国内	国内	国内	国内	国内
信頼性	SLA	○(99.9%)	○(相談)	×	×	×
	実績稼働率	○(99.98%)	○	未測定	×	○(99.99%)
	目標稼働率	○	○	×	×	○(100%)
	ストレージ	○	○	○	○	○
	バックアップ	○	○	○	○	○
	データ暗号化	○	○	○	×	○
	暗号通信化	○	○	○	○	○
機能	SINET接続	×	×(個別構築可能)	×	×	×
	VPN接続	○	○	×	×	○
	学認対応	△(一部対応)	×(個別構築可能)	△(対応予定)	×	×
	LDAP連携	○	×(個別構築可能)	×	×	契約による
	管理ツール	○	モデルにより異なる	○	○	○
	API公開	△	○	△(対応予定)	×	○
保守運用	障害対応時間帯	24H×365D 電話対応	別途相談	平日営業時間	平日営業時間	24H×365D
	QA対応時間帯	24H×365D	別途相談	平日営業時間	平日営業時間	24H×365D
	コンタクト方法	電話・メール	電話・メール	メール	メール	電話・メール
	対応インシデント数	無制限	別途相談	無制限	無制限	無制限
	計画停止の頻度	○	○	○(月1回)	無	適宜
	サービス停止の通知	事前通告	別途相談	ホームページ通知	2週間前	有
	ログの開示	○	○(保守条件による)	検討中	×	○(要問合せ)
	第三者認証取得状況	○	○	○	○	×

比較表 2

カタログ 掲載情報		掲載区分	1. 教育支援系				2. 研究支援系					
		項番	1. (6)		2. (1)		2. (2)		2. (3)		2. (4)	
		掲載ページ	16		20		22		24		26	
製品・サービス名		Cisco WebEx, Cisco TelePresence	XTREME DNA		FUJITSU 文教ソリューション Ufinity研究者業績サービス		さくらのレンタルサーバ リセールサービス		活文 Managed Information Exchange Service			
提供企業名		シスコシステムズ	エイチ・シー・ネットワークス		富士通		さくらインターネット		日立製作所			
製品・サービス区分	サービス	○	○		○		○		○			
	製品	○	-		-		-		-			
	その他	-	-		-		-		-			
クラウド区分	パブリック	○	○		○		○		○			
	プライベート	-	-		-		-		-			
	その他	-	-		-		-		-			
パブリッククラウド区分	IaaS	-	-		-		-		-			
	PaaS	-	-		-		-		-			
	SaaS	○	○		○		○		○			
利用用途分類	教育支援	○	-		-		○		-			
	研究支援	○	○		○		○		○			
	事務支援	○	-		-		○		-			
	情報インフラ	○	-		-		○		○			
	その他	-	-		-		-		-			
契約実績	民間	3000	-		1		非公開		非公開			
	大学	多数	-		10		非公開		非公開			
契約	申込方法	代理店経由手続き	営業経由手続き		注文書・契約書		注文書 オンライン		営業経由手続き			
	利用開始までの期間	2週間	1週間		別途相談		5営業日		2週間~			
	約款の有無	○	○		○		○		×			
	約款修正の可能性	○	○		○		○		別途相談			
	データ保存場所	国内・海外	利用クラウドに依存		国内		国内		国内			
	データ削除規定	○	○		○		○		○			
	準拠法	日本国法	日本国法		日本国法		日本国法		日本国法			
	管轄裁判所	国内	国内		国内		国内		国内			
信頼性	SLA	×	×		-		×		×			
	実績稼働率	○(99.99%)	-		×		○(99.99%以上)		別途相談			
	目標稼働率	○(100%)	非公開		×		非公開		○(99.9%)			
	ストレージ	○	サービス選択		×		○		○			
	バックアップ	○	サービス選択		○		○		○			
	データ暗号化	○	○		×		×		○			
	暗号通信化	○	○		○		○		○			
機能	SINET接続	×	-		対象外		×		×			
	VPN接続	×	-		対象外		×		○			
	学認対応	×	-		○		×		×			
	LDAP連携	契約による	-		×		×		○			
	管理ツール	○	-		○		○		○			
	API公開	○	-		×		×		○			
保守運用	障害対応時間帯	24H×365D	24H×365D		平日営業時間帯		24H×365D		平日営業時間帯			
	QA対応時間帯	24H×365D	平日営業時間帯		平日営業時間帯		平日営業時間帯		平日営業時間帯			
	コンタクト方法	電話・メール・チャット	電話・メール		Webサイト		電話・メール		電話・メール			
	対応インシデント数	無制限	無制限		無制限		無制限		個別見積			
	計画停止の頻度	適宜	無		月2回夜間		必要の応じ実施		年12回			
	サービス停止の通知	有	-		3ヶ月前		1週間前		1週間前			
	ログの開示	○(要問合せ)	○		×		△(1部)		○			
	第三者認証取得状況	○	○		○		○		○			

比較表 3

カタログ 掲載情報	掲載区分	2. 事務支援系				
	項番	3. (1)	3. (2)	3. (3)	3. (4)	3. (5)
	掲載ページ	30	32	34	36	38
製品・サービス名		TWX-21 MRO 集中購買サービス	音声データ利活用 ソリューション	図書館情報システム LIMEDIO クラウドサービス	リコー LFプリント サービス AE2	Ridoc Easy Sharing サービス
提供企業名		日立製作所	日立製作所	リコー	リコー	リコー
製品・サー ビス区分	サービス	○	—	○	○	○
	製品	—	○	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
クラウド 区分	パブリック	○	—	—	○	○
	プライベート	—	○	—	—	—
	その他	—	○	○	—	—
パブリック クラウド 区分	I a a S	—	—	—	—	—
	P a a S	—	—	—	—	—
	S a a S	○	—	○	○	○
利用用途 分類	教育支援	—	—	○	○	○
	研究支援	—	—	○	○	○
	事務支援	○	○	○	○	○
	情報インフラ	—	—	○	○	○
	その他	—	—	—	○	○
契約実績	民間	700	非公開	—	実績有	実績有
	大学	非公開	非公開	200以上	—	—
契約	申込方法	営業経由手続き	営業経由手続き	注文書	注文書	注文書
	利用開始までの期間	2ヶ月～	別途相談	別途相談	別途相談	別途相談
	約款の有無	○	別途相談	契約書による	○	契約書による
	約款修正の可能性	×	別途相談	契約書による	契約書による	○
	データ保存場所	国内	オンプレミス	国内	海外	国内
	データ削除規定	×	×	×	○	○
	準拠法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法
	管轄裁判所	国内	国内	国内	国内	国内
信頼性	SLA	×	×	×	—	×
	実績稼働率	○(99.5%以上)	別途相談	—	—	○
	目標稼働率	非公開	別途相談	—	○	○
	ストレージ	○	別途相談	×	○	○
	バックアップ	○	別途相談	○	○	○
	データ暗号化	×	別途相談	×	—	○
	暗号通信化	○	別途相談	○	○	○
機能	SINET接続	×	×	○	○	○
	VPN接続	×	×	○	×	○
	学認対応	×	×	○	×	○
	LDAP連携	×	×	○	×	○
	管理ツール	○	○	○	○	○
	API公開	×	×	×	×	×
保守 運用	障害対応時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯
	QA対応時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯
	コンタクト方法	電話・メール	電話・メール	電話・メール	電話・メール	電話・メール
	対応インシデント数	個別見積	別途相談	無制限	無制限	無制限
	計画停止の頻度	月1回	別途相談	無	適宜	適宜
	サービス停止の通知	事前	別途相談	1ヶ月前	2週間前	1ヶ月前
	ログの開示	△(コンテンツ)	○	×	×	×
	第三者認証取得状況	○	別途相談	○	—	○

比較表 4

カタログ掲載情報		2. 事務支援系	4. 情報インフラ系			
掲載区分		3. (6)	4. (1)	4. (2)	4. (3)	4. (4)
項番		3. (6)	4. (1)	4. (2)	4. (3)	4. (4)
掲載ページ		40	44	46	48	50
製品・サービス名		DreamCampus for Cloud (ドリームキャンパス)	NECクラウドサービス (SINET接続)	FUJITSU 文教ソリューション UnifDone キャンパスクラウド	USiZE(ユーサイズ) プライベートモデル / シェアードモデル / パブリッククラウドモデル	Microsoft Azure
提供企業名		SCSK	日本電気	富士通	SCSK	日本マイクロソフト
製品・サービス区分	サービス	○	○	—	○	○
	製品	○	—	○	—	—
	その他	—	—	—	—	—
クラウド区分	パブリック	○	○	—	○	○
	プライベート	○	—	○	○	—
	その他	—	○	—	—	—
パブリッククラウド区分	IaaS	○	○	—	○	○
	PaaS	—	—	—	○	○
	SaaS	○	—	—	○	—
利用用途分類	教育支援	—	—	—	—	—
	研究支援	—	—	—	—	○
	事務支援	○	—	—	—	—
	情報インフラ	—	○	○	○	○
	その他	—	—	—	—	—
契約実績	民間	—	—	—	約400	非公開
	大学	63	4	—	10	多数
契約	申込方法	契約書	ポータル	要件提示	契約書	代理店 オンライン
	利用開始までの期間	別途相談	最短15分	別途相談	即日~10営業日	即日
	約款の有無	○	○	○	○	—
	約款修正の可能性	○	○	○	○	—
	データ保存場所	国内	国内	国内	国内・海外	国内
	データ削除規定	○	○	○	○	○
	準拠法	日本国法	日本国法	日本国法	国内・海外	日本国法
	管轄裁判所	国内	国内	国内	国内・海外	国内
信頼性	SLA	別途相談	○	×	○	○(99.95/99.9%)
	実績稼働率	○	非公開	×	○(99.993%)	非公開
	目標稼働率	○	有	×	○(99.95~99.98%)	○(99.95/99.9%)
	ストレージ	○	○	—	○	○
	バックアップ	—	○	×	○	○
	データ暗号化	○	×	仕様による	個別構築可能	○
	暗号通信化	—	○	仕様による	個別構築可能	○
	機能	SINET接続	×(個別構築可能)	○	—	×
VPN接続		○	○	—	○	○
学認対応		×(個別構築可能)	×	—	×	×
LDAP連携		×(個別構築可能)	×	—	個別構築可能	アプリに依存
管理ツール		モデルにより異なる	○	○	モデルにより異なる	○
API公開		モデルにより異なる	×	×	モデルにより異なる	○(1部)
保守運用	障害対応時間帯	別途相談	24H×365D	平日営業時間	24H×365D	24H×365D
	QA対応時間帯	別途相談	24H×365D 可能	平日営業時間	24H×365D(メール)	24H×365D
	コンタクト方法	電話・メール	Web(基本)、メール・電話(オプション)	電話・メール	電話・メール	電話・専用Web経由
	対応インシデント数	別途相談	件数	無制限	無	無制限
	計画停止の頻度	—	無	無	適宜	○(不定期)
	サービス停止の通知	別途相談	1ヶ月前	—	事前通知有	1週間前
	ログの開示	○(保守条件による)	○(FW, LB)	○	○	○
	第三者認証取得状況	○	○	○	○(モデルにより異なる)	○

比較表 5

カタログ 掲載情報	掲載区分	4. 情報インフラ系				
	項番	4. (5)	4. (6)	4. (7)	4. (8)	4. (9)
	掲載ページ	52	54	56	58	60
製品・サービス名		さくらのクラウド	さくらの専用サーバ	さくらのVPS	エンタープライズクラウドサービス	フェデレーテッドクラウド(フェデレーテッドポータルサービス、フェデレーテッドクラウド監視サービス)
提供企業名		さくらインターネット	さくらインターネット	さくらインターネット	日立製作所	日立製作所
製品・サービス区分	サービス	○	○	○	○	○
	製品	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
クラウド区分	パブリック	○	○	○	○	—
	プライベート	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	○
パブリッククラウド区分	IaaS	○	○	○	○	—
	PaaS	—	—	—	—	○
	SaaS	—	—	—	—	—
利用用途分類	教育支援	○	○	○	○	○
	研究支援	○	○	○	○	○
	事務支援	○	○	○	○	○
	情報インフラ	○	○	○	○	○
	その他	—	—	—	○	○
契約実績	民間	非公開	非公開	非公開	非公開	非公開
	大学	非公開	非公開	非公開	非公開	非公開
契約	申込方法	注文書 オンライン	注文書 オンライン	注文書 オンライン	営業経由手続き	営業経由手続き
	利用開始までの期間	即時	即時～数営業日	即時	5営業日～	最短5営業日
	約款の有無	○	○	○	×	×
	約款修正の可能性	○	○	○	別途相談	別途相談
	データ保存場所	国内	国内	国内	国内	国内
	データ削除規定	○	○	○	○	×
	準拠法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法
	管轄裁判所	国内	国内	国内	国内	国内
信頼性	SLA	○(99.95%)	○(99.95%)	×	別途相談	別途相談
	実績稼働率	非公開	非公開	非公開	○(99.999%)	別途相談
	目標稼働率	非公開	非公開	非公開	○(99.99%)	○(99.9%)
	ストレージ	○	○	○	○	○
	バックアップ	○	×	○	○	別途相談
	データ暗号化	×	×	×	×	×
	暗号通信化	○	○	○	×	○
機能	SINET接続	○	○	○	×	×
	VPN接続	○	○	×	○	○
	字認対応	×	×	×	×	×
	LDAP連携	×	×	×	×	×
	管理ツール	○	○	○	○	○
	API公開	○	×	×	×	×
保守運用	障害対応時間帯	24H×365D	24H×365D	24H×365D	平日営業時間	平日営業時間
	QA対応時間帯	平日営業時間	平日営業時間	平日営業時間	平日営業時間	平日営業時間
	コンタクト方法	電話・メール	電話・メール	電話・メール	電話・メール	電話・メール
	対応インシデント数	無制限	無制限	無制限	無制限	個別見積
	計画停止の頻度	適宜	適宜	適宜	最大月1回	月1回
	サービス停止の通知	1週間前	1週間前	1週間前	1ヶ月前	1ヶ月前
	ログの開示	×	×	×	×	×
	第三者認証取得状況	○	○	○	○	○

比較表 6

カタログ 掲載情報	掲載区分	4. 情報インフラ系				
	項番	4. (10)	4. (11)	4. (12)	4. (13)	4. (14)
	掲載ページ	62	64	66	68	70
製品・サービス名		出前クラウドサービス	日立クラウド基盤導入ソリューション Powered by Apache CloudStack®	Cisco Meraki クラウド管理型 IT ソリューション	Cisco Umbrella	Cisco Cloudlock
提供企業名		日立製作所	日立製作所	シスコシステムズ	シスコシステムズ	シスコシステムズ
製品・サービス区分	サービス	○	—	—	○	○
	製品	—	○	○	—	—
	その他	—	—	—	—	—
クラウド区分	パブリック	—	—	○	—	—
	プライベート	○	○	—	○	○
	その他	—	—	—	—	—
パブリッククラウド区分	I a a S	○	○	—	—	—
	P a a S	—	○	—	—	—
	S a a S	—	—	○	○	○
利用用途分類	教育支援	○	○	—	—	—
	研究支援	○	○	—	—	—
	事務支援	○	○	—	—	—
	情報インフラ	○	○	○	○	○
	その他	○	○	—	—	—
契約実績	民間	非公開	2	—	—	多数
	大学	非公開	5	—	—	—
契約	申込方法	営業経由手続き	営業問合せ	営業問合せ	代理店経由手続き	代理店経由手続き
	利用開始までの期間	3ヶ月～	個別見積	営業問合せ	数営業日	数営業日
	約款の有無	×	×	営業問合せ	代理店契約に依存	代理店契約に依存
	約款修正の可能性	契約書による	契約書による	営業問合せ	○	○
	データ保存場所	国内	お客様設置場所	国内・海外	国内・海外	海外
	データ削除規定	—	—	○	—	—
	準拠法	日本国法	契約書による	日本国法	日本国法	日本国法
	管轄裁判所	国内	国内	—	国内	国内
信頼性	SLA	×	—	○	—	—
	実績稼働率	別途相談	—	非公開	○(100%)	○
	目標稼働率	別途相談	—	○(99.99%)	○(99.999%)	○(99.999%)
	ストレージ	○	—	○	○	—
	バックアップ	別途相談	—	○	○	—
	データ暗号化	○	—	○	—	—
	暗号通信化	別途相談	—	○	—	○
機能	SINET接続	×	—	営業問合せ	—	—
	VPN接続	○	○	○	—	—
	学認対応	×	○	営業問合せ	—	—
	LDAP連携	別途相談	○	○	—	—
	管理ツール	○	○	○	—	○
	API公開	×	○	○	—	—
保守運用	障害対応時間帯	平日営業時間	平日営業時間帯	24H×365D	平日営業時間帯	平日営業時間帯
	QA対応時間帯	平日営業時間	平日営業時間帯	24H×365D	平日営業時間帯	平日営業時間帯
	コンタクト方法	メール	メール・オンサイト	電話・メール・管理ツール	—	—
	対応インシデント数	年間5件まで	契約書による	無制限	—	—
	計画停止の頻度	原則停止無	—	無	—	—
	サービス停止の通知	個別調整	—	停止予定無	—	—
	ログの開示	×	—	営業問合せ	—	—
	第三者認証取得状況	○	○	○	—	—

比較表 7

カタログ 掲載情報	掲載区分	4. 情報インフラ系				
	項番	4. (15)	4. (16)	4. (17)	4. (18)	4. (19)
	掲載ページ	72	74	76	78	80
製品・サービス名		Cisco AMP for Endpoints	Cisco Unified Computing System(UCS) Cisco HyperFlex ハイパーコンバージド インフラ	Symantec Web Security Service (WSS)	Symantec CloudSOC	Symantec Data Loss Prevention(DLP)Cloud Service for Email
提供企業名		シスコシステムズ	シスコシステムズ	シマンテック	シマンテック	シマンテック
製品・サービス区分	サービス	○	—	○	○	○
	製品	—	○	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
クラウド区分	パブリック	—	—	○	○	○
	プライベート	○	○	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
パブリッククラウド区分	IaaS	—	—	—	—	○
	PaaS	—	—	○	○	○
	SaaS	○	—	—	—	—
利用用途分類	教育支援	—	—	—	—	—
	研究支援	—	—	—	—	—
	事務支援	—	—	—	—	—
	情報インフラ	○	○	○	○	○
	その他	—	—	—	—	—
契約実績	民間	多数	多数	非公開	非公開	3000社以上
	大学	—	多数	非公開	非公開	非公開
契約	申込方法	代理店経由手続き	代理店経由手続き	代理店経由手続き	代理店経由手続き	代理店経由手続き
	利用開始までの期間	数営業日	—	当日～数週間	当日～数週間	当日～数週間
	約款の有無	代理店契約に依存	代理店契約に依存	代理店契約に依存	○	○
	約款修正の可能性	○	○	○	×	×
	データ保存場所	国内・海外	—	国内	国内・海外	海外
	データ削除規定	—	—	×	○	×
	準拠法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法
	管轄裁判所	国内	国内	国内	国内	国内
信頼性	SLA	—	—	○	○	×
	実績稼働率	—	—	○	○	○
	目標稼働率	—	—	○	○	○
	ストレージ	—	—	○	○	○
	バックアップ	—	—	×	×	○
	データ暗号化	—	—	○	○	○
	暗号通信化	—	—	○	○	○
機能	SINET接続	—	—	×	×	×
	VPN接続	—	—	○	○	×
	学認対応	—	—	×	×	×
	LDAP連携	—	○	○	○	○
	管理ツール	○	○	○	○	○
	API公開	—	○	○	○	○
保守運用	障害対応時間帯	平日営業時間帯	24H×365D 可能	24H×365D	24H×365D	24H×365D
	QA対応時間帯	平日営業時間帯	24H×365D 可能	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯
	コンタクト方法	—	電話・メール	電話・メール・Web	電話・メール・Web	電話・メール・Web
	対応インシデント数	—	—	無制限	無制限	無制限
	計画停止の頻度	—	—	適宜	適宜	適宜
	サービス停止の通知	—	—	事前通知	事前通知	事前通知
	ログの開示	—	—	○	○	○
	第三者認証取得状況	—	—	×	×	×

比較表 8

カタログ 掲載情報		4. 情報インフラ系					
		掲載区分					
		項番	4. (20)	4. (21)	4. (22)	4. (23)	4. (24)
		掲載ページ	82	84	86	88	90
製品・サービス名		Symantec Email Security.cloud (ESS)	Symantec Validation & ID Protection (VIP)	Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2)	Amazon Simple Storage Service (Amazon S3)	Amazon Relational Database Service (Amazon RDS)	
提供企業名		シマンテック	シマンテック	Amazon Web Services	Amazon Web Services	Amazon Web Services	
製品・サービス区分	サービス	○	○	○	○	○	
	製品	—	—	—	—	—	
	その他	—	—	—	—	—	
クラウド区分	パブリック	○	○	○	○	○	
	プライベート	—	—	—	—	—	
	その他	—	—	—	—	—	
パブリッククラウド区分	IaaS	—	—	○	○	—	
	PaaS	○	—	—	—	○	
	SaaS	—	○	—	—	—	
利用用途分類	教育支援	—	—	○	○	○	
	研究支援	—	—	○	○	○	
	事務支援	—	—	○	○	○	
	情報インフラ	○	○	○	○	○	
	その他	—	—	○	○	○	
契約実績	民間	3500社以上	4000社以上	多数	多数	多数	
	大学	1000校以上	非公開	多数	多数	多数	
契約	申込方法	代理店経由手続き	代理店経由手続き	オンライン	オンライン	オンライン	
	利用開始までの期間	当日～数週間	当日～数週間	15分程度	15分程度	15分程度	
	約款の有無	○	○	○	○	○	
	約款修正の可能性	×	○	—	—	—	
	データ保存場所	海外	海外	国内・海外	国内・海外	国内・海外	
	データ削除規定	×	×	ホワイトペーパー	ホワイトペーパー	ホワイトペーパー	
	準拠法	日本国法	日本国法	日本国法・海外法規	日本国法・海外法規	日本国法・海外法規	
	管轄裁判所	国内	国内	国内・海外	国内・海外	国内・海外	
信頼性	SLA	○	×	○	○	○	
	実績稼働率	○	○	その他	その他	その他	
	目標稼働率	○	○	○	○	○	
	ストレージ	○	○	○	○	○	
	バックアップ	○	○	取得可能	バージョンニング	○	
	データ暗号化	×	○	○	○	○	
	暗号通信化	○	○	○	○	○	
機能	SINET接続	×	×	○	○	○	
	VPN接続	×	×	○	○	○	
	学認対応	×	×	×	×	×	
	LDAP連携	○	○	○	○	○	
	管理ツール	○	○	○	○	○	
	API公開	○	○	○	○	○	
保守運用	障害対応時間帯	24H×365D	24H×365D	プランにより異なる	プランにより異なる	プランにより異なる	
	QA対応時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	プランにより異なる	プランにより異なる	プランにより異なる	
	コンタクト方法	電話・メール・Web	電話・メール・Web	プランにより異なる	プランにより異なる	プランにより異なる	
	対応インシデント数	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限	
	計画停止の頻度	適宜	適宜	無し	無し	無し	
	サービス停止の通知	事前通知	事前通知	規定無し	規定無し	規定無し	
	ログの開示	○	○	○	○	○	
	第三者認証取得状況	×	×	○	○	○	

比較表9

カタログ 掲載情報	掲載区分	4. 情報インフラ系				
	項番	4. (25)	4. (26)	4. (27)	4. (28)	4. (29)
	掲載ページ	92	94	96	98	100
製品・サービス名		Amazon Redshift	Amazon EMR	Amazon Machine Learning	Amazon Elasticsearch Service	Amazon WorkSpaces
提供企業名		Amazon Web Services	Amazon Web Services	Amazon Web Services	Amazon Web Services	Amazon Web Services
製品・サービス区分	サービス	○	○	○	○	○
	製品	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
クラウド区分	パブリック	○	○	○	○	○
	プライベート	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
パブリッククラウド区分	IaaS	—	—	—	—	—
	PaaS	○	○	○	○	○
	SaaS	—	—	—	—	—
利用用途分類	教育支援	○	○	○	○	○
	研究支援	○	○	○	○	○
	事務支援	○	○	○	○	○
	情報インフラ	○	○	○	○	○
	その他	○	○	○	○	○
契約実績	民間	多数	多数	多数	多数	多数
	大学	多数	多数	多数	多数	多数
契約	申込方法	オンライン	オンライン	オンライン	オンライン	オンライン
	利用開始までの期間	15分程度	15分程度	15分程度	15分程度	15分程度
	約款の有無	○	○	○	○	○
	約款修正の可能性	—	—	—	—	—
	データ保存場所	国内・海外	国内・海外	国内・海外	国内・海外	国内・海外
	データ削除規定	ホワイトペーパー	ホワイトペーパー	ホワイトペーパー	ホワイトペーパー	ホワイトペーパー
	準拠法	日本国法・海外法規	日本国法・海外法規	日本国法・海外法規	日本国法・海外法規	日本国法・海外法規
	管轄裁判所	国内・海外	国内・海外	国内・海外	国内・海外	国内・海外
信頼性	SLA	×	×	×	×	×
	実績稼働率	その他	その他	その他	その他	その他
	目標稼働率	○	○	○	○	○
	ストレージ	○	○	○	○	○
	バックアップ	○	○	○	○	○
	データ暗号化	○	○	○	○	○
	暗号通信化	○	○	○	○	○
機能	SINET接続	○	○	○	○	○
	VPN接続	○	○	○	○	○
	学認対応	×	×	×	×	×
	LDAP連携	○	○	○	○	○
	管理ツール	○	○	○	○	○
	API公開	○	○	○	○	○
保守運用	障害対応時間帯	プランにより異なる	プランにより異なる	プランにより異なる	プランにより異なる	プランにより異なる
	QA対応時間帯	プランにより異なる	プランにより異なる	プランにより異なる	プランにより異なる	プランにより異なる
	コンタクト方法	プランにより異なる	プランにより異なる	プランにより異なる	プランにより異なる	プランにより異なる
	対応インシデント数	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限
	計画停止の頻度	無し	無し	無し	無し	無し
	サービス停止の通知	規定無し	規定無し	規定無し	規定無し	規定無し
	ログの開示	○	○	○	○	○
	第三者認証取得状況	○	○	○	○	○

比較表 10

カタログ掲載情報		4. 情報インフラ系	5. その他			
掲載区分		4. (30)	5. (1)	5. (2)	5. (3)	5. (4)
項番						
掲載ページ		102	106	108	110	112
製品・サービス名		多要素認証シングルサインオン製品「WisePoint Shibboleth on CLOUD」	Microsoft Office 学割特別プラン U365	IT資産管理／セキュリティ管理 ASSETBASE	ソフトウェア配布提供システム Download Station	Cisco CloudCenter
提供企業名		ファルコンシステムコンサルティング	内田洋行	内田洋行	内田洋行	シスコシステムズ
製品・サービス区分	サービス	—	—	○	—	○
	製品	○	—	—	○	—
	その他	—	○	—	—	—
クラウド区分	パブリック	○	○	○	—	—
	プライベート	○	—	○	○	○
	その他	—	—	—	—	—
パブリッククラウド区分	IaaS	—	—	—	—	—
	PaaS	—	—	—	—	—
	SaaS	○	○	○	—	○
利用用途分類	教育支援	—	—	—	—	—
	研究支援	—	—	—	—	—
	事務支援	—	—	—	—	—
	情報インフラ	○	—	—	—	○
	その他	—	○	○	○	—
契約実績	民間	340	対象外	約50	非公開	—
	大学	36	約80	約65	非公開	—
契約	申込方法	注文書 ライセンス申請書	営業経由利用申込み	営業経由利用申込み	営業経由利用申込み	パートナーへの発注
	利用開始までの期間	—	10営業日程度	5営業日 (SaaS)	5営業日	—
	約款の有無	○	×	○	○	パートナーの契約に依存
	約款修正の可能性	○	×	○	○	○
	データ保存場所	国内	国内	国内	—	—
	データ削除規定	○	○	○	相談	—
	準拠法	日本国法	日本国法	日本国法	—	日本国法
	管轄裁判所	国内	国内	国内	国内を想定	国内
信頼性	SLA	—	○(24H365D)	○(約款による)	—	—
	実績稼働率	—	○(99.99%以上)	○(99.99%以上)	—	—
	目標稼働率	—	○(99.9%)	○(99.9%)	—	—
	ストレージ	—	○	○	—	—
	バックアップ	—	○	○	○	—
	データ暗号化	—	○	×	×	—
	暗号通信化	—	○	○	○	—
機能	SINET接続	—	×	相談	相談	—
	VPN接続	—	×	○	○	—
	学認対応	○	×	相談	相談	—
	LDAP連携	○	×	○	○	—
	管理ツール	○	×	○	○	○
	API公開	×	×	×	×	○
保守運用	障害対応時間帯	平日営業時間	10:00—16:00	平日営業時間	平日営業時間	24H×365D、8H×5D
	QA対応時間帯	平日営業時間	10:00—16:00	平日営業時間	平日営業時間	24H×365D、8H×5D
	コンタクト方法	メール	メール	電話・メール	電話・メール	—
	対応インシデント数	—	無制限	無制限	無制限	—
	計画停止の頻度	×	○(年2回)	○(年2回)	相談	—
	サービス停止の通知	—	2週間前	2週間前	相談	—
	ログの開示	○	×	○	○	—
	第三者認証取得状況	—	○	○	○	—

比較表 1 1

カタログ 掲載情報	掲載区分	5. その他				
	項番	5. (5)				
	掲載ページ	114				
製品・サービス名		クラウド対応開発環境 サービス PrimeCloud for Developers(PCD)				
提供企業名		SCSK				
製品・サ ービス区 分	サービス	○				
	製品	○				
	その他	—				
クラウド 区分	パブリック	○				
	プライベート	—				
	その他	—				
パブリック クラウド 区分	I a a S	—				
	P a a S	○				
	S a a S	—				
利用用途 分類	教育支援	—				
	研究支援	—				
	事務支援	—				
	情報インフラ	—				
	その他	○				
契約実績	民間	20				
	大学	1				
契約	申込方法	契約書				
	利用開始までの期間	5営業日				
	約款の有無	—				
	約款修正の可能性	—				
	データ保存場所	国内				
	データ削除規定	○				
	準拠法	日本国法				
	管轄裁判所	国内				
信頼性	SLA	×				
	実績稼働率	○(99.95%以上)				
	目標稼働率	○(99.95%以上)				
	ストレージ	○				
	バックアップ	○				
	データ暗号化	○				
	暗号通信化	○				
機能	SINET接続	○				
	VPN接続	×				
	学認対応	○				
	LDAP連携	×				
	管理ツール	○				
	API公開	—				
保守 運用	障害対応時間帯	平日営業時間				
	QA対応時間帯	平日営業時間				
	コンタクト方法	メール・Web				
	対応インシデント数	無制限				
	計画停止の頻度	○(年1回)				
	サービス停止の通知	2週間前				
	ログの開示	○				
	第三者認証取得状況	○				

特集「大学におけるクラウド導入事例」

クラウドソリューションの具体的な適応事例として、大学におけるクラウド導入事例は様々な示唆に富んでいると思われる。そこで前年度に引き続き、各ソリューションベンダから大学等におけるクラウド導入事例を提出いただき掲載することにした。



慶應義塾

慶應義塾大学 様

3万人を超えるすべての学生と教職員にWeb会議サービスを提供
共通認証システムと連携してスムーズに利用できる仕組みを構築

慶應義塾大学では、2017年2月から東京都と神奈川県にある6つのキャンパスすべてで、3万人以上の学生と教職員の全員がWeb会議サービス「Cisco WebEx」を利用できるようにしている。学術活動のグローバル化に対応し、日々の大学業務の効率化などにも貢献する施策として注目されており、ユニアデックスはその導入と構築、大学全体におけるサービス展開を支援している。

導入前

- 契約ライセンス数の制限から、Cisco WebExの利用には事前の申請が必要だった。
- 学生や一部の教員は、Cisco WebExで開催された会議に招待を受け参加することしかできなかった。
- 大学のグローバル化が進み、場所にとられないコミュニケーションの必要性が高まっていた。

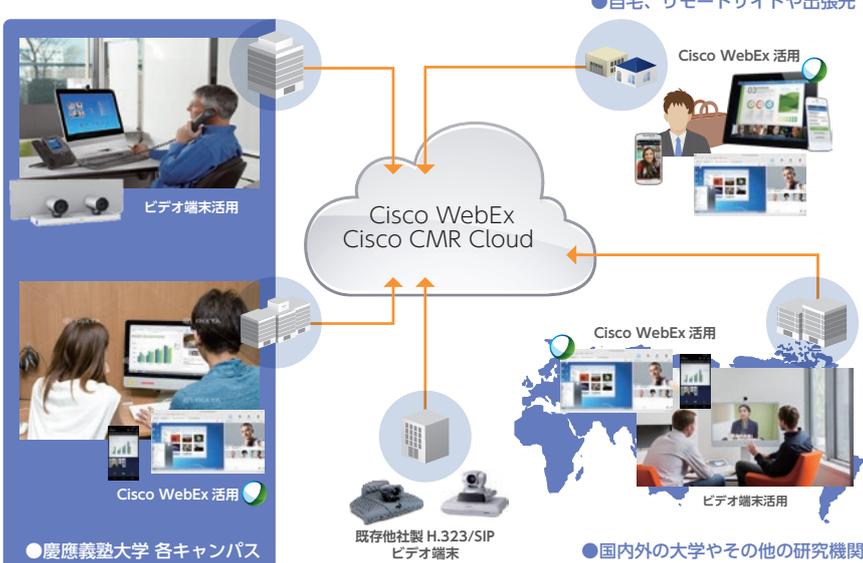
導入後

- Cisco WebExのアカデミックオファーで、すべての学生、教職員が利用できる環境となった。
- 慶應義塾大学独自の共通認証システム(keio.jp)とCisco WebExを連携させて、シングルサインオンによるスムーズな利用が可能となった。
- キャンパス間の移動時間の短縮や、海外の大学との会議にも対応することが可能となった。
- パンデミック対応や災害時の臨機応変な活用もできるようになった。

システムの特徴

- 3万人以上の学生、教職員全員が主催者権限でCisco WebExを利用可能
- 慶應義塾大学独自の共通認証システムと連携する仕組みを新たに整備
- 各キャンパスが保有する既存のビデオ会議システムと相互接続するための基盤

慶應義塾大学様 展開イメージ



大学情報



慶應義塾大学

所在地：
 三田キャンパス：東京都港区三田 2-15-45
 日吉キャンパス：神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1
 矢上キャンパス：神奈川県横浜市港北区日吉 3-14-1
 信濃町キャンパス：東京都新宿区信濃町 35
 湘南藤沢キャンパス：神奈川県藤沢市遠藤 5322
 芝共立キャンパス：東京都港区芝公園 1-5-30
 創立：1858年
 学生数：約 33,530人
 専任教員数：
 約 2,680人 (常勤者、有期契約を含む)
 職員数：
 約 3,002人 (常勤者、有期契約を含む)
 学部/研究科数：10学部、14研究科
 URL：<http://www.keio.ac.jp/>
 2017年5月1日現在

経緯

学術活動・業務とも場所にとらわれないコミュニケーションの必要性がより高まる グローバルでの利用実績や安定性を考慮してCisco WebExの全学展開を決断

慶應義塾大学では学内のコミュニケーションツールとして、Cisco WebExを2008年頃から職員と一部の教員が活用していた。安定性が高く好評を得ていたが、契約ライセンス数の制限から事前の申請が必要だったため、臨機応変な活用や広範な展開には至っていなかったという。そこで、大学全体のITインフラ構築や運用を担っているITC本部が全学展開を検討し、すべての学生と教職員が利用できるサービスとして提供することを決断した。

「留学生を受け入れる際に現地との面接を行う、日本から海外へ留学している学生が日本の授業を受講する、論文審査に海外の研究者を副査として付けるなど、大学のグローバル化が進む中で、場所にとらわれないコミュニケーションツールが必要な機会は大きく増えています。Cisco WebExはグローバルでの利用実績が豊富で、複数のユーザーが同時に参加できるサービスとして全学展開に適していると考えました。」と金子氏は話す。

プロセス

Cisco WebExと大学独自の共通認証システムと連携させて シングルサインオンによるスムーズな利用を可能に

2015年に検討を始め、2016年夏頃に全学への展開を正式に決定、導入・構築へと進めていった。Cisco WebExのアカデミックオファーを採用し、3万人以上の学生と、教職員すべてがCisco WebExを主催者権限で利用できる環境としている。これにより、誰もが自由に会議を開催することができるようになった。さらに、慶應義塾大学では「keio.jp」という独自の共通認証システムがあり、Cisco WebExを連携させて、すでに登録しているユーザーIDとパスワードでアクセスできるシングルサインオンの仕組みを構築することとなった。ユニアデックスはその開発と検証、運用サポートを担い、提案と議論を重ねながら対応していった。

「どのような仕組みが良いか、ユニアデックスからは複数のご提案をいただきまして、良いところ、懸念と思われるところを議論しながら最終的に現在の形へまとめていきました。全学展開で初めてCisco WebExに触れる人もいるので、マニュアルの整備や、スムーズな利用を促すカスタマイズのご相談とチューニングなどに数か月ほどかかりました。」(山根氏)

「これほど大規模なプロビジョニングはあまり例がないということ、共通認証システムとの連携はある程度慣れていないと設定や対応が難しいことなど、いくつか懸念もありましたが、ユニアデックスには本当に粘り強く対応していただきました。正式にサービスの提供を始めてからはトラブルもなく、とても信頼性の高い仕組みを作っていただけたと思っています。」(坂東氏)

学術分野だけでなく大学業務の見直しにも貢献 利用促進に向けた取り組みを今後も継続していく

本格的な活用はこれから進み、授業や研究など学術目的のほかにも、教職員の会議、日々の業務など働き方の見直しとコスト削減にも効果が期待されている。また、Cisco WebExと合わせて導入したCisco Collaboration Meeting Rooms (CMR) Cloudでシスコ製はもとより、シスコ製以外の既存のビデオ会議システムとの相互接続性も維持されており、キャンパス間のコミュニケーションもさらに活発になると見込まれている。

「学生、教員とも、予想もしていないような新しい使い方をしてくるかもしれません。職員の場合は、会議などのスケジュール調整が楽になるといったメリットもあるでしょう。特に湘南藤沢キャンパスから三田キャンパスまでは片道1時間半ほどかかりますから、移動時間と交通費の削減につながると思います。また、例えば、教員が感染症などに感染してしまった場合でも、無理に出勤しなくても自宅からCisco WebExを利用して、業務を行うことができます。パンデミック対応や災害時にも役立つはずです。」(山根氏)

「Cisco WebExは非常に多機能なので、便利な使い方はまだまだあるでしょう。学内で説明会やデモなどを行っていくことも考えています。」(金子氏)

効果
今後

お客様の評価



慶應義塾
インフォメーションテクノ
ロジーセンター (ITC) 本部
事務長
金子 康樹 氏

プロジェクトの進行をしっかりとサポート

今回のプロジェクトは、日々の通常の業務を行いながら進めることになり、メンバーの負担が大きくなっていましたが、ユニアデックスには常に丁寧で確実な対応をいただきました。ユニアデックスの力を借りて、新しいコミュニケーション環境を整えることができました。(金子氏)



慶應義塾
インフォメーションテクノ
ロジーセンター (ITC) 本部
課長
山根 健 氏

より良い環境の実現に向けた支援にも期待

これから利用が進んでいくと、ユーザーからはさまざまな要望が出てくるでしょう。中には無理難題もあるかもしれませんが、それをどのようにくみ取り、反映していけばより使いやすくなるか、私たちと一緒に取り組んでいただけることを期待しています。(山根氏)



慶應義塾
インフォメーションテクノ
ロジーセンター (ITC) 本部
坂東 佑一 氏

緊密な連携と迅速な対応に感謝

非常に大規模な事例となりましたが、ユニアデックスにはとても手厚くサポートしていただき、感謝しています。こちらの疑問や質問にもスピーディーかつ丁寧にお答えいただき、本当に助かりました。(坂東氏)

埼玉大学が次世代教育プラットフォームを導入 ～学務情報システム「DreamCampus シリーズ」および インフラ基盤クラウドサービス「USiZE シェアードモデル」を採用～

SCSK株式会社は、国立大学法人埼玉大学に対して、SCSKが提供する学術文教ソリューションのうち、学務情報システム「DreamCampus シリーズ」およびインフラ基盤クラウドサービス「USiZE シェアードモデル」を、次世代教育プラットフォームとして提案し、採用されました。（運用開始は 2015 年 4 月）

1. 背景・狙い

埼玉大学は、学術研究の拠点として存在感のある総合大学を目指し、21 世紀社会を担う次世代を育成する高度な教育を実施しています。また大学における研究成果を積極的に社会に発信し、社会に信頼される大学を構築することを第1の基本目標と掲げ、かつ中期目標には「大学の教育研究等の質の向上」を掲げています。さらに「教育の質的転換」を行い、学生の学修時間・学修の質を大学が保証することで、教育課程の国際通用性を高めることを指向しています。

そのため、次世代教育プラットフォームとして、①単位の実質化、②授業科目の設計転換、③カリキュラムの体系化、④厳格な成績評価、に対応できるシステム、かつ自然災害危機管理対策やデータバックアップのためのファシリティ強化が求められました。

このような要件を満たすにあたり、全国約 60 大学への導入実績があるSCSKの学務情報システム「DreamCampus シリーズ」と、約 300 社以上の利用実績があるインフラ基盤のクラウドサービス「USiZE」から、特に基幹システム稼働向けに信頼性を高めたモデルである「USiZE シェアードモデル」の組み合わせが採用されました。

2. 採用ポイント

埼玉大学は、SCSKの提案する学務情報システム「DreamCampus シリーズ」およびインフラ基盤クラウドサービス「USiZE シェアードモデル」に関する以下の点を評価し、採用されました。

<採用方法>

- ・最低落札方式による競争入札
- ・技術審査による要求要件の合否

<採用ポイント>

- ・学内規定やカリキュラム改革など大学方針に柔軟に対応できる教務関連システムの構築
- ・学生に充実した学生生活を送ってもらうためのポータルシステムの拡充
- ・運用中のタブレット PC による出欠管理システムや授業支援システムとのリアルタイム連携
- ・高度なセキュリティが確保できるクラウド環境
- ・24 時間 365 日の有人対応による運用管理体制

3. 埼玉大学ご担当者様のコメント

近年埼玉大学では、タブレット PC による全学利用の出欠確認システム・授業支援システムの導入や、教務システムと連携された授業料関連のシステムの導入など、学生・教員・職員が利用するアプリケーションの改善・強化を図り、より利用しやすい教育環境の整備をしてきました。

今回の教務関連システム刷新は、教育情報の中核を担うシステムなので非常に難しいテーマでしたが、大学改

革に合致する機能や、災害対策や運用改善におけるクラウドサービスの利用など、次世代教育プラットフォームとして期待できる仕様となったと考えています。

特にクラウドサービスの利用については、学務部教育企画課として利用者に近い立場と、教務電算担当としての管理運用の立場から、今後の大学運営に必要不可欠なものとして大きく舵を切りました。学内での管理運用では、大学教育の継続性・災害対策・システムの利便性向上に限界を感じていたため、現場主導でクラウド活用を推進出来た事は成果だと感じています。

この度の入札において、SCSKのソリューションを採用することになりましたが、大学が求めた要求仕様に対する提案内容と、その取組み姿勢について大いに評価できるものであり、今後のサービスインにむけて期待しています。

国立大学法人埼玉大学 学務部教育企画課 教務電算担当 三浦 厚

システム概要

(1) DreamCampus シリーズ

全国約 60 大学への導入実績がある学務情報システム。入学から卒業後までの大学業務と情報サービスを効率的にサポート。各機能が一元管理されリアルタイム連携を実現し業務の効率化を図ります。

標準機能でのご利用に加え、個別のカスタマイズにも柔軟に対応。国際化時代を迎える高等教育機関ニーズにもお応えしています。

(2) USiZE シェアードモデル

SCSK のデータセンターで提供されるインフラ基盤クラウドサービス

仮想マシンとストレージをお客様の必要利用量に応じて月額課金提供

監視/障害対応/バックアップなどの運用もセット化されたフルマネージド型のサービス

金融機関の安全対策基準に準拠した万全の災害・セキュリティ対策が施された東西データセンターで提供



【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

SCSK株式会社 製造システム事業本部 ソリューション部 文教サービス第一課 内藤

TEL : 03-5548-5237(代表) E-mail : scsk-dc-kyomu-u@ml.scsk.jp

大学様向けのサービス紹介のサイト「SCSK Campus Innovations」



<http://edu.scsk.jp/>



弊社の大学様向けのサービス紹介のサイト「SCSK Campus Innovations」がリニューアルオープンいたしました。eラーニングサービスのご紹介や、学生サービス事務系システム等、これまでよりわかりやすくご案内しております。過去の導入事例やイベントの告知、セミナーのアーカイブなど、新たなコンテンツも多数設けています。この機会にぜひご覧頂けると幸いです。

多要素認証やクラウドへの災害対策も実現 教育・研究システムをソフト面から強化

学内外のサービス利用に対するセキュリティを強化。学生満足度も向上

導入ソリューション

- FUJITSU 文教ソリューション UnifIDone 統合ID管理
- FUJITSU Academic Cloud Service (館林IDC)
- FUJITSU Storage ETERNUS (TR850、NR1000F F2552、F2520)
- MAGICLASS Z!BootOS V2.0
- MAGICLASS 瞬快
- FUJITSU Server PRIMERGY (BX900 S2、RX2530 M1、RX2540 M1)
- FUJITSU Desktop ESPRIMO D583/K
- FUJITSU LIFEBOOK A574/K

九州産業大学は2016年4月、新しい教育・研究システム「ARMO Duo」のサービスを開始しました。既存の教育・研究システムを刷新するとともに、1,200台のPC配備をはじめとする大規模な更新は、九州産業大学がパートナーとして選定した富士通による全面的な協力のもと、4カ月という短期間で行われました。

導入の背景

新しい教育・研究システム「ARMO Duo」へ刷新

九州産業大学の教育・研究活動を情報面から支える役割を担う「総合情報基盤センター」では、全学的な情報基盤「学術情報ネットワークKIND[®] (カインド)」を中核に教育・研究活動のためのさまざまな情報システム/サービスを学生・教職員へ提供しています。

そうした情報システムの1つに、教育の情報化推進と研究活動を支援する「教育・研究システム」があります。このシステムは、アプリケーション配信、eラーニング、

遠隔講義などの機能が提供され、2011年度は、サーバーの仮想化統合を含むシステムの構築を実施。教育・研究システムに「ARMO (アルモ)」という愛称が付けられました。そして2016年度から運用されたのが、今回の「ARMO Duo (アルモ・デュオ)」です。更新の背景について、九州産業大学 総合情報基盤センター事務室長の橋本忍氏は次のように話します。

「教育・研究システムは5年ごとに更改しており、前回と今回の2回で刷新を図るべく作業を進めてきました。2011年度は主に基盤部分の整備を実施し、今回は主に教育支援などのソフト面の強化に注力しました」。

DATA



学校法人 中村産業学園 九州産業大学

<http://www.kyusan-u.ac.jp/>

所在地: 〒813-8503 福岡県福岡市東区松香台2-3-1

教職員数: 587名 (2016年5月1日現在)

学生数: 10,578名 (2016年5月1日現在)

概要: 9学部21学科 (※2017年4月より) に約1万1000名の学生が学ぶ西日本有数の総合大学。建学の理想「産学一如」(産業と大学は車の両輪のように一体となって、時々の社会のニーズを満たすべきであるという意味)の実現に向け、実践的教育、地域に根ざした研究社会貢献活動に取り組んでいます。

導入のポイント

「ソフト面の強化」を目的に 4つの観点からシステムを更新

橋本氏によれば、2016年度の更新は4つのポイントで「より使いやすく」「安心・安全」な環境の配備を行ったといいます。

最初のポイントは「総合的情報環境の整備」です。環境整備のために新たにVDIを導入したほか、アプリケーションソフトの包括ライセンス契約を締結しました。

「学内のPC利用環境を統一し、さらにソフト購入費を削減するために、Office 365とAdobe Creative Cloudの包括ライセンス契約を結びました。大学所有はもちろん、学

導入前の課題

- 学生の学習をさらに支援すべく、システムをソフトウェアの面から強化したい
- 学生に、「より使いやすく」「安心・安全」な学習環境を提供したい

導入後の効果

- 学生の満足度向上、利用率向上、障害ゼロを実現
- 多要素認証システムとDRサイトを構築し、セキュリティの安全性と災害時にも安心の環境を整備

“PCやサーバーからデータセンター、セキュリティまでトータルな提案力が決め手になりました”

生個人所有のPCにも最新ソフトを利用できるように、利用者の利便性が大きく向上しました」(橋本氏)

第二のポイントは「教育支援環境の整備」です。ここではオンラインストレージ、自動貸出ロッカーによる貸出用ノートPC、電子黒板、授業収録システムなどを導入。

第三のポイント「研究活動支援環境の整備」では、最大150サーバー対応のプライベートクラウド環境を用意しました。

最後のポイントが「セキュリティ環境および災害対策環境の整備」です。マトリクス認証による多要素認証システムを導入し、災害対策としては富士通の東日本のデータセンターにディザスタリカバリ(DR)対応サイトを構築することで、利用者にとって、より安心・安全な環境づくりを実現しました。

システム構築のパートナーに富士通を選定した理由については、「PCやサーバーの構築からデータセンターの運営、さらにはセキュリティ対策、ソフト包括ライセンスの契約まで一貫して任せられる安心感が決め手になりました」と橋本氏は説明しています。

導入の効果
利用率と学生満足度が向上
授業の中断も発生せず

こうして、2015年12月の着手から約4カ月という短い期間の間に、ブレードサーバー(1シャーシ18サーバー)、ラックサーバー8台、ストレージ3台、PC合計約1,200台の整備のほか、先述の大規模仮想化基盤や富士通データセンターによるクラウド環境の構築、統合ID管理を軸とした認証基盤など各種システムの整備を含む大規模



九州産業大学
総合情報基盤センター
事務室長
橋本 忍氏

なシステム更新を実施。新年度に合わせ、予定通りに運用を開始しました。

「ARMO Duoの運用開始後、施設の利用率が向上したほか、学生の満足度も向上しています。システム障害などによる授業の中断は1件も発生していません。加えて、従来システムでは毎週月曜1時限目をシステムメンテナンス用に使っていましたが、新システムではそれも不要になりました」(橋本氏)

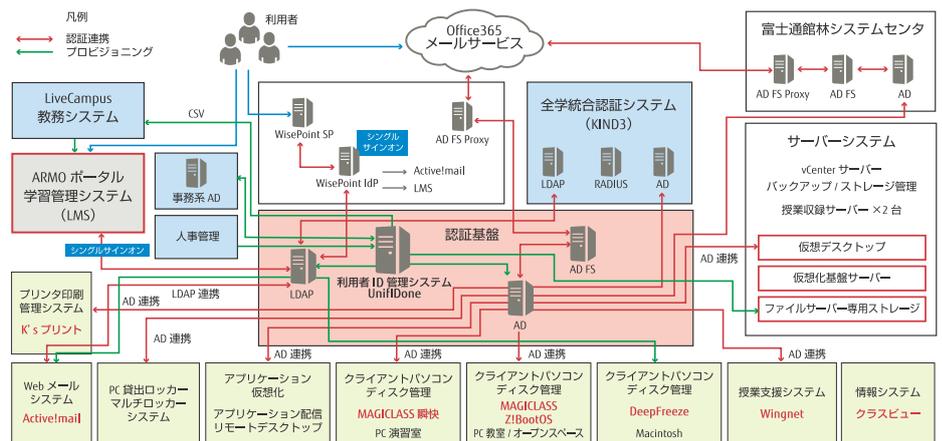
今後の展望
文教市場における富士通の強みを
活かす提案を期待

Duoをさらに活用していくためのコンテンツ、特に授業収録システムなどを積極的に活用した授業を支援するコンテンツなどの拡充を進めていく予定としています。さらに将来的には、同大学の学生教育支援・事務情報システム「K'sLife(ケーズライフ)」との統合も検討しているといえます。

橋本氏は「富士通には国内の文教市場で豊富な実績とノウハウがあり、今回はそれらを十分に活かしてくれました。今後もそうした強みを発揮するような提案をしていただきたい」と、大きな期待を寄せています。

(2016年12月取材)

九州産業大学では2017年度にARMO



刷新した九州産業大学の教育・研究システム「ARMO Duo」の全体概要

最新モデルのご紹介：FUJITSU LIFEBOOK UH75/B3
 ・薄く、軽く、そして強く
 ・薄さ15.5mm、重さ約748g、世界最軽量の堅牢筐体^{*1}
 ・最新の第8世代Intel Core i7プロセッサも選択可能



Cisco WebEx で入試改革と働き方改革

～東洋大学 導入事例～

課題

- ・ 遠方の学生や海外からの留学生が、東京まで出向かなくても入学試験を受けられる環境の整備をしたい

導入製品&サービス

- ・ Cisco WebEx
- ・ Cisco TelePresence

ソリューション

- ・ Cisco WebEx を用いて、インターネットがつながる環境があれば在宅でも入学試験を受けられる環境を実現
- ・ 受験生側はインターネット経由でアクセスし、教員側はビデオ会議専用端末を用いて、双方を Cisco WebEx で接続

さらなる活用

- ・ 志願者向けの遠隔相談窓口の開設
- ・ Cisco WebEx 及び Cisco TelePresence を教職員の働き方改革においてさらに有効活用



東洋大学は、入学志望者に対する情報提供や出願手続きなどをすべてオンライン化した「TOYO Web Style」をはじめ、全国の大学の中でも先駆的な取り組みを行っていることで知られています。

2017 年度から新設した情報連携学部では、オンラインのコミュニケーション手段を生かしたアクティブラーニングの手法を全面的に取り入れ、これまでの大学で一般的だった座学や大教室といった授業のスタイルを大きく変えることになるといいます。

課題

首都圏の受験生とそのほかの地域の受験生とでは、実際に大学を訪れる機会が限られることや経済面の負担、情報の格差は大きなものがあります。そうした地域間の格差をできるだけ減らすことを目的に、東洋大学では入学前に大学の学びを知ることができる動画コンテンツとして「Web 体験授業」を制作、公開しています。そして、入試そのものもオンラインで実施できないかと考えました。

“デモを見て手軽に使える自由度の高いツールだと実感したことに加えて、シスコのサポートの安心感が選定の大きなポイントになりました。”

— 学校法人東洋大学 理事 入試部長 加藤建二 氏

学校法人東洋大学理事入試部長の加藤建二氏は次のように話します。

「大学まで来られない高校生に授業内容を伝えたいと考えて『Web 体験授業』の公開を 2015 年から始めています。動画は 1 本 20 分ほどで、カット割りなどもきちんと編集して、教員だけでなく受講している学生の表情も織り込んで魅力ある内容に仕立てています。

大学案内など冊子の印刷と配布にかかっていた多額のコストを Web 化によって削減できたので、その予算を充てているかたちです。入学試験においても、受験生に Web 体験授業を視聴してもらい、そこで提示された課題の解決方法を考察してプレゼンテーションをまとめてもらった後、試験当日はプレゼンテーションおよび質疑応答を行うという入試方法を新たに行います。それを地方の学生がこちらに出向かなくてもできるように、Web 会議を利用するというアイデアが出ていました。これは海外からの留学生にも当てはまります。」

“新しいことに率先して挑戦しながら教育環境の底上げを牽引していきたいと思っています。”

誰でもすぐ利用できる自由度の高いツールが良いと考え、いくつかの候補を検討し、東洋大学は Cisco WebEx を採

用しました。その理由を加藤氏は次のように話します。

「実際に利用する仕組みが良いと感じたことのほかに、シ

スコからサポートしていただけるという安心感が決め手になりました。接続先が国内だけとは限らないので、シスコが世界的な企業であり、Cisco WebEx がグローバルに利用されている点も理由の1つです。」

ソリューション

2017 年度の入試から Cisco WebEx を使った入試を選択可能に

Cisco WebEx は、インターネットに接続できる環境と Web ブラウザがあれば端末を問わずに利用できるクラウド型のビデオ会議サービスです。安定した通信を維持するグローバルなサービス基盤を有し、高品質な映像と音声を使ったコミュニケーション、画面や資料の共有を簡単に行えます。

通信の安全性も非常に高く、SAS-70 Type II 認定などエンタープライズクラスのセキュリティを保っていることも強みの1つです。

東洋大学では、インターネットで学外からアクセスする受験生と、教員が用いるビデオ会議専用端末を Cisco WebEx で相互接続する構成としました。シスコの支援を受けながら事前の接続テストなどを行って、確実にコミュニケーションできる環境を整えたと加藤氏は話します。

「これまでにない試みでしたので、入試要項への記載方法など試行錯誤を繰り返しましたが、シスコが採用活動で学生とのやりとりに使っているということで、その案内に記載されている文面などを参考にしながらまとめました。インフラだけでなく、こうした実務的な面でもサポートいただけるのはとても助かっています。

機能面では、一度回線が切れてしまってもコールバックできる仕組みがあるので、アクセスしてくる受験生の負担を抑えることができるところを評価しました。実際にやってみなければわからないこともありますし、何か起きたときにどう対応すればよいか迷うこともあります。シスコは自社でも活用していてノウハウが豊富なので、助言をいただけるのは頼りになりますね。」

「オンラインで出願するときに試験会場を大学にするか、自宅など大学以外にするかを選択できます。ただ、自宅で試験が受けられるといってもまだ不安要素もあるので、直接大学へ行くほうがよいと考える人が多いでしょう。今

回は実施初年度で実績がなく、どうするか判断を迷ったのではないのでしょうか。こうしたことは2年目以降から動きがあるものだと思います。」

さらなる活用

志願者向けの相談窓口・教職員の働き方改革にも活用を開始

2017年から、志願者向けの相談窓口で Cisco WebEx を活用する「TOYOWebサポート」も開始しました。これにより、遠方(海外を含む)の志願者の情報格差を解消し、経済的な負担の軽減を図るとともに、自宅や高校から Web 会議システムを通じて対面での個別相談が可能となりました。

さらに、教職員の働き方改革としても活用を開始しました。この激動の時代に、各人の労働時間を増やさずに大学改革を続けるには、時間の創出が必須ということで、まずはキャンパス間の教職員の移動時間を削減し、会議のペーパーレス化や資料作成のための作業時間削減を目指しました。そのために全教職員で Cisco WebEx 会議主催可能なアカデミック向けサイトライセンスを契約し、各キャンパスの主要な会議室へ専用端末 Cisco TelePresence を導入しました。全学委員会や事務局部長会などでは、メンバーが一か所に集まるのではなく、Cisco WebEx の仮想会議室に集まり会議を行う取り組みを始めました。今後は、教職員ひとりひとりが Cisco WebEx を使いこなし、新しい働き方を生み出し、時代の要請に応えられる大学に変革させていくことを目指していくとのことでした。

【問い合わせ先】

社名:シスコシステムズ合同会社

担当部署名:公共・法人ビジネス事業統括

TEL: 03-6434-2618(担当:ビジネス開発本部 見松)

お問合せ用 E-mail: cisco-edu-j@cisco.com

www.cisco.com/jp/go/edu

www.cisco.com/c/ja_jp/products/conferencing/index.html

事務端末システム VirtualPCCenter 導入事例

学校法人 東海大学 様

学園運営を支えるサーバ群をデータセンターに移設。
BCP強化とともに将来の統合システム基盤への道筋を描く



東海大学
経営企画室
情報課 課長
星野 辰夫 氏



東海大学
経営企画室
情報課 課長補佐
矢吹 裕史 氏



東海大学
経営企画室
情報課
堀内 真紀 氏

事例のポイント

課題背景

- ・災害など有事の際に向けたBCPの観点から、学園運営を支えるシステムをキャンパス内で運用することに不安があった
- ・BCPを強化するためにデータセンターサービスを検討したが、コスト負担はできるだけ抑えたかった
- ・外部のデータセンターにデスクトップ仮想化環境を移設しつつも、クライアントのレスポンス低下は避けたい

成果

- ・信頼できるデータセンターにシステムを移設
堅牢性やセキュリティ、地理的な要件に合致するデータセンターへのシステム移行で、有事の際にも安心して運用できるシステム環境を実現
- ・従来コストの範囲で移設を完了
最新のハードウェアで仮想マシンの集約率を高め、より少ない台数での運用を実現したり、学内サーバームの空調費用が不要になったりしたことで、従来と同等のコストのままデータセンターへの移設を完了
- ・クライアントのレスポンスが向上
仮想PCのOSには、既存のWindows 7の操作性を継承すべくWindows 10を採用。デスクトップ仮想化ソリューションの最新版へのアップデートなどにより、システムを外部に移設したにもかかわらずレスポンスが向上



お客様名：学校法人 東海大学
所在地：〒151-8677 東京都渋谷区富ヶ谷2-28-4
創立：1942年
学生数：院生1,117名、学生29,008名
(2015年5月1日現在)

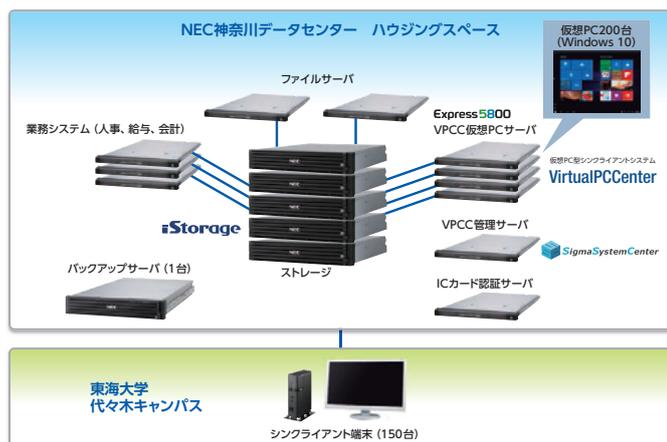
概要：静岡県清水で開校した航空科学専門学校を前進とする私立総合大学。札幌、代々木、高輪、湘南、伊勢原、清水、熊本、阿蘇の計8キャンパスを擁するほか、東海大学短期大学部、東海大学医療技術短期大学、東海大学福岡短期大学、および高等学校、中学校、小学校、幼稚園からなる一貫教育を推進している。

URL：http://www.u-tokai.ac.jp/



導入ソリューション

●システム構成図



導入前の背景や課題

学園運営を支えるシステムのBCP対策が求められる

「文理融合」を理念に、地域やグローバル社会で活躍できる人材の育成、研究活動を推進する学校法人 東海大学様。18学部77学科・専攻・課程を擁する総合大学をはじめ、短期大学部や付属高校・中学校・小学校・幼稚園からなる、一貫した教育を行える体制を整えています。同学の運営に関するIT戦略を担っているのが代々木キャンパス内にある経営企画室 情報課

です。「経営企画室」に配備されていることからわかるように、同課には、より学園に付加価値をもたらすためのIT活用の提案、実施が求められています。例えば、数年前には、人事、会計、給与などの管理業務を行うためのクライアント環境を見直し、デスクトップを仮想化。運用管理負荷を軽減し、本来の業務に注力するための環境を実現するなど、高い成果を上げています。こうした経緯のもと、同課が新たに取り組んだのがBCPの強化です。「東日本大震災がきっかけです。同様の災害が首都圏で発生した場合を

想定すると、代々木キャンパス内のサーバールームでシステムを運用することに懸念がありました」と経営企画室情報課課長の星野辰夫氏は言います。

データを複数の媒体にバックアップしておくなど、二重、三重の対策は行っていましたが、復旧には相応の時間がかかります。BCPのさらなる強化のためには、システムの運用形態そのものを見直すことが不可欠と考え、外部データセンターへのサーバ移設を決めました。

選択のポイント

堅牢性、可用性、セキュリティに加え地理的な優位性を評価

複数のデータセンターを比較、検討し、最終的に同学が採用したのがNEC神奈川データセンターです。「建物の堅牢性や万一の際にも最低3日間は自前で電源をまかなえる可用性、さらには顔認証などを駆使したセキュリティの高さなどを評価しました。また、活断層から離れているなど

の安全性の条件を満たしつつ、いざというときには、都内や東海大学の主要拠点となる湘南キャンパスなどから一時間程度で駆けつけることができる立地の良さも選定のポイントとなりました」と星野氏は言います。

加えて、NECに対する信頼の高さも決め手となりました。

今回の移行対象には、先に述べたデスクトップ仮想化環境も含まれます。そのシステムが更改時期

を迎えたことも大きな契機となりましたが、NEC製のサーバ、デスクトップ仮想化ソリューション「VPCC(VirtualPCCenter)」を用いて構築したシステムは、4年間、一度も大きなトラブルに見舞われることなく稼働を続けました。「そうしたことから、NEC製品を継続して採用すること、加えて、NECのサポートが期待できるNEC神奈川データセンターにシステムを預けるのが最適と判断しました」と情報課課長補佐の矢吹裕史氏は言います。

導入後の成果

従来コストの枠内でBCP対応など様々なメリットを享受

NEC神奈川データセンターへのサーバの移設によって、同学は、より安全で事業継続性の高いシステム環境を実現しました。移行時にハードウェアを最新のものにリプレースするなどした結果、仮想化環境の集約率が高まり、従来、デスクトップ仮想化環境を担っていたサーバは、クライアント数は変わっていないにもかかわらず6台から4台に削減しています。「データセンターのハウジングなどにまつわるコストは、システムの見直しで削減できた費用や、不要になったサーバールームの空調費用などでまかなうことができている」と星野氏は説明します。

他にも成果がありました。NEC神奈川データセンターが国立情報学研究所の提供する学術ネット

ワーク「SINET4」に接続していることです。「以前はSINET4に接続するには、湘南キャンパスを経由する構成となっていました。現在は、代々木キャンパスからNEC神奈川データセンターへ学園高速ネットワーク網経由でつなぎ、神奈川データセンターからSINETへ直接つながることができます。近年、トラフィックが高まりつつある湘南キャンパスのネットワーク負荷軽減という観点でもメリットがありました」（星野氏）デスクトップ仮想化環境については、学外にサーバが移設されることでクライアントのレスポンスなどに影響がでるのではという不安もありましたが、サーバやVPCCなどが最新のものにアップデートされたことで、むしろレスポンスは向上しています。「研究機関として最新の技術を採用したい、Windows 7の操作性をできるだけ継承したいとの思いから仮想PCのOSは最新のWindows

10に移行させるなどしました。レスポンスが良好なことから、現場の職員は従来通り日々の業務を行っています。私たち運用管理者の日々の業務も以前からリモート管理を行っていたこともあり、ほぼ変わっていません」と情報課の堀内真紀氏は話します。

今後、同学は学園全体のシステムを1つの基盤上に統合することも検討しています。クラウドサービスやデータセンターは、そのためには必要不可欠な存在です。「NEC神奈川データセンターは、「NEC Cloud IaaS」というクラウドサービスも提供していますし、今回の取り組みは、そのための試金石となるでしょう。総合ITベンダーとしての高度なノウハウを生かし、NECには、そのための指針を示していただけることを大いに期待しています」と星野氏は最後に語りました。

お問い合わせは、下記へ

NEC 第一官公ソリューション事業部

E-mail: webmaster@elsd.jp.nec.com

URL: http://jpn.nec.com/educate/

●本カタログに記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。
●このカタログの内容は改良のため予告なしに仕様・デザインを変更することがありますのでご了承ください。
●本製品の輸出（非居住者への役務提供等を含む）に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法令等をご確認の上、必要な手続きをお取りください。ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業拠点にご相談ください。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



環境にやさしい植物油インキ
を使用しています。

国立大学法人 東京大学

東京大学がさくらで「WEB PARK」を刷新 サービス利用者が増えて満足度も向上

1877年の創立以来、東西文化融合の学術拠点として世界の中で独自の形で学術を発展させ、それを世界に伝えてきた東京大学。学内組織向けのWebホスティングサービス「WEB PARK」の刷新にさくらインターネットの「さくらのレンタルサーバ」を導入した。

情報基盤センターでサーバーを集約 「WEB PARK 2014」で情報発信を支援

東京大学の情報基盤センターは、情報メディア教育研究部門、学術情報研究部門、ネットワーク研究部門、スーパーコンピューティング研究部門の4つの研究部門で構成されており、大学の教育と研究、さらには全国の研究機関のために情報基盤をサービスとして提供している。このうち情報メディア教育研究部門では、学生が演習などで利用するための約1300台の端末やサーバーなどを導入し、電子メール、LMS（学習管理システム）、遠隔会議システムなどのサービスを運用している。

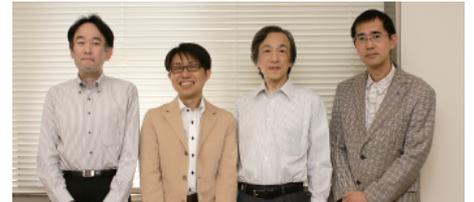
その一環として、情報基盤センターでは学内組織向けのWebホスティングサービス「WEB PARK 2014」を運営。Webを使って情報発信を行いたいが、独自にサーバーの管理をするのが困難な研究室や委員会、学科などを対象にWebホスティング

サービスを提供している。WEB PARK 2014が公開された背景について、情報基盤センター 情報メディア教育研究部門 教授で理学博士の柴山悦哉氏は、次のように語る。

「学内でWebサーバーを使いたいといった要望はいまだに増え続けているのですが、高度なITスキルを有する組織から、ITに詳しい人がいない組織まで、利用者のレベルもさまざまです。特にITに詳しくない場合、自分たちでサーバーを調達・設定して、運用・管理を行うのは容易なことではありません。そこで情報基盤センターでサーバーを集約・管理して、必要なりソースを利用してもらうサービスを提供しています」

ドメイン数が500超 オンプレミスの管理が煩雑に

情報基盤センターでは、1997年4月より東京大学の施設の中にサーバーを設置



情報発信を手軽に行える学内向けWebホスティングサービス「WEB PARK 2014」を管理する東京大学の皆さん。左から情報システム部情報基盤課係長 石崎勉氏、情報基盤センター情報メディア教育研究部門助教 関谷貴之氏、柴山氏、田中氏

するオンプレミスの形でWEB PARKを展開してきた。当初は無償のサービスで、特にシステムの稼働保証などもなくサービスを提供していた。その後、システムの2重化やバックアップの実施、課金システムの導入など、徐々に機能を拡張。ドメイン数が500を超えたあたりからシステムの管理が煩雑になってきた。

情報基盤センター 情報メディア教育研究部門 准教授で博士（工学）の田中哲朗氏は、「以前は教職員がサーバーを管理していたので、平日の昼間しか管理ができず、休日や夜間に障害が発生しても対応できませんでした。また以前は、平日の昼間に稼働していればよかったのですが、現在は24時間365日の稼働が不可欠です。そのため、教職員がボランティア的に対応するのではもはや限界という状態にな

導入前の課題

- WEB PARK のドメイン数が500を超え、24時間365日稼働やセキュリティへの対応が強く求められるようになった
- CMS を利用したいというニーズが増えたが、バックエンドのデータベースを含めた数百サイト分のCMS管理は困難であった

導入後の効果

- WEB PARK 2014 に移行したことで、利用者が容易にCMSを導入可能となり、利用者の満足度も向上した
- WEB PARK 2014では、教職員による物理サーバーの運用管理作業が不要になった

りました」と話す。

また、これまではHTMLで記述した静的なコンテンツが配信できればよかったが、ここ数年はCMS（コンテンツ管理システム）を利用して動的コンテンツを配信したいというニーズも増えてきた。田中氏は「個々のドメインは小さな組織での利用になるので、それほど負荷は高くありません。ただしCMSを利用するには、バックエンドにデータベースが必要であり、数百サイト分のCMSを管理するのは現実的ではありませんでした」と話す。

そこでオンプレミスのサーバー群をレンタルサーバーに移行するための検討を開始。これまでのドメインが使い続けられること、WEB PARKで提供されていたサービスが同様に利用できること、強固なセキュリティ対策がなされていること、新たな設備投資の必要がないこと、比較的安価に導入できることなどの観点から要求仕様を定め、一般競争入札の結果、さくらインターネットの「さくらのレンタルサーバ」を導入することを決定した。

レンタルサーバーへの移行により WEB PARK 2014の利用者が増加

2014年2月から「さくらのレンタルサーバ」でサービスを提供しているWEB PARK 2014では、すでに800を超えるドメインが稼働している。柴山氏は「少人数の研究室から大規模な研究科まで、さまざまな目的で利用されています。利用目的の多くは、研究室や個人の紹介などの広報用や事務的な情報公開です。いまや大学も、受験生へのアピールや研究成果の普及のために情報を積極的に公開しなければならない時代です」と話す。

WEB PARKはオンプレミスの時代にも何度かバージョンアップをしているが、このとき利用者は、バージョンアップに関わる作業はまったく必要なかった。しかし今回、オンプレミスから「さくらのレンタルサーバ」に環境が切り替わることで、ドメインの設定変更が必要なため、設定変更の内容を利用者に伝え、理解してもらい、作業してもらうことに労力が必要となった。

ご担当者の声

国立大学法人 東京大学

<http://www.u-tokyo.ac.jp/>

住所 東京都文京区本郷7-3-1

学生・研究生 2万8,044人

職講師数 (2015年5月1日現在)

大学概要 「グローバルな思考と行動力」「揺るぎない基礎学力、先端的知への好奇心」「公共的な責任感、巨視的な判断力」「課題の発見・挑戦的体験への積極的姿勢」「異なる文化や価値観の理解・尊重」の5つの能力の育成を通じ、「よりグローバルでよりタフな」人材の輩出を目指している



情報基盤センター
情報メディア教育研究部門
教授 理学博士 柴山悦哉氏



情報基盤センター
情報メディア教育研究部門
准教授 博士(工学) 田中哲朗氏

「WEB PARK 2014」では、物理サーバーがすべて「さくらのレンタルサーバ」に移行されたので、教職員によるシステムの運用・管理作業も不要になりました。またCMSが簡単に使えるので、利用者にとってメリットが大きいと思います。さらにさくらインターネットは、日本全国の大学や研究機関などの学術情報基盤として国立情報学研究所（NII）が構築・運用している「学術情報ネットワーク（SINET4）」にも対応しているので、大学としては非常に使いやすいサービスです。

そのためWEB PARK 2014の利用者が減少することが心配されたのだが、ふたを開けてみると、逆に利用者は増えたという。柴山氏は「独自にサーバーを立ち上げていた研究室が、まだかなりあったということだと思います」と語る。また、「さくらのレンタルサーバ」を直接契約して利用する研究室も増えているという。

「WEB PARK 2014で十分という利用者は多いのですが、自分たちで設定・管理ができるのであれば、『さくらのレンタルサーバ』を直接契約の方がコスト的にも安価に利用できます。情報基盤センターが『さくらのレンタルサーバ』を使っているのであれば、自分たちも安心して使えるという雰囲気になっているようです。その意味では、利用者の満足度は高いのだと思います」（柴山氏）

また運用管理面でのメリットについて田中氏は、「WEB PARK 2014では、物理サーバーがすべて『さくらのレンタルサーバ』に移行されたので、教職員によるシステムの運用・管理作業も不要になりました。

さらにWEB PARK 2014では、CMSが簡単に使えるので、利用者にとってメリットが大きいサービスだと思います」と話す。

さくらインターネットに対する今後の期待について柴山氏は、「今後は集約できるサーバーは集約して、外部に委託したほうが有利なものは委託するというプランを検討する大学が増えてくるでしょう。さくらインターネットは、日本全国の大学や研究機関などの学術情報基盤として国立情報学研究所（NII）が構築・運用している“学術情報ネットワーク（SINET4）”にも対応しているので、大学としても使いやすいサービスです。今後、IaaSなども含めて、大学にとってさらに利用しやすいサービスや契約の方法、および研究室レベルでも容易に使える仕組みを提供してもらえることを期待しています」と語っている。

ご紹介したサービス

▶ さくらのレンタルサーバ

お問い合わせ、資料請求

本件に関する詳細など、お問い合わせ、資料請求は下記までご連絡ください。

さくらインターネット株式会社

【大阪本社】〒530-0011 大阪市北区大深町4-20 グランフロント大阪タワーA 35F

【東京支社】〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-20-1 住友不動産西新宿ビル33F

【福岡オフィス】〒810-0042 福岡県福岡市中央区赤坂1-12-15 読売福岡ビル 7F

▶ E-MAIL eigyos@sakura.ad.jp ▶ 0120-380397 【受付時間】 平日10:00～18:00

（土日・祝祭日を除く）

※本取材内容は2015年5月時点の情報です

大学 ICT 推進協議会・クラウド部会 の歩み

主 査 西村浩二 (広島大学)

副主査 梶田将司 (京都大学)

副主査 滝島繁則 (さくらインターネット)

大学 ICT 推進協議会・クラウド部会は 2012 年 9 月 28 日に活動を開始いたしました。そして大学 ICT 推進協議会の中でも活発な活動を行っている部会の一つだと自負しております。

本部会では、大学 ICT 推進協議会年次大会における企画セッションの開催、定期的な部会会合を通じてアカデミッククラウドに関する情報発信、情報流通を推進して参りました。また、関係機関と協力してアカデミッククラウドに関する研究とその普及にも取り組んで参りました。

クラウド部会の活動履歴を以下に記します。

■ 大学 ICT 推進協議会における企画セッションの開催

2012 年度年次大会	「大学におけるクラウド利用のニーズとシーズ」 「安否確認システムの共同開発・共同運用における現状と課題」
2013 年度年次大会	「学術インタークラウド基盤の実現に向けて」 「安否確認システムの共同開発・共同運用」
2014 年度年次大会	「大学向けクラウドソリューションカタログ (1) (2)」 「安否確認システムの共同開発・共同運用」 『大学向けクラウドソリューションカタログ 2014』発行・配布
2015 年度年次大会	「大学向けクラウドソリューションカタログ (1) (2)」 「安否確認システムの共同開発・共同運用」 『大学向けクラウドソリューションカタログ 2015』発行・配布
2016 年度年次大会	「大学向けクラウドソリューションカタログ (1) (2)」 『大学向けクラウドソリューションカタログ 2016』発行・配布
2017 年度年次大会	『クラウドソリューション&ライセンスワークショップ (1) (2)』 『大学向けクラウドソリューションカタログ 2017』発行・配布

■ 分科会会合の開催

第 1 回会合	2012 年 9 月 28 日	京都大学	第 11 回会合	2015 年 5 月 21 日	東京ビックサイト
第 2 回会合	2012 年 10 月 31 日	学士会館	第 12 回会合	2015 年 9 月 7 日	北海道大学
第 3 回会合	2012 年 12 月 19 日	神戸国際会議場	第 13 回会合	2015 年 12 月 4 日	ウインクあいち
第 4 回会合	2013 年 2 月 21 日	国立情報学研究所	第 14 回会合	2016 年 5 月 26 日	国立情報学研究所
第 5 回会合	2013 年 5 月 30 日	国立情報学研究所	第 15 回会合	2016 年 8 月 29 日	北海道大学
第 6 回会合	2013 年 9 月 5 日	北海道大学	第 16 回会合	2016 年 12 月 14 日	京都国際会館
第 7 回会合	2013 年 12 月 20 日	幕張メッセ	第 17 回会合	2017 年 9 月 5 日	北海道大学
第 8 回会合	2014 年 5 月 22 日	東京ビックサイト	第 18 回会合	2017 年 12 月 14 日	広島国際会議場
第 9 回会合	2014 年 9 月 1 日	北海道大学			
第 10 回会合	2014 年 12 月 1 日	AER (アエル)			

以上

大学 ICT 推進協議会・クラウド部会 ご入会のご案内

全国の大学でアカデミッククラウドの必要性に対する認知度が高まってきております。そのためアカデミッククラウドに関する様々な情報の共有が求められる状況にあります。

大学 ICT 推進協議会・クラウド部会ではこうした大学のニーズに応えるべく、活動を活性化することを考えております。そのため、ご入会いただける大学会員及び賛助会員（企業会員）の皆様を募集しております。

本部会にご参加いただくことにより、大学会員及び賛助会員の皆様には以下のようなメリットがあると考えられます。

■大学会員のメリット

- ・クラウドは民間主導で急速な進化の過程にあるテクノロジーです。クラウド提供企業から最新の技術動向や技術情報を入手することができます。
- ・先進的な大学におけるクラウド導入事例を入手することが可能です。大学でのクラウド導入の留意点や注意点などを学ぶことができます。
- ・クラウド研究に携わる大学教職員及び企業のクラウド担当者との人脈を構築できます。

■賛助会員のメリット

- ・自社のクラウドソリューションを、大学教職員に広報することができます。
- ・クラウドに対する大学側のニーズをヒアリングすることができます。
- ・共同研究、実証実験などを行うパートナーとなる大学を探することができます。

つきましては、本部会へのご入会をご検討くださいますようお願い申し上げます。

入会のお申込み及びお問合せは、以下のメールアドレスまでお願い申し上げます。

主査 西村浩二（広島大学）

副主査 梶田将司（京都大学）

副主査 滝島繁則（さくらインターネット）

ご連絡先： sig-cloud-core@axies.jp

大学向けクラウドソリューションカタログ 2017

発行：大学 ICT 推進協議会 クラウド部会

主査 西村浩二 （連絡先） sig-cloud-core@axies.jp

編集：大学 ICT 推進協議会 クラウド部会

クラウドカタログ・ワーキンググループ

担当副主査 滝島繁則 （連絡先） sig-cloud-cat@axies.jp

発行日：2017年12月14日

※本書掲載内容の無断転載は禁止いたします。
